

# 富岡町 住民意向調査 報告書

令和4年3月

復興庁  
福島県  
富岡町



# 富岡町 住民意向調査

## 報告書

### 目次

<b>I 調査の概要</b> . . . . .	1
1-1 調査目的 . . . . .	3
1-2 調査内容 . . . . .	3
1-3 調査設計 . . . . .	3
1-4 回収結果 . . . . .	3
1-5 報告書の見方 . . . . .	3
<b>II 調査結果（主要項目）</b> . . . . .	5
2-1 回答者属性・状況 . . . . .	7
2-1-1 震災発生当時の職業（就業形態）（問6（1）） . . . . .	7
2-1-2 現在の職業（就業形態）（問11（1）） . . . . .	7
2-1-3 世帯人数（問4・問8） . . . . .	8
2-1-4 現在の居住地域（問7） . . . . .	8
2-1-5 震災発生当時の住居形態（問5） . . . . .	9
2-1-6 現在の住居形態（問9） . . . . .	9
2-1-7 世帯の分散状況（問10） . . . . .	10
2-2 調査結果 . . . . .	11
2-2-1 富岡町への帰還意向（問12） . . . . .	11
2-2-2 富岡町への帰還を決めた理由（問13） . . . . .	13
2-2-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること （問14） . . . . .	14
2-2-4 富岡町へ帰還する場合の家族（問15） . . . . .	15
2-2-5 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し（問16） . . . . .	15
2-2-6 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態（問18） . . . . .	16
2-2-7 富岡町へ帰還する場合に必要な施策（問19） . . . . .	17
2-2-8 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に 必要な施策（問20） . . . . .	18
2-2-9 富岡町への帰還を判断するために必要なこと（問22） . . . . .	19
2-2-10 富岡町への帰還ができない、帰還の判断がつかない、 帰還しない理由（問21・問24） . . . . .	20

2-2-11	富岡町との「つながり」を保ちたいか（問 23・問 25）	21
2-2-12	富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 （問 23-1・問 25-1）	22
2-2-13	富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域 （既に居住している場合を含む）（問 26）	23
2-2-14	富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして検討する 住居形態（既に居住している場合を含む）（問 27）	24
2-2-15	富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために 必要な施策（問 28）	25
2-2-16	富岡町に訪れる頻度（問 29）	26
2-2-17	富岡町内の帰還困難区域の一時立入りの頻度 （問 29-1）	26
<b>III</b>	<b>調査結果（全項目）</b>	<b>27</b>
3-1	回答者の属性	29
3-1-1	性別	29
3-1-2	年齢	29
3-2	東日本大震災発生時の状況	30
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	30
3-2-2	震災発生当時の世帯構成・人数	30
3-2-3	震災発生当時の住まいの住居形態	31
3-2-4	震災発生当時の職業（就業形態）	32
3-2-5	震災発生当時の業種	33
3-2-6	震災発生当時の勤務先の場所	34
3-3	現在の状況	35
3-3-1	現在の居住地	35
3-3-2	現在の世帯構成・人数	35
3-3-3	現在の住居形態	36
3-3-4	世帯の分散状況	36
3-3-5	世帯が分散して住まざるを得なかった理由	37
3-3-6	現在の職業（就業形態）	38
3-3-7	現在の業種	39
3-4	将来の意向	40
3-4-1	富岡町への帰還意向	40
3-4-2	富岡町への帰還を決めた理由	43
3-4-3	富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること	44
3-4-4	防犯体制で強化してほしいもの	45
3-4-5	生涯学習機会で充実させてほしいもの	46

3-4-6	就業機会の創出として希望する支援施策	47
3-4-7	富岡町内の買い物環境で充実させてほしいもの	48
3-4-8	医療環境の拡充として開院を希望する医療機関・診療科	49
3-4-9	介護・福祉施設として立地・再開を希望する施設	50
3-4-10	保育・教育環境として希望する支援や施設設備	50
3-4-11	富岡町へ帰還する場合の家族	51
3-4-12	富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し	51
3-4-13	富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所	52
3-4-14	富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種	52
3-4-15	富岡町へ帰還した場合に就業を希望する業種	53
3-4-16	富岡町へ帰還した場合に希望する就労形態	53
3-4-17	富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態	54
3-4-18	富岡町へ帰還した場合に元の持ち家以外を希望する理由	54
3-4-19	富岡町内の公営住宅のうち希望する住宅	55
3-4-20	富岡町へ帰還する場合に必要な施策	55
3-4-21	富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間） に必要な施策	56
3-4-22	富岡町への帰還の判断がつかない理由	57
3-4-23	富岡町への帰還を判断するために必要なこと	58
3-4-24	富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の業種	59
3-4-25	富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の場所	59
3-4-26	富岡町へ帰還した場合に希望する就労形態	60
3-4-27	富岡町との「つながり」を保ちたいか 〔まだ帰還の判断がつかない方〕	60
3-4-28	富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 〔まだ帰還の判断がつかない方〕	61
3-4-29	富岡町に帰還できない・帰還しない理由	62
3-4-30	富岡町との「つながり」を保ちたいか 〔帰還できない方、帰還しない方〕	63
3-4-31	富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 〔帰還できない方、帰還しない方〕	64
3-4-32	富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域	64
3-4-33	富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして 検討する住居形態	65
3-4-34	富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために 必要な施策	65

3-5	訪問頻度・一時立入り	66
3-5-1	富岡町に訪れる頻度	66
3-5-2	富岡町内の帰還困難区域への一時立入りの頻度	67
3-5-3	富岡町内の帰還困難区域への一時立入りの理由	68
3-5-4	富岡町内の帰還困難区域への一時立入りの規制緩和の希望	68
3-6	復興公営住宅	69
3-6-1	福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向	69
3-6-2	福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村	70
3-7	情報入手	71
3-7-1	富岡町に関する情報の入手経路	71
3-7-2	活用しているツールの満足度	72
3-7-3	行政からの情報で強い関心があるもの	73
3-8	意見・要望	74
3-8-1	意見に係る記入内容の分類結果	75
3-8-2	生活について	76
3-8-3	震災発生前の居住地について	78
3-8-4	賠償について	79
3-8-5	帰還について	81
3-8-6	避難期間中及び将来の住宅について	83
3-8-7	除染について	85
3-8-8	復旧・復興について	87
3-8-9	原発の安全性について	88
3-8-10	原発事故に対する対応について	89
3-8-11	その他	91
<b>IV</b>	<b>参考資料</b>	<b>93</b>
4-1	使用調査票	95

# I 調査の概要





## 1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた富岡町住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

## 1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

## 1-3 調査設計

(1) 調査地域	富岡町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 6,248世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和3年8月30日（月）～令和3年9月13日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、富岡町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

## 1-4 回収結果

有効回収数 2,989世帯（有効回収率47.8%）

## 1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ $n$  値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・Ⅱ調査結果（主要項目）の設問ごとのコメントについては、令和3年度について述べている。  
（令和2年度の結果は、参考値として掲載）



## **II 調査結果（主要項目）**

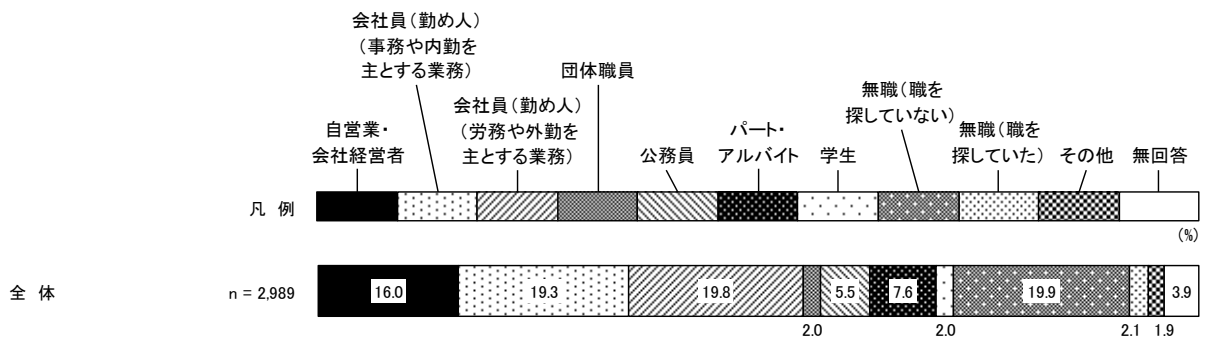


## 2-1 回答者属性・状況

### 2-1-1 震災発生当時の職業（就業形態）（問6（1））

震災発生当時の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が19.8%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が19.3%となっている。

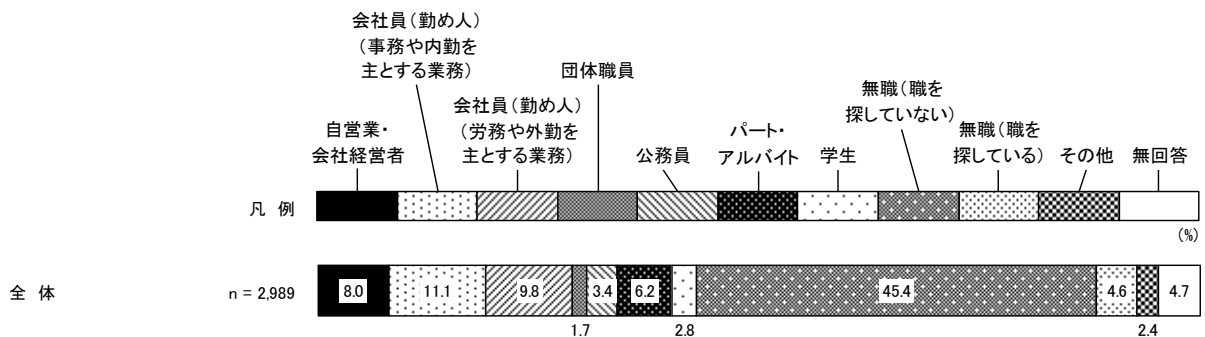
<図表2-1-1 震災発生当時の職業（就業形態）>



### 2-1-2 現在の職業（就業形態）（問11（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が11.1%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が9.8%となっている。

<図表2-1-2 現在の職業（就業形態）>



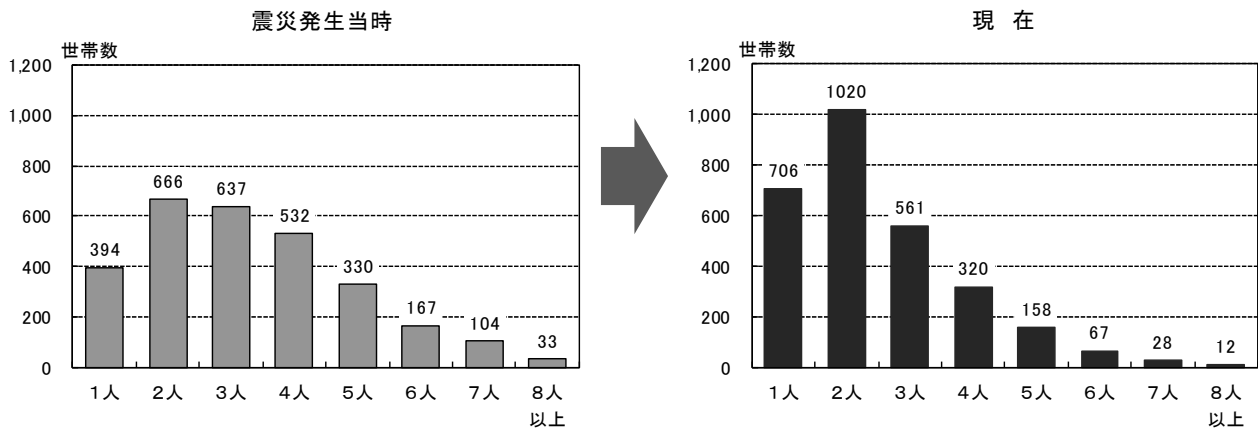
## II 調査結果（主要項目）

### 2-1-3 世帯人数（問4・問8）

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が666世帯と最も多く、次いで「3人」が637世帯、「4人」が532世帯となっている。

現在の世帯人数は、「2人」が1020世帯と最も多く、次いで「1人」が706世帯、「3人」が561世帯となっている。

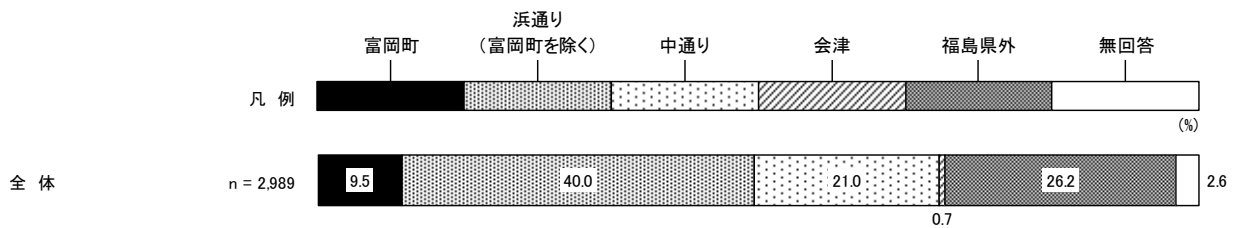
<図表2-1-3 世帯人数>



### 2-1-4 現在の居住地（問7）

現在の居住地については、「浜通り（富岡町を除く）」が40.0%と最も高く、次いで「福島県外」が26.2%、「中通り」が21.0%となっている。

<図表2-1-4 現在の居住地>

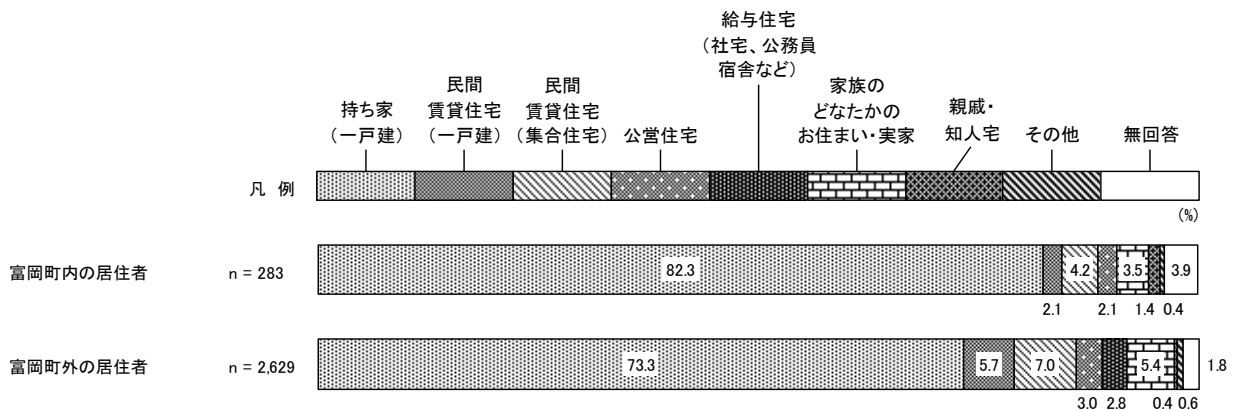


### 2-1-5 震災発生当時の住居形態（問5）

震災発生当時の住居形態について、富岡町内の居住者では「持ち家（一戸建）」が82.3%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が4.2%となっている。

富岡町外の居住者では「持ち家（一戸建）」が73.3%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が7.0%となっている。

<図表2-1-5 震災発生当時の住居形態（現在の居住地域別）>

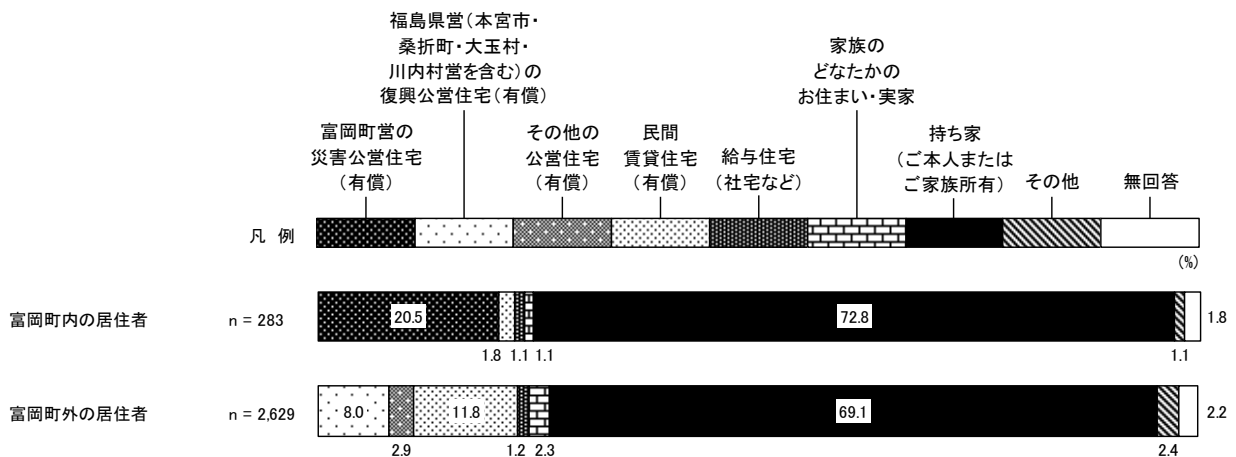


### 2-1-6 現在の住居形態（問9）

現在の住居形態について、富岡町内の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が72.8%と最も高く、次いで「富岡町営の災害公営住宅（有償）」が20.5%となっている。

富岡町外の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が69.1%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（有償）」が11.8%、「福島県営（本宮市・桑折町・大玉村・川内村営を含む）の復興公営住宅（有償）」が8.0%となっている。

<図表2-1-6 現在の住居形態（現在の居住地域別）>

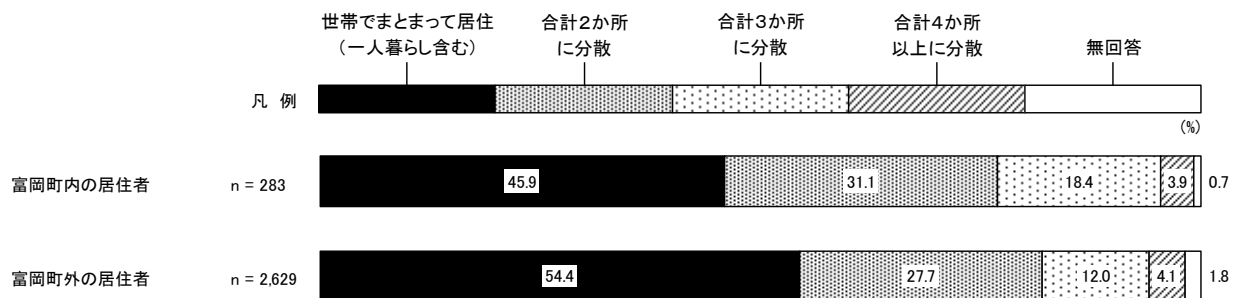


2-1-7 世帯の分散状況（問 10）

世帯の分散状況について、富岡町内の居住者では「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」が45.9%と最も高く、次いで「合計2か所に分散」が31.1%、「合計3か所に分散」が18.4%となっている。

富岡町外の居住者では「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」が54.4%と最も高く、次いで「合計2か所に分散」が27.7%、「合計3か所に分散」が12.0%となっている。

<図表2-1-7 世帯の分散状況（現在の居住地域別）>





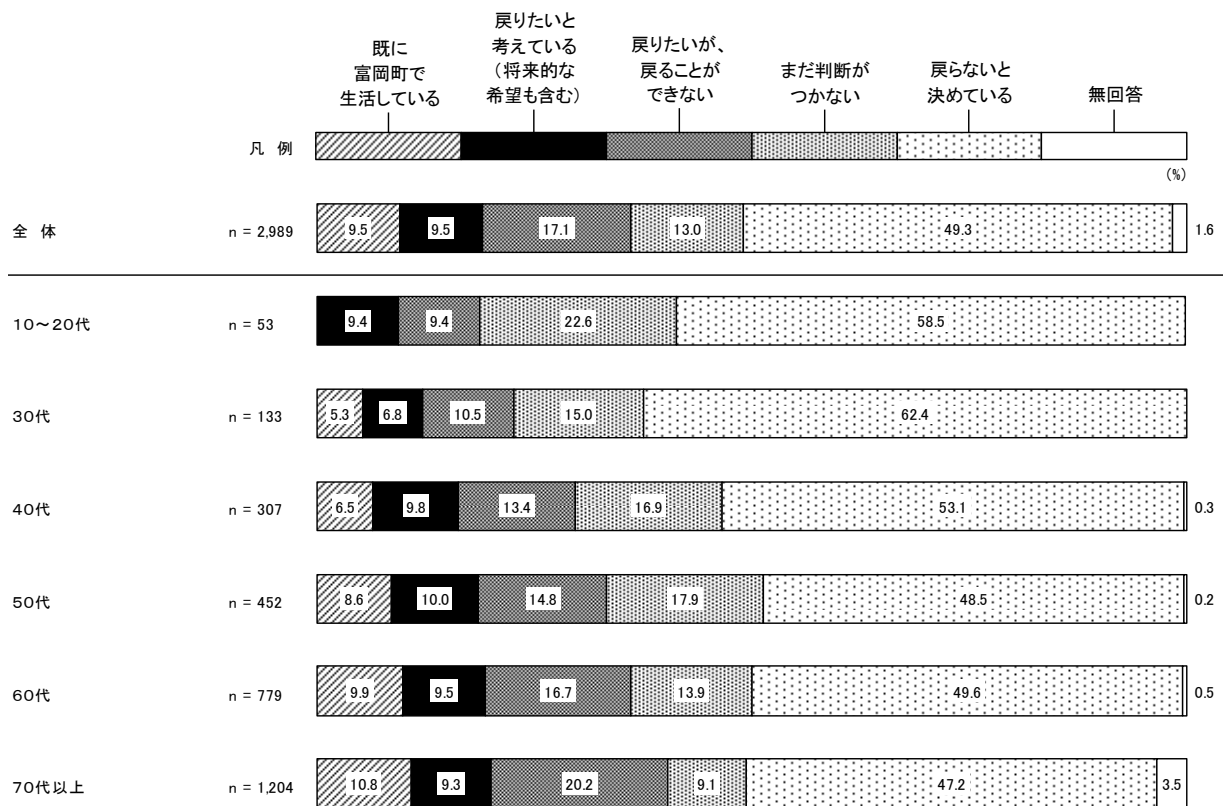
## 2-2 調査結果

### 2-2-1 富岡町への帰還意向（問12）

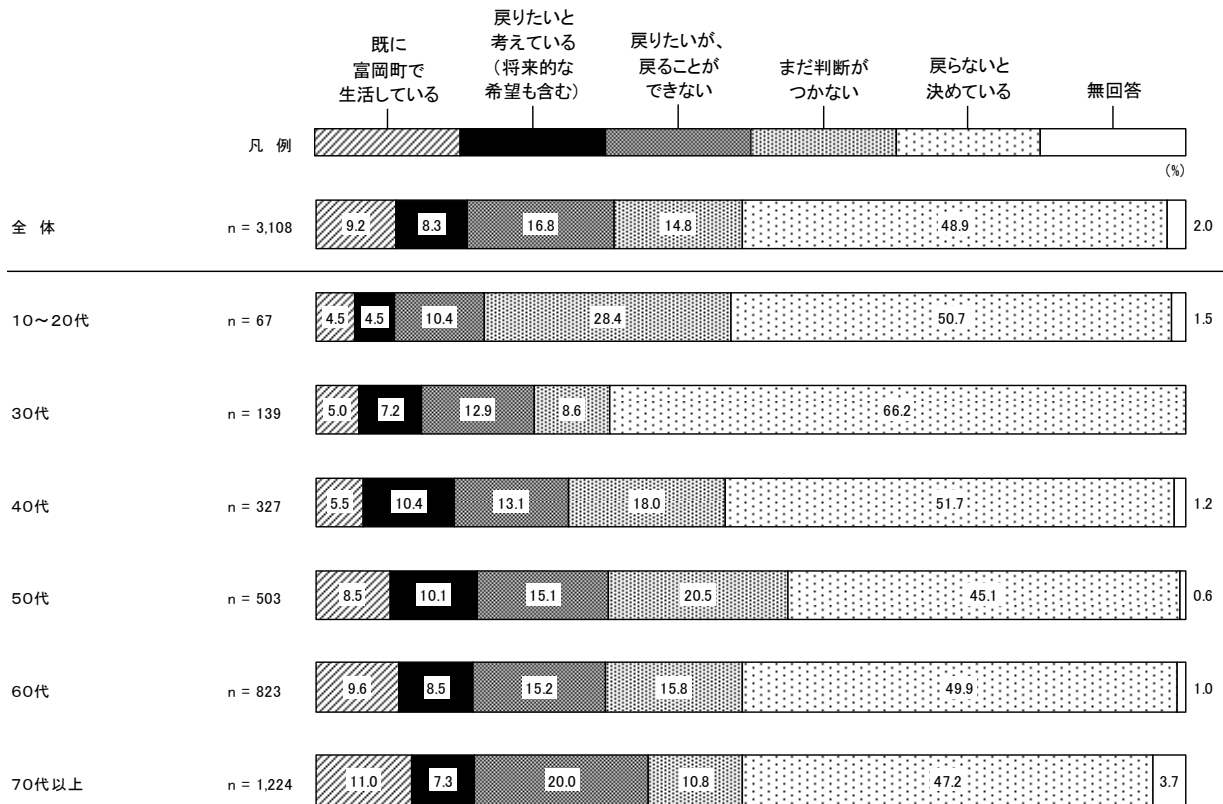
富岡町への帰還意向については、「既に富岡町で生活している」（9.5%）、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」（9.5%）、「戻りたいが、戻ることができない」（17.1%）をあわせると、富岡町への帰還意向のある人は36.1%となっている。

回答者の年齢別にみると、富岡町への帰還意向のある人は高年齢層ほど高く、70代以上では40.3%となっている。一方、「戻らないと決めている」は、10～20代で58.5%、30代で62.4%、40代で53.1%と過半数を占めている。

<図表2-2-1-1 富岡町への帰還意向：令和3年度（年齢別）>



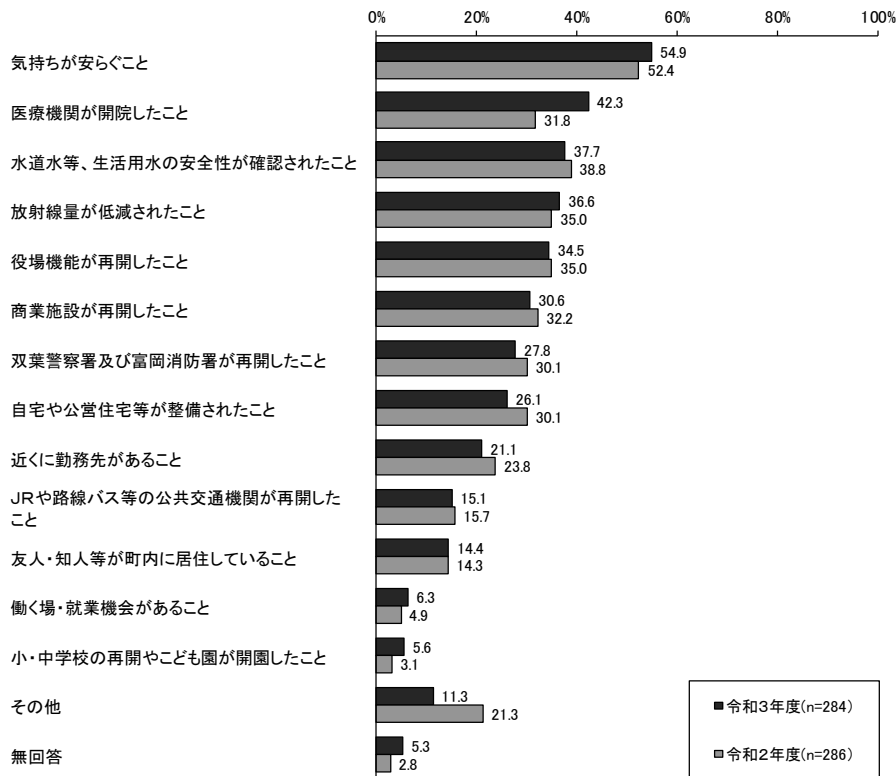
<図表2-2-1-2 富岡町への帰還意向：令和2年度（年齢別）>



2-2-2 富岡町への帰還を決めた理由（問 13）

富岡町への帰還を決めた理由については、「気持ちが安らぐこと」が54.9%と最も高く、次いで「医療機関が開院したこと」が42.3%、「水道水等、生活水の安全性が確認されたこと」が37.7%となっている。

<図表2-2-2 富岡町への帰還を決めた理由>

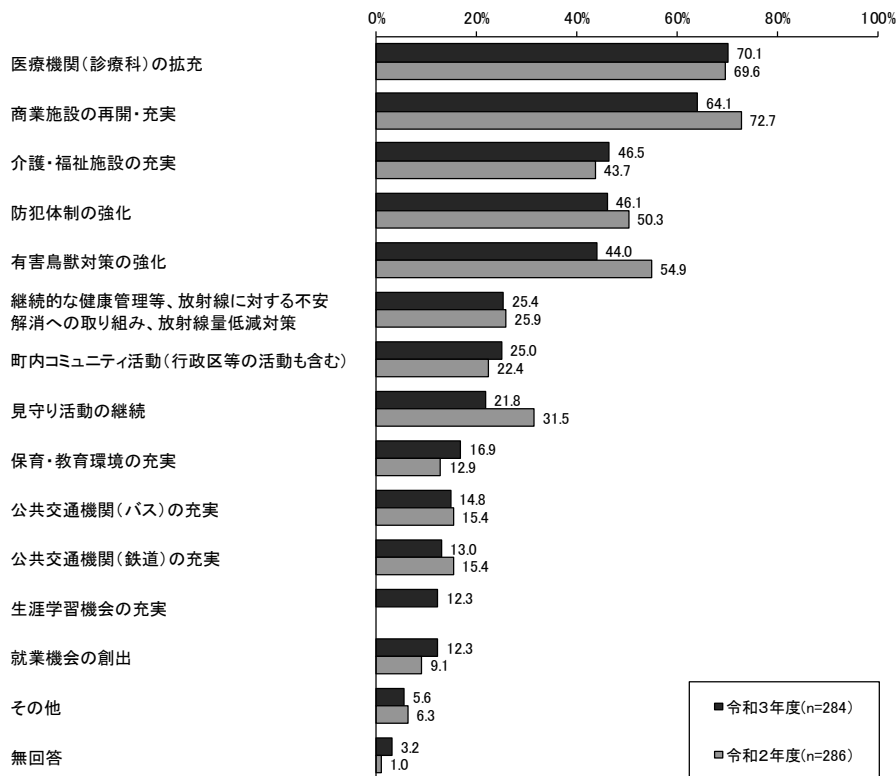


※問 12 で「既に富岡町で生活している」と回答した方のみ  
 ※複数回答可

2-2-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること（問 14）

富岡町内での今後の生活において必要だと感じていることについては、「医療機関（診療科）の拡充」が70.1%と最も高く、次いで「商業施設の再開・充実」が64.1%、「介護・福祉施設の充実」が46.5%となっている。

<図表2-2-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること>



※問 12 で「既に富岡町で生活している」と回答した方のみ

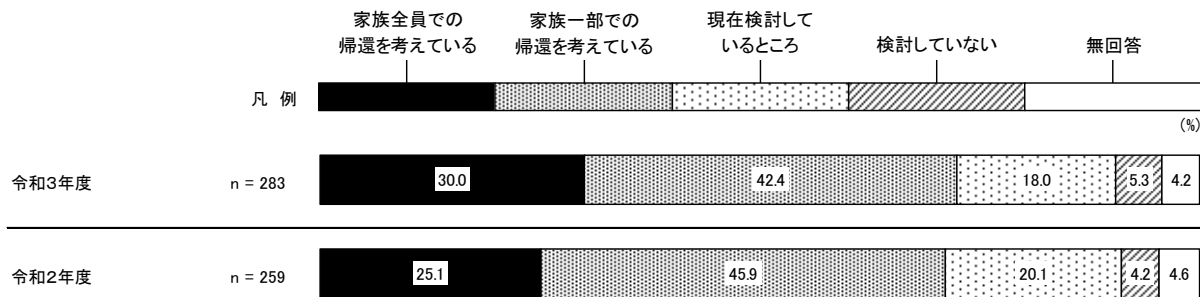
※複数回答可

※令和3年度からの新規回答項目については、令和3年度結果のみ掲載

### 2-2-4 富岡町へ帰還する場合の家族（問 15）

富岡町へ帰還する場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が42.4%と最も高く、次いで「家族全員での帰還を考えている」が30.0%、「現在検討しているところ」が18.0%となっている。

＜図表2-2-4 富岡町へ帰還する場合の家族＞

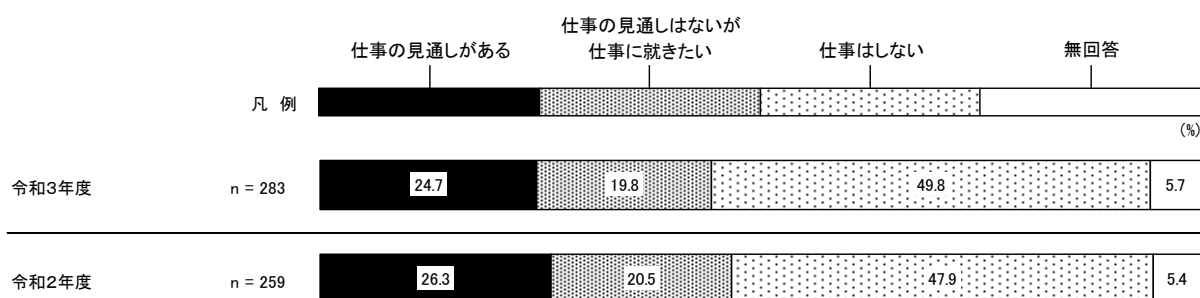


※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

### 2-2-5 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し（問 16）

富岡町へ帰還した場合の仕事の見通しについては、「仕事の見通しがある」が24.7%、「仕事の見通しはないが仕事に就きたい」が19.8%、「仕事はしない」が49.8%となっている。

＜図表2-2-5 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し＞

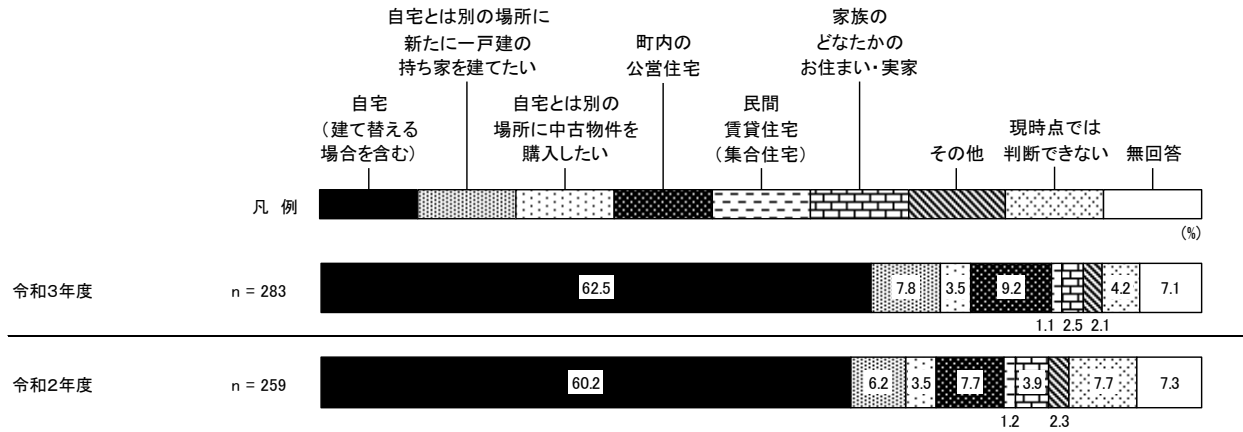


※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-6 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態（問 18）

富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態については、「自宅（建て替える場合を含む）」が62.5%と最も高く、次いで「町内の公営住宅」が9.2%、「自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい」が7.8%となっている。

<図表2-2-6 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態>

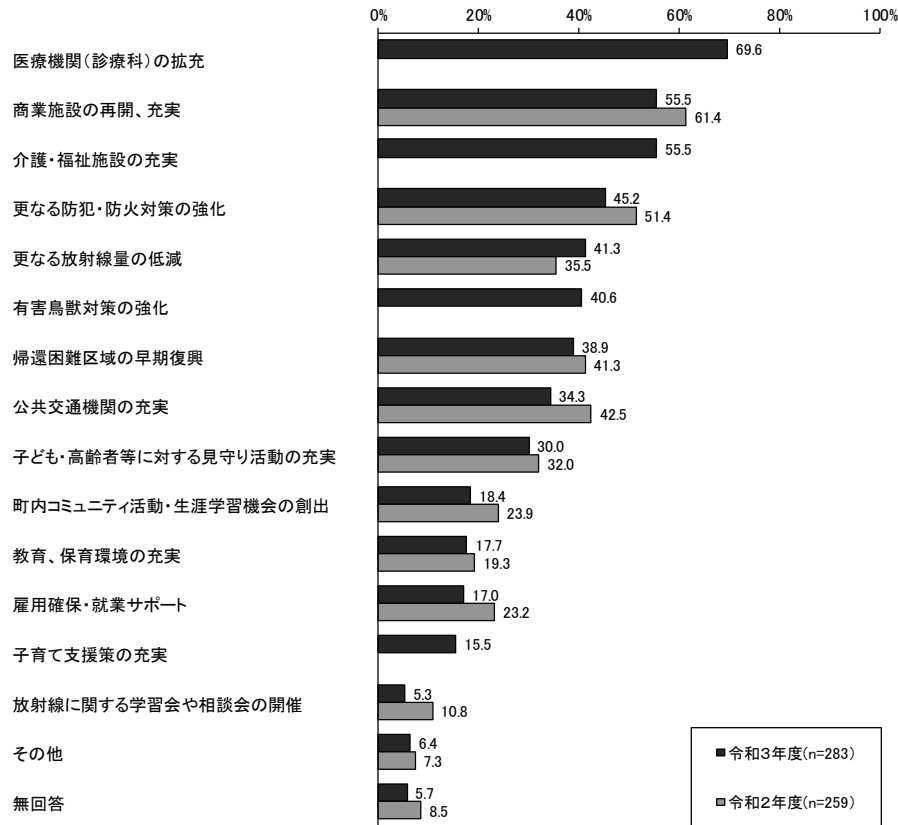


※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-7 富岡町へ帰還する場合に必要な施策（問 19）

富岡町へ帰還する場合に必要な施策については、「医療機関（診療科）の拡充」が69.6%と最も高く、次いで「商業施設の再開、充実」と「介護・福祉施設の充実」がともに55.5%となっている。

＜図表2-2-7 富岡町へ帰還する場合に必要な施策＞



※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

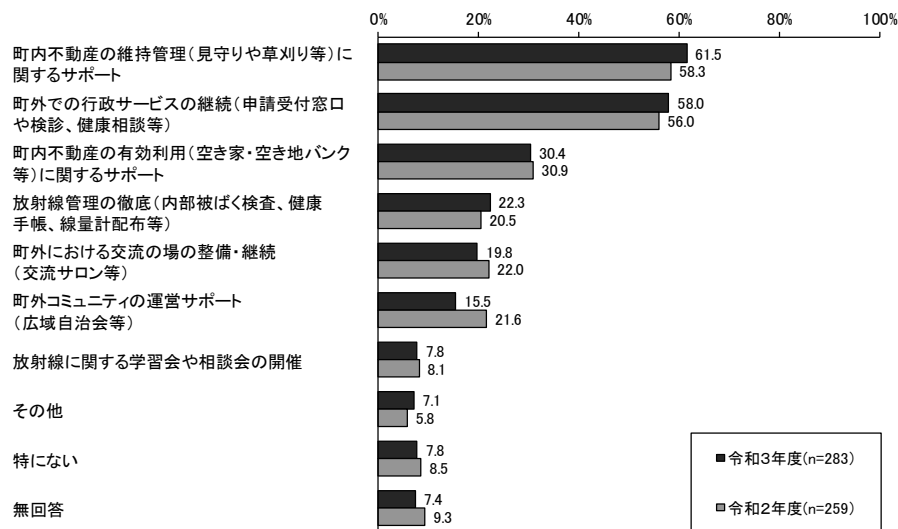
※複数回答可

※令和3年度からの新規回答項目については、令和3年度結果のみ掲載

2-2-8 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策（問20）

富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策については、「町内不動産の維持管理（見守りや草刈り等）に関するサポート」が61.5%と最も高く、次いで「町外での行政サービスの継続（申請受付窓口や検診、健康相談等）」が58.0%、「町内不動産の有効利用（空き家・空き地バンク等）に関するサポート」が30.4%となっている。

<図表2-2-8 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策>



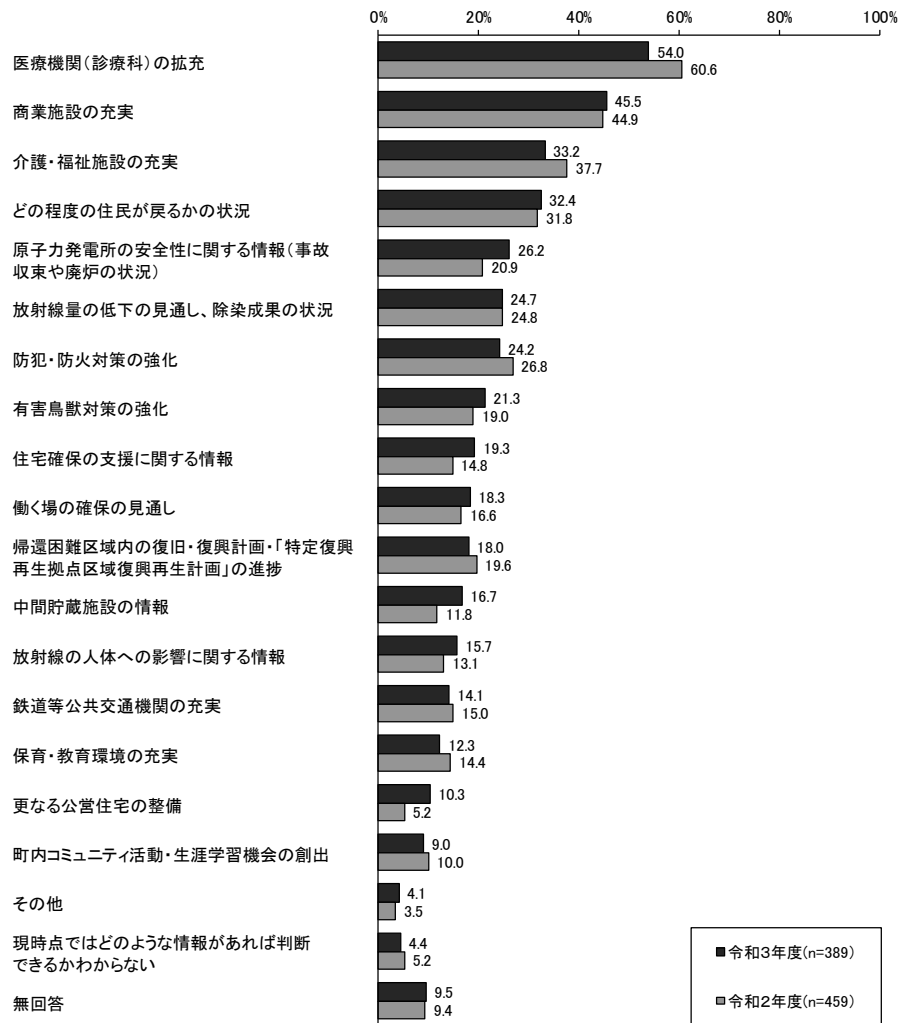
※問12で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ  
 ※複数回答可



2-2-9 富岡町への帰還を判断するために必要なこと（問 22）

富岡町への帰還を判断するために必要なことについては、「医療機関（診療科）の拡充」が54.0%と最も高く、次いで「商業施設の充実」が45.5%、「介護・福祉施設の充実」が33.2%となっている。

<図表2-2-9 富岡町への帰還を判断するために必要なこと>



※問 12 で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ  
 ※複数回答可

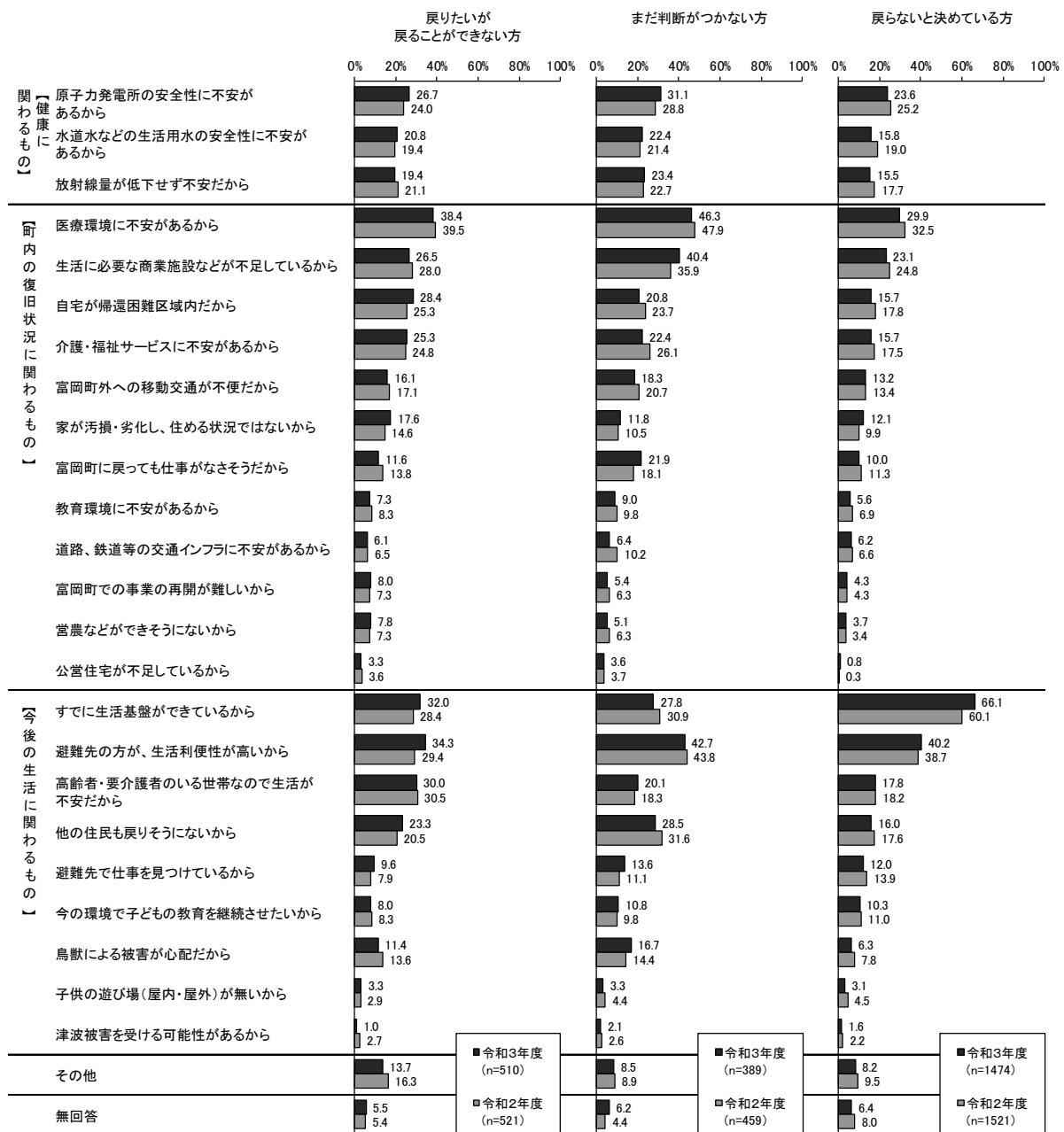
2-2-10 富岡町への帰還ができない、帰還の判断がつかない、帰還しない理由  
(問21・問24)

富岡町への帰還について、帰還ができない理由は「医療環境に不安があるから」が38.4%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が34.3%、「すでに生活基盤ができてきているから」が32.0%となっている。

帰還の判断がつかない理由は「医療環境に不安があるから」が46.3%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が42.7%、「生活に必要な商業施設などが不足しているから」が40.4%となっている。

帰還しない理由は、「すでに生活基盤ができてきているから」が66.1%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が40.2%、「医療環境に不安があるから」が29.9%となっている。

<図表2-2-10 富岡町への帰還ができない、帰還の判断がつかない、帰還しない理由（帰還意向別）>

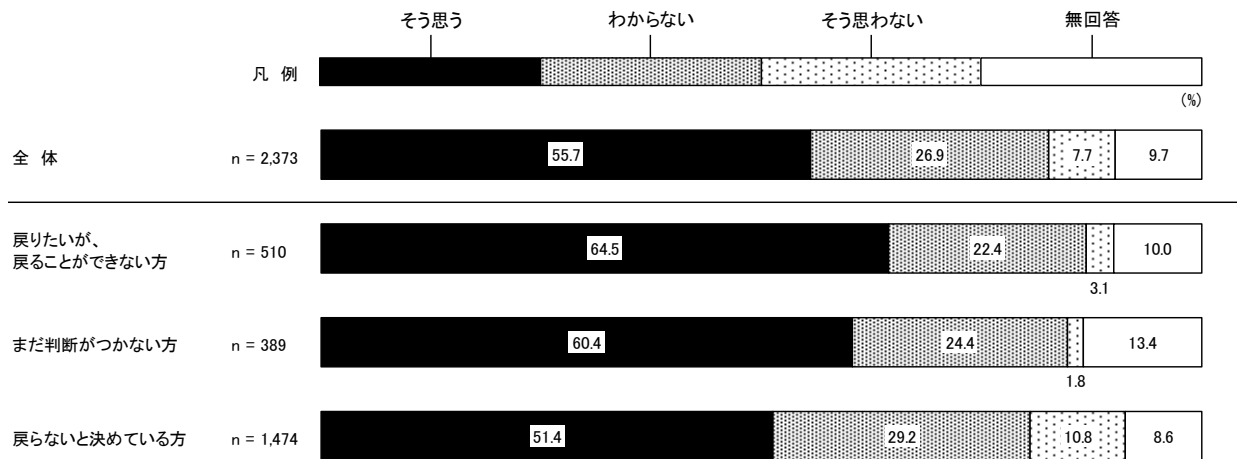


※問12で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ  
※複数回答可

2-2-11 富岡町との「つながり」を保ちたいか（問 23・問 25）

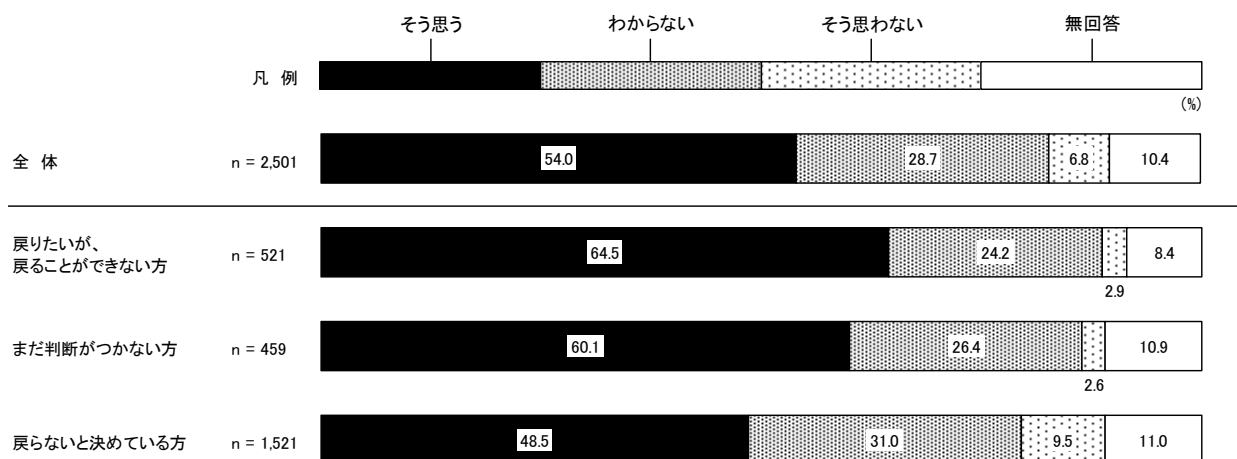
富岡町との「つながり」を保ちたいかについては、「そう思う」が55.7%、「わからない」が26.9%、「そう思わない」が7.7%となっている。  
 帰還意向別に「そう思う」の割合をみると、戻りたいが戻ることができない方では64.5%、まだ判断がつかない方では60.4%、戻らないと決めている方では51.4%となっている。

<図表2-2-11-1 富岡町との「つながり」を保ちたいか：令和3年度（帰還意向別）>



※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

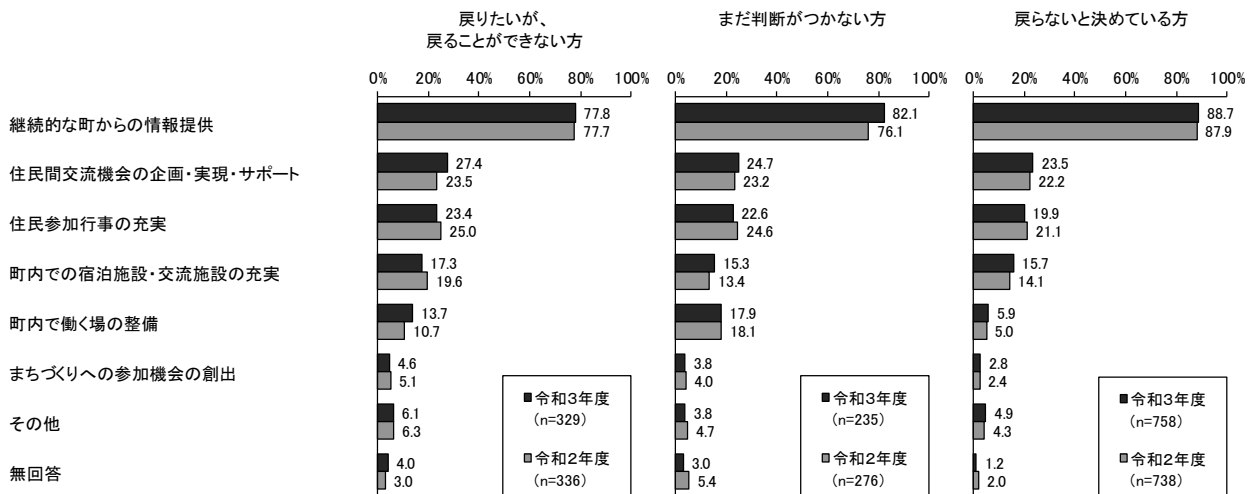
<図表2-2-11-2 富岡町との「つながり」を保ちたいか：令和2年度（帰還意向別）>



2-2-12 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策（問23-1・問25-1）

富岡町との「つながり」を保つために必要な施策については、どの帰還意向の方においても「継続的な町からの情報提供」が7割以上と最も高く、「住民間交流機会の企画・実現・サポート」と「住民参加行事の充実」が2割以上となっている。

<図表2-2-12 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策（帰還意向別）>



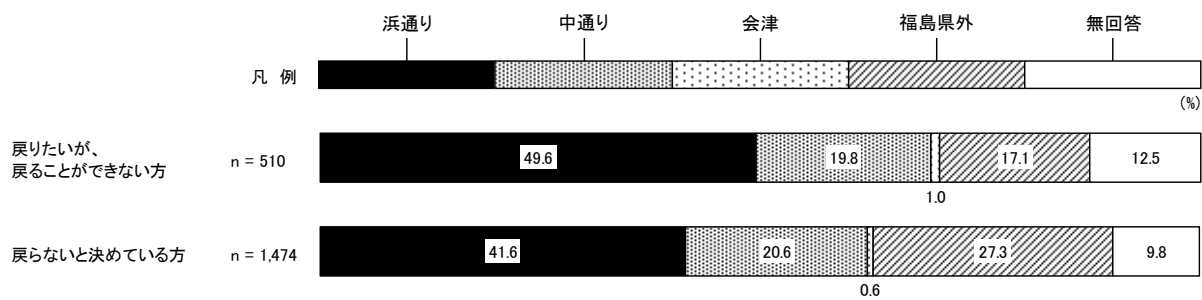
※問23・問25で「そう思う」と回答した方のみ  
 ※複数回答可

2-2-13 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域（既に居住している場合を含む）  
（問 26）

富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域について、戻りたいが戻ることができない方では「浜通り」が49.6%と最も高く、次いで「中通り」が19.8%、「福島県外」が17.1%となっている。

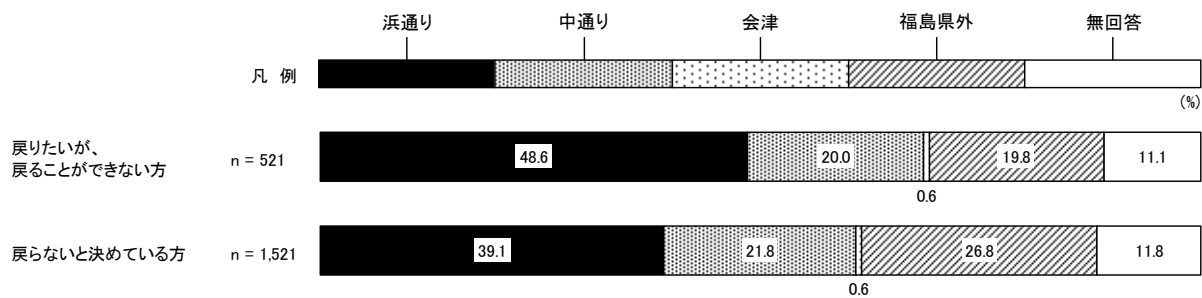
戻らないと決めている方では「浜通り」が41.6%と最も高く、次いで「福島県外」が27.3%、「中通り」が20.6%となっている。

＜図表2-2-13-1 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域  
（既に居住している場合を含む）：令和3年度（帰還意向別）＞



※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

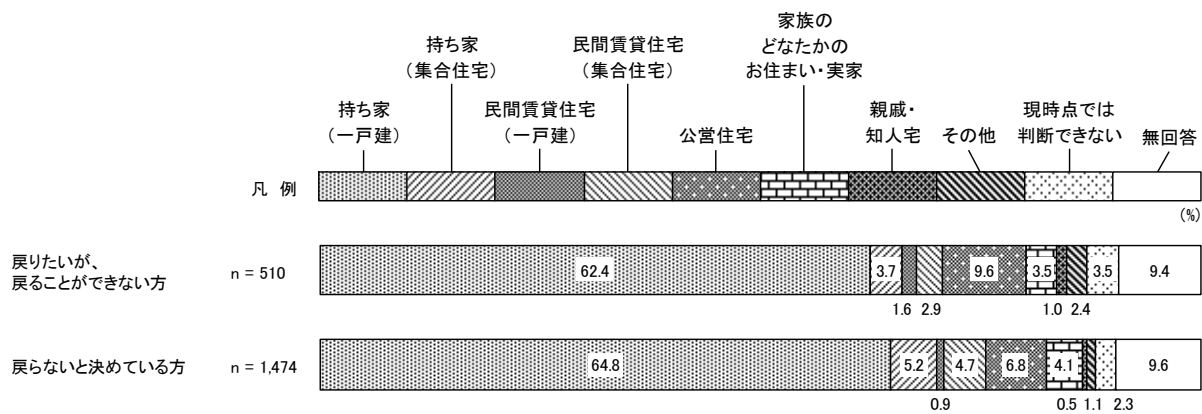
＜図表2-2-13-2 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域  
（既に居住している場合を含む）：令和2年度（帰還意向別）＞



2-2-14 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして検討する住居形態  
（既に居住している場合を含む）（問 27）

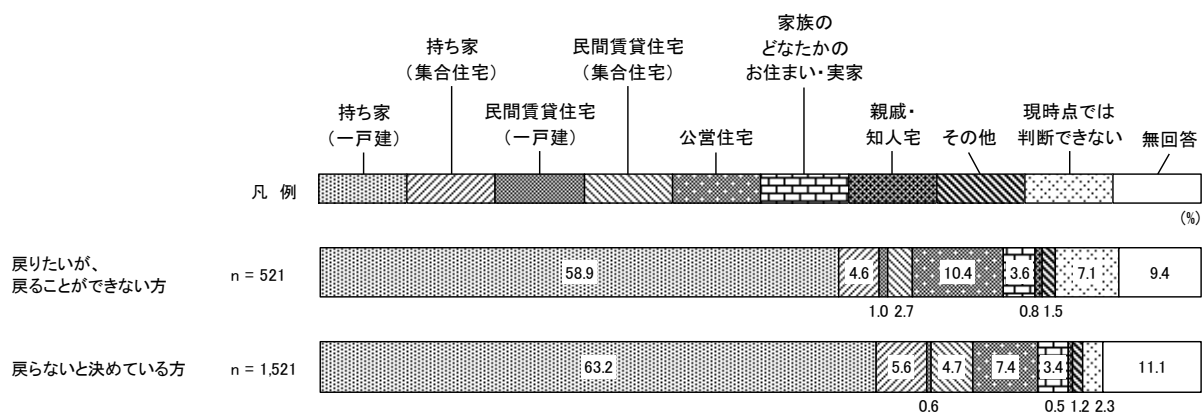
富岡町に帰還しない場合に居住を希望する住居形態については、戻りたいが戻ることができない方では「持ち家（一戸建）」が62.4%と最も高く、次いで「公営住宅」が9.6%となっている。  
戻らないと決めている方では「持ち家（一戸建）」が64.8%と最も高く、次いで「公営住宅」が6.8%となっている。

＜図表2-2-14-1 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして検討する住居形態  
（既に居住している場合を含む）：令和3年度（帰還意向別）＞



※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

＜図表2-2-14-2 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして検討する住居形態  
（既に居住している場合を含む）：令和2年度（帰還意向別）＞

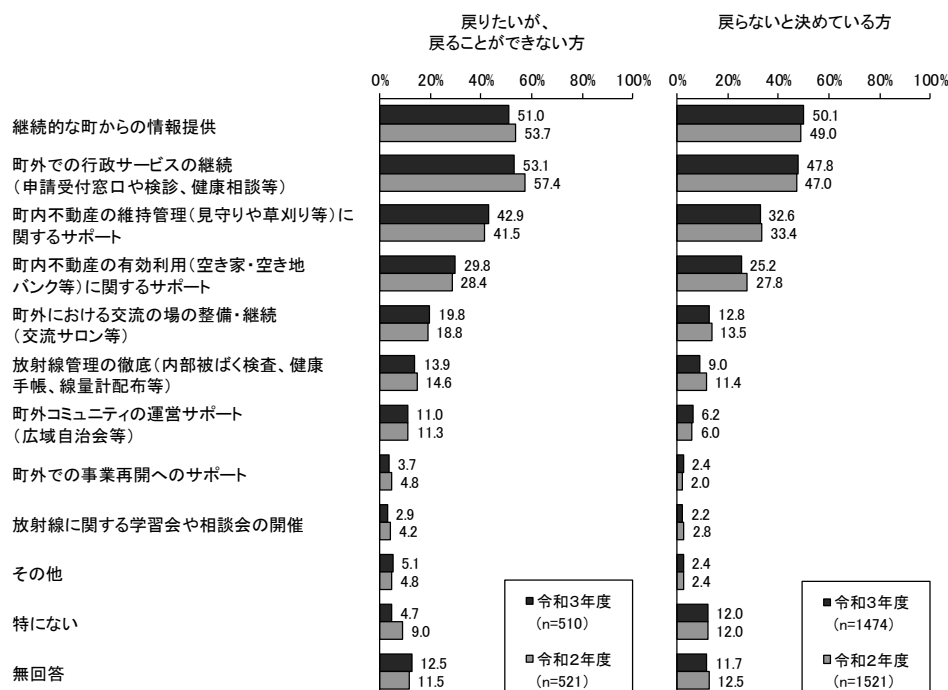


2-2-15 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策(問 28)

富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策については、戻りたいが戻ることができない方では「町外での行政サービスの継続（申請受付窓口や検診、健康相談等）」が53.1%と最も高く、次いで「継続的な町からの情報提供」が51.0%、「町内不動産の維持管理（見守りや草刈り等）に関するサポート」が42.9%となっている。

戻らないと決めている方では「継続的な町からの情報提供」が50.1%と最も高く、次いで「町外での行政サービスの継続（申請受付窓口や検診、健康相談等）」が47.8%、「町内不動産の維持管理（見守りや草刈り等）に関するサポート」が32.6%となっている。

<図表2-2-15 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策（帰還意向別）>

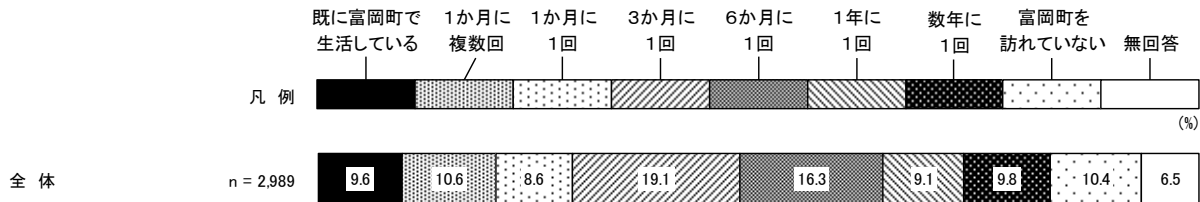


※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ  
 ※複数回答可

2-2-16 富岡町に訪れる頻度（問 29）

富岡町に訪れる頻度については、「3か月に1回」が19.1%と最も高く、次いで「6か月に1回」が16.3%、「1か月に複数回」が10.6%となっている。

<図表2-2-16 富岡町に訪れる頻度>

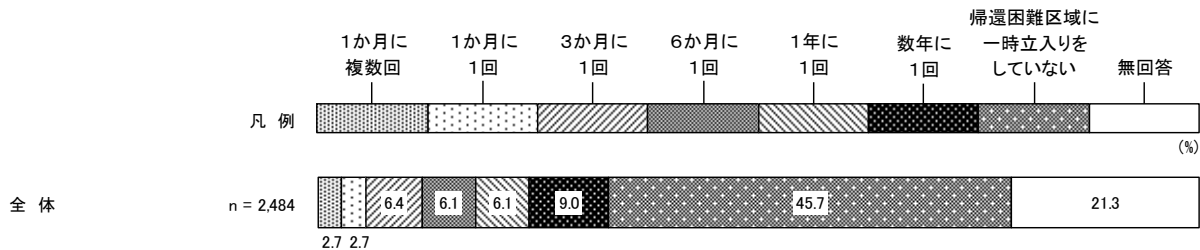


※令和3年度からの新規設問

2-2-17 富岡町内の帰還困難区域の一時立入りの頻度（問 29-1）

富岡町内の帰還困難区域の一時立入りの頻度については、「帰還困難区域に一時立入りをしていない」が45.7%と最も高く、次いで「数年に1回」が9.0%、「3か月に1回」が6.4%となっている。

<図表2-2-17 富岡町内の帰還困難区域の一時立入りの頻度>



※問 29 で「富岡町を訪れていない」以外と回答した方のみ  
 ※令和3年度からの新規設問



### **Ⅲ 調査結果（全項目）**

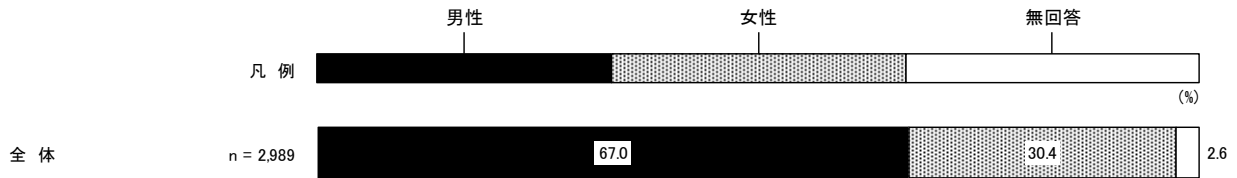


### 3-1 回答者の属性

#### 3-1-1 性別

問1 性別を教えてください。（〇は1つ）

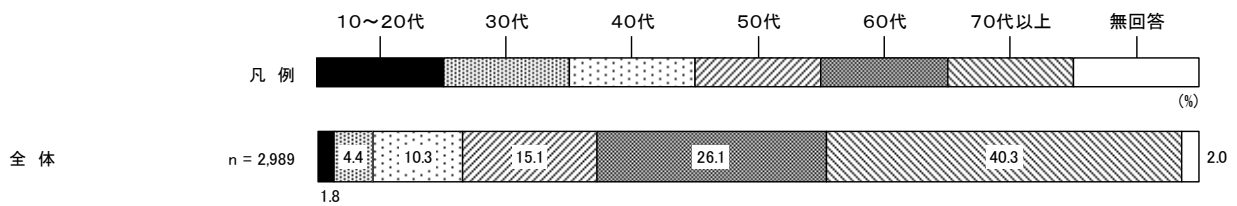
<図表3-1-1 性別>



#### 3-1-2 年齢

問2 あなたの現在の年齢を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-1-2 年齢>

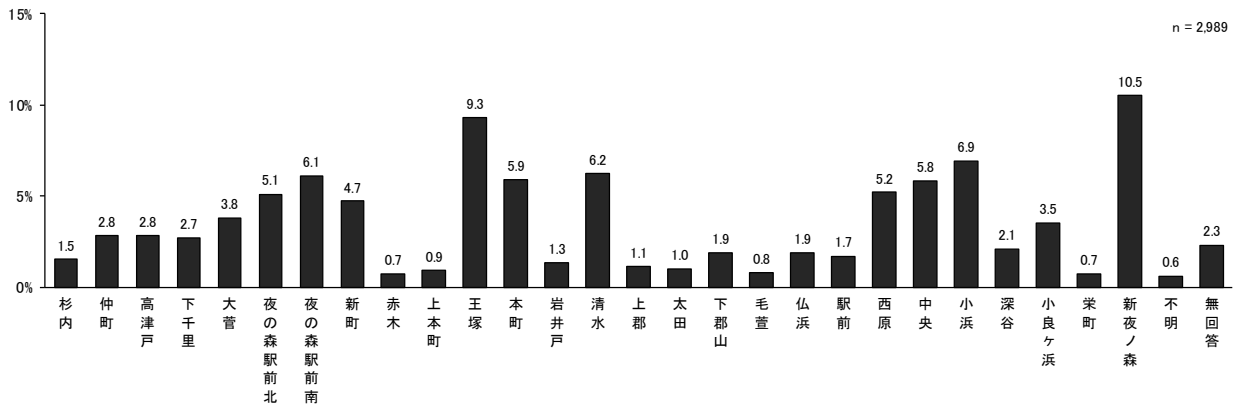


### 3-2 東日本大震災発生時の状況

#### 3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。（○は1つ）

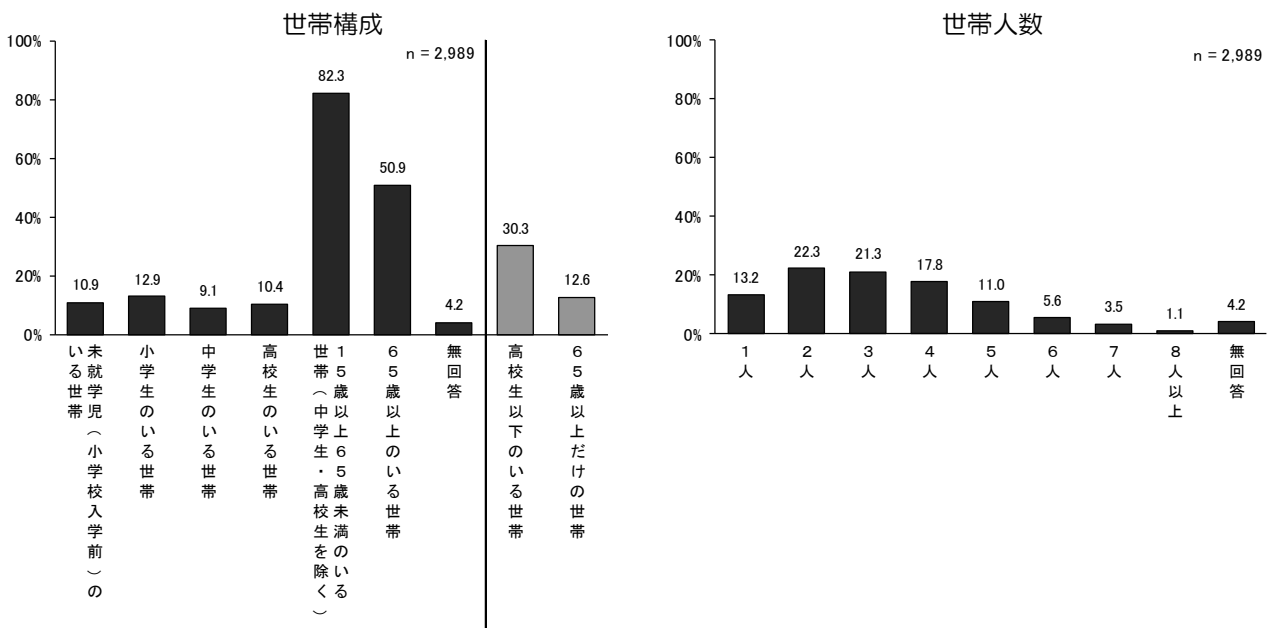
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



#### 3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問4 震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、震災発生当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

<図表3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数>

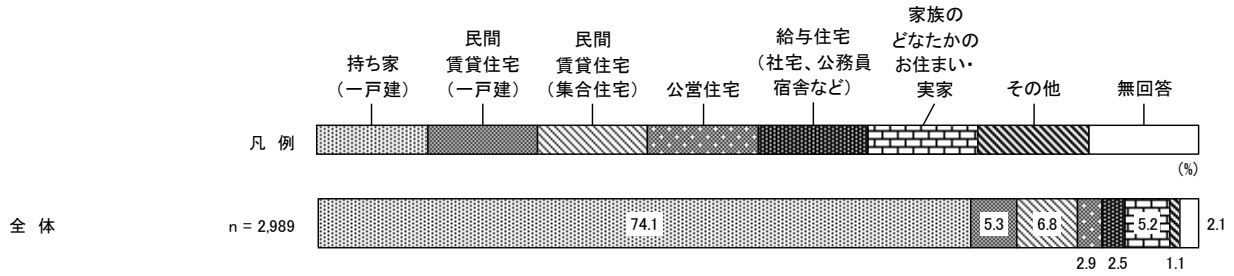


\*集計結果を基に再集計

### 3-2-3 震災発生当時の住まいの住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅の形態を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-2-3 震災発生当時の住まいの住居形態>



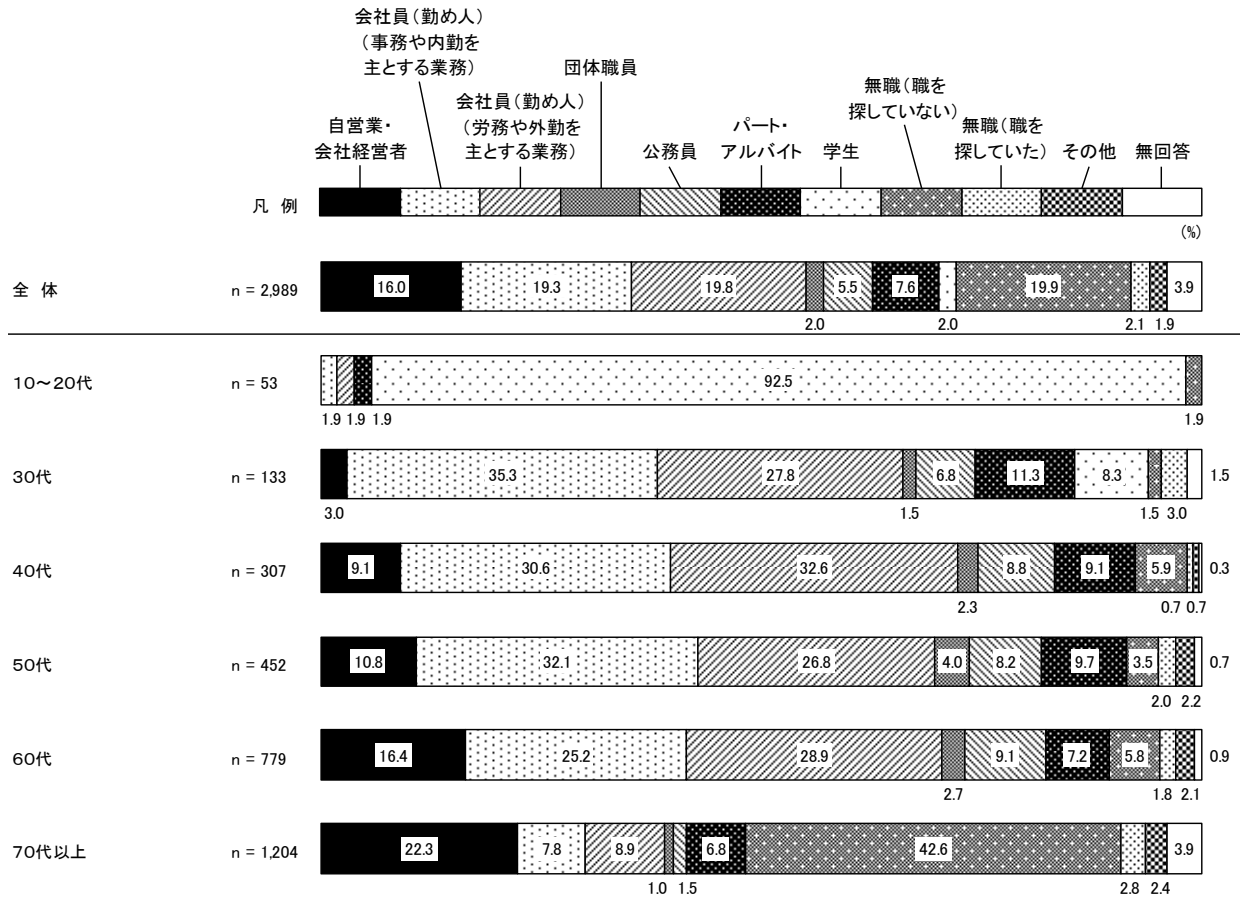
〔その他の内訳〕

持ち家（集合住宅）	0.4%
親戚・知人宅	0.5%
その他	0.2%

3-2-4 震災発生当時の職業（就業形態）

問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。  
 (1) 震災発生当時のあなたの職業（就業形態）（〇は1つ）

<図表3-2-4 震災発生当時の職業（就業形態）（年齢別）>



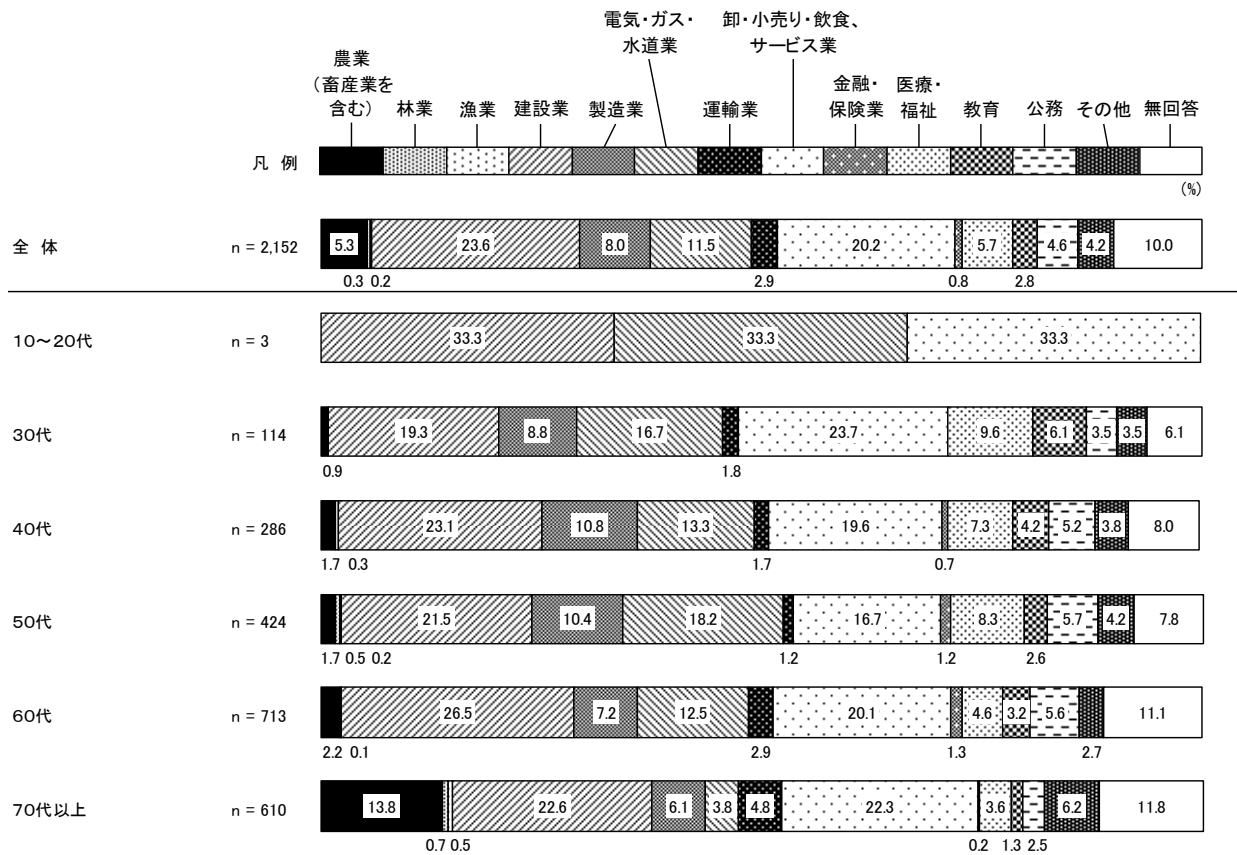
### 3-2-5 震災発生当時の業種

【就業していた方（\*問6（1）で「1」から「6」、「10」と回答した方）に伺います。】  
 問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。

(2) 震災発生当時のあなたの業種（〇は1つ）

- \*問6（1）：1. 自営業・会社経営者  
 2. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）  
 3. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）  
 4. 団体職員  
 5. 公務員  
 6. パート・アルバイト  
 10. その他

<図表3-2-5 震災発生当時の業種（年齢別）>



3-2-6 震災発生当時の勤務先の場所

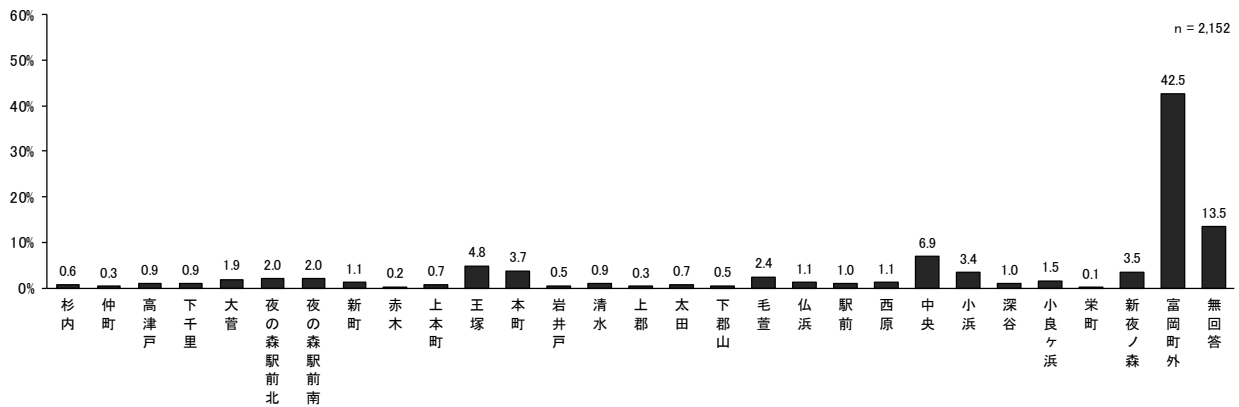
【就業していた方（※問6（1）で「1」から「6」、「10」と回答した方）に伺います。】

問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。

（3） 震災発生当時の勤務先の場所（〇は1つ）

- ※問6（1）： 1. 自営業・会社経営者  
 2. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）  
 3. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）  
 4. 団体職員  
 5. 公務員  
 6. パート・アルバイト  
 10. その他

<図表3-2-6 震災発生当時の勤務先の場所>



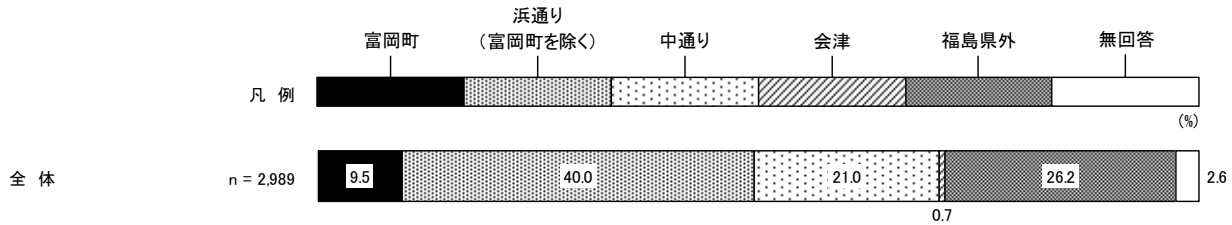


### 3-3 現在の状況

#### 3-3-1 現在の居住地

問7 あなたが現在お住まいの地域を教えてください。（〇は1つ）

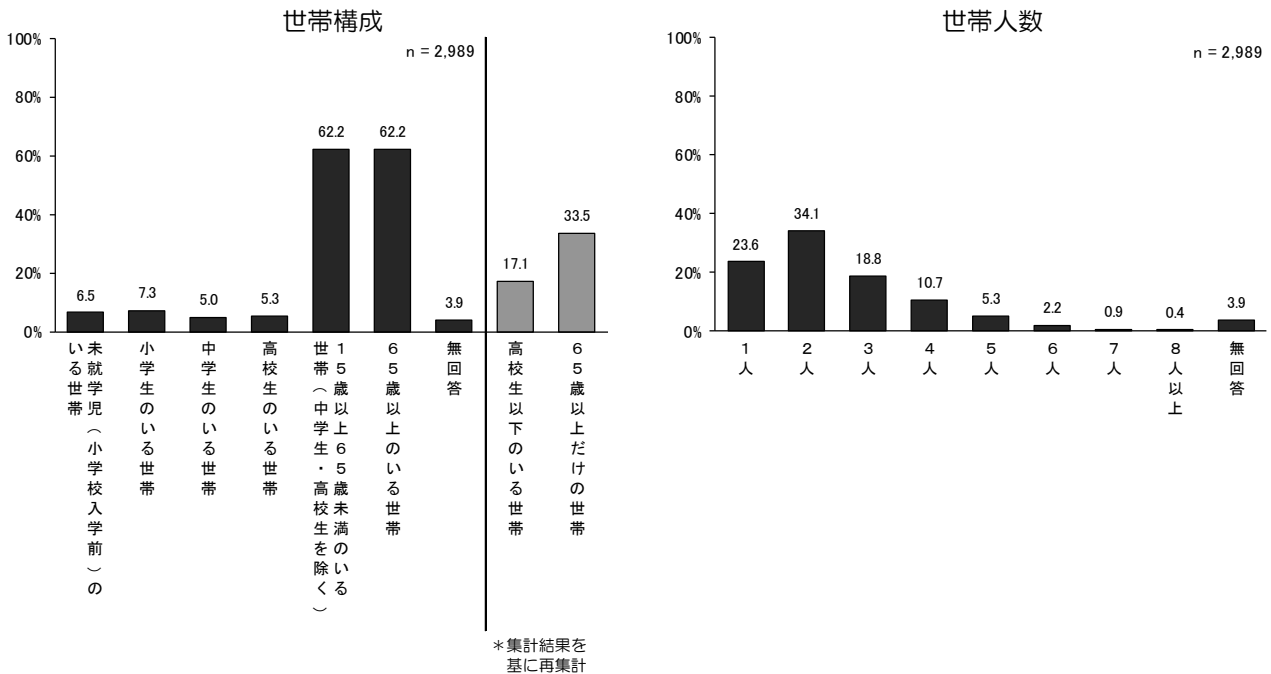
<図表3-3-1 現在の居住地>



#### 3-3-2 現在の世帯構成・人数

問8 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

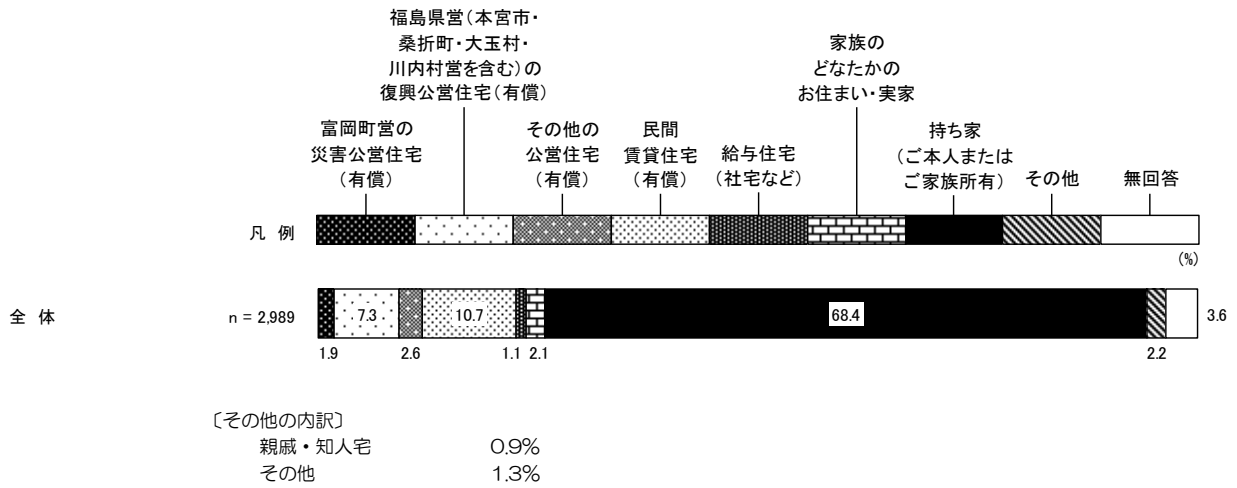
<図表3-3-2 現在の世帯構成・人数>



### 3-3-3 現在の住居形態

問9 現在お住まいになっている住宅の形態を教えてください。（○は1つ）

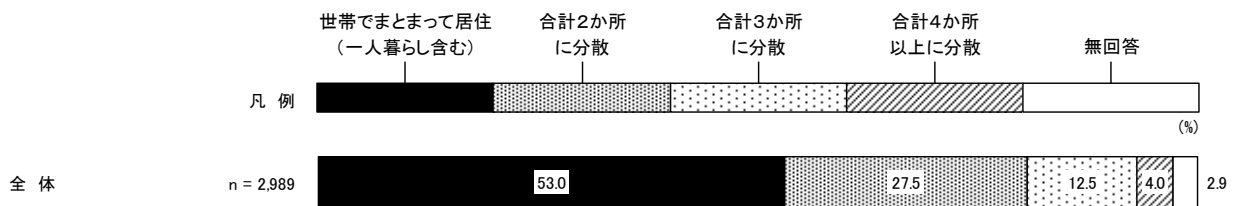
<図表3-3-3 現在の住居形態>



### 3-3-4 世帯の分散状況

問10 震災発生当時一緒にお住まいだったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。（○は1つ）

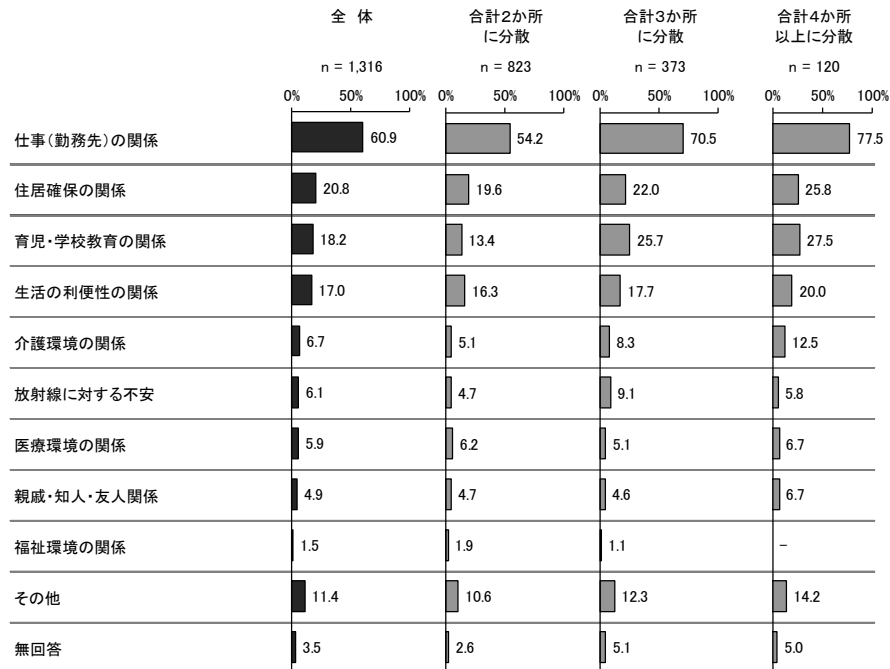
<図表3-3-4 世帯の分散状況>



### 3-3-5 世帯が分散して住まざるを得なかった理由

【分散してお住まいになられている方（問10で「2. 合計2か所に分散」「3. 合計3か所に分散」「4. 合計4か所以上に分散」と回答した方）に伺います。】  
 問10-1 分散してお住まいにならざるを得なかった理由は何ですか。（〇は上位3つまで）

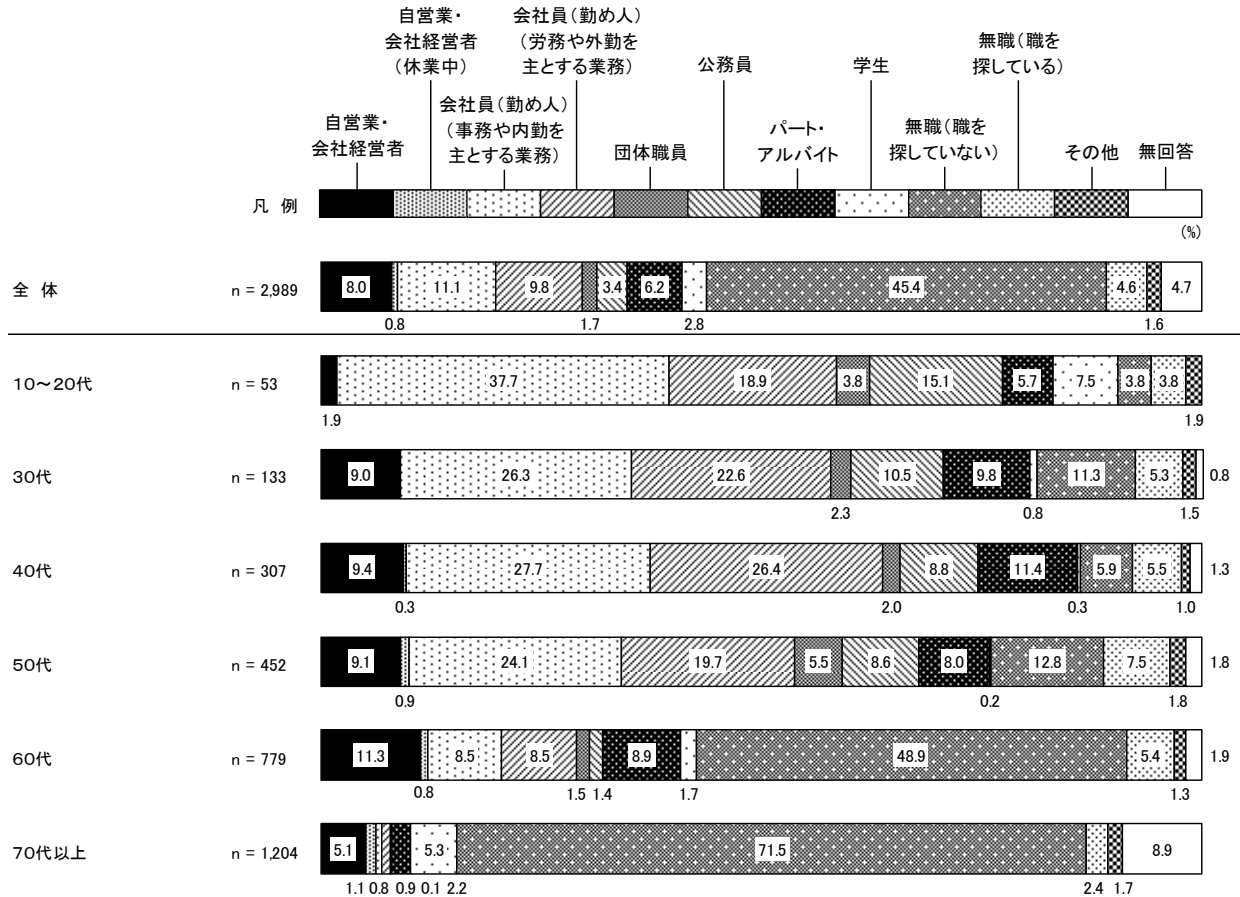
<図表3-3-5 世帯が分散して住まざるを得なかった理由（分散か所数別）>



3-3-6 現在の職業（就業形態）

問11 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。  
 (1) 現在のあなたの職業（就業形態）（○は1つ）

<図表3-3-6 現在の職業（就業形態）（年齢別）>

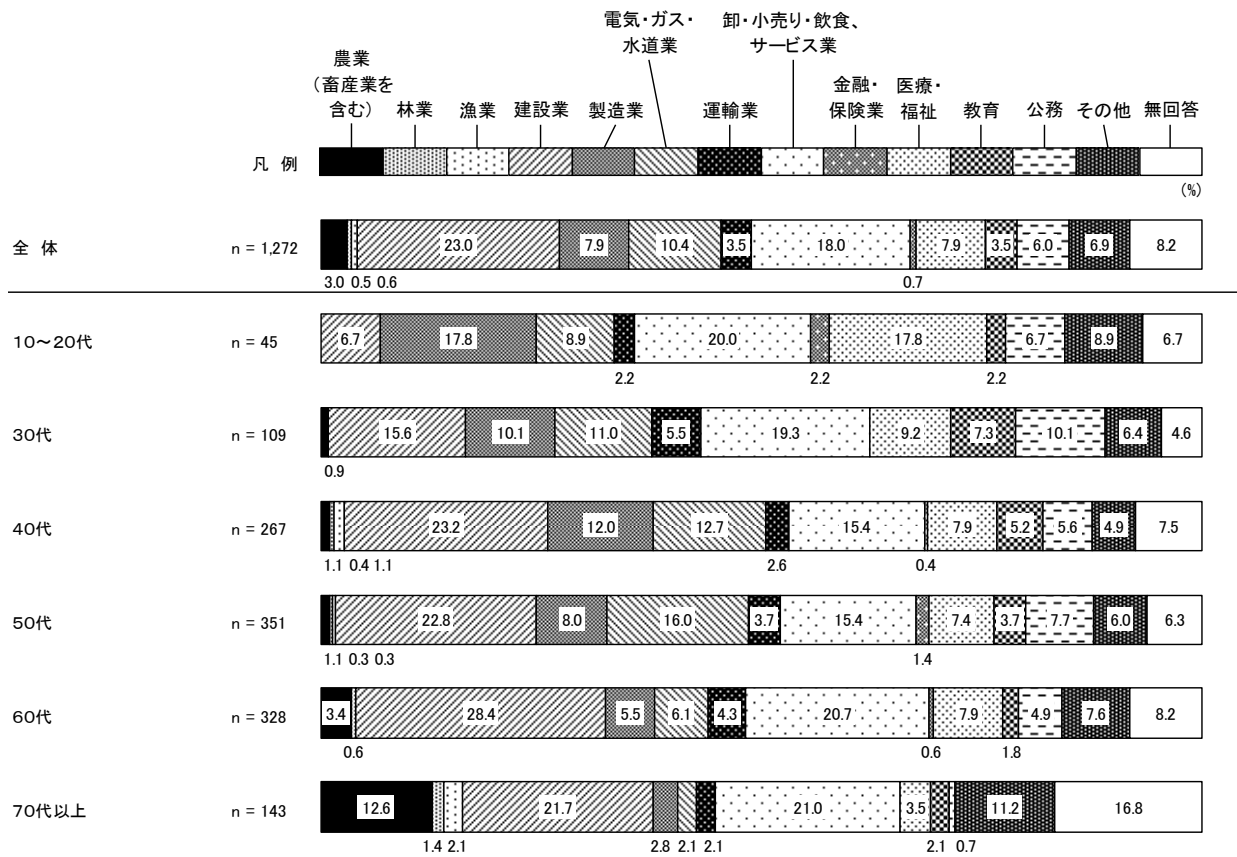


3-3-7 現在の業種

【就業していた方（※問11（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方）に伺います。】  
 問11 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。  
 （2）現在のあなたの業種（〇は1つ）

※問11（1）：1. 自営業・会社経営者  
 2. 自営業・会社経営者（休業中）  
 3. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）  
 4. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）  
 5. 団体職員  
 6. 公務員  
 7. パート・アルバイト  
 11. その他

<図表3-3-7 現在の業種（年齢別）>



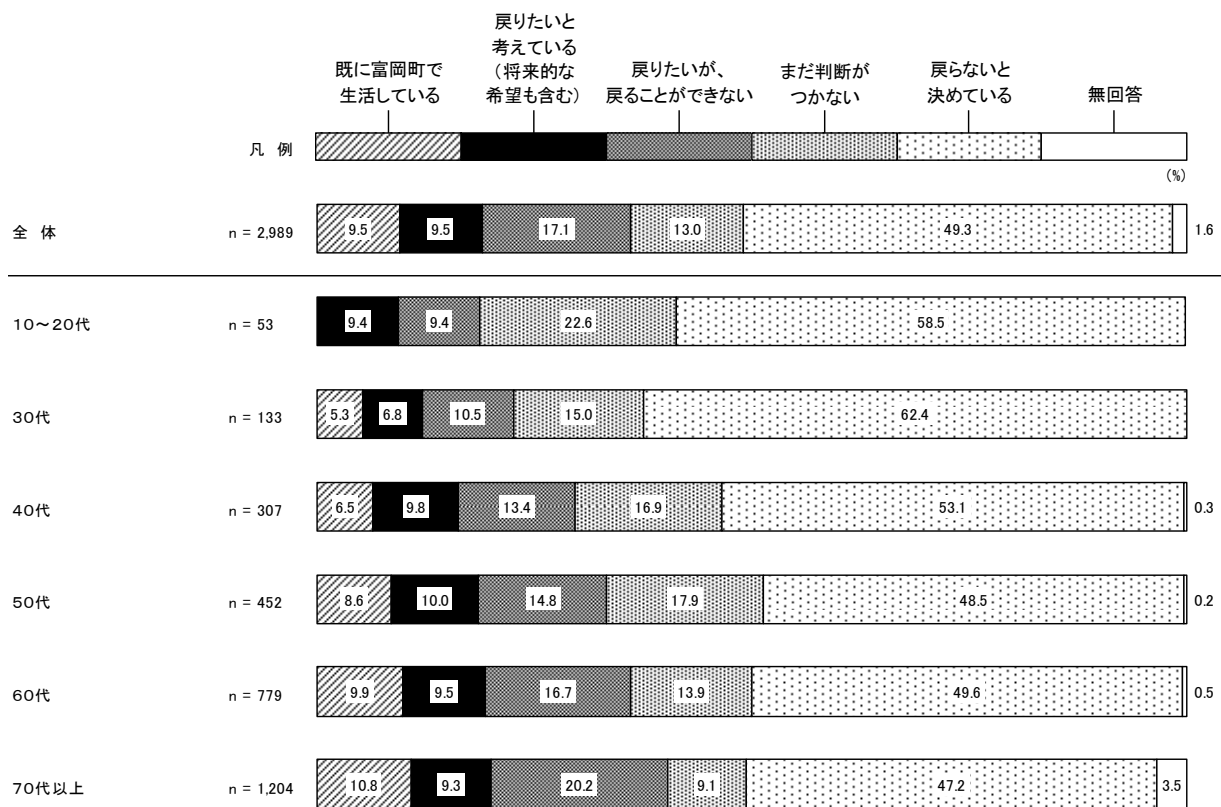
### 3-4 将来の意向

#### 3-4-1 富岡町への帰還意向

問12 富岡町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。＊「1」から「5」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。（〇は1つ）

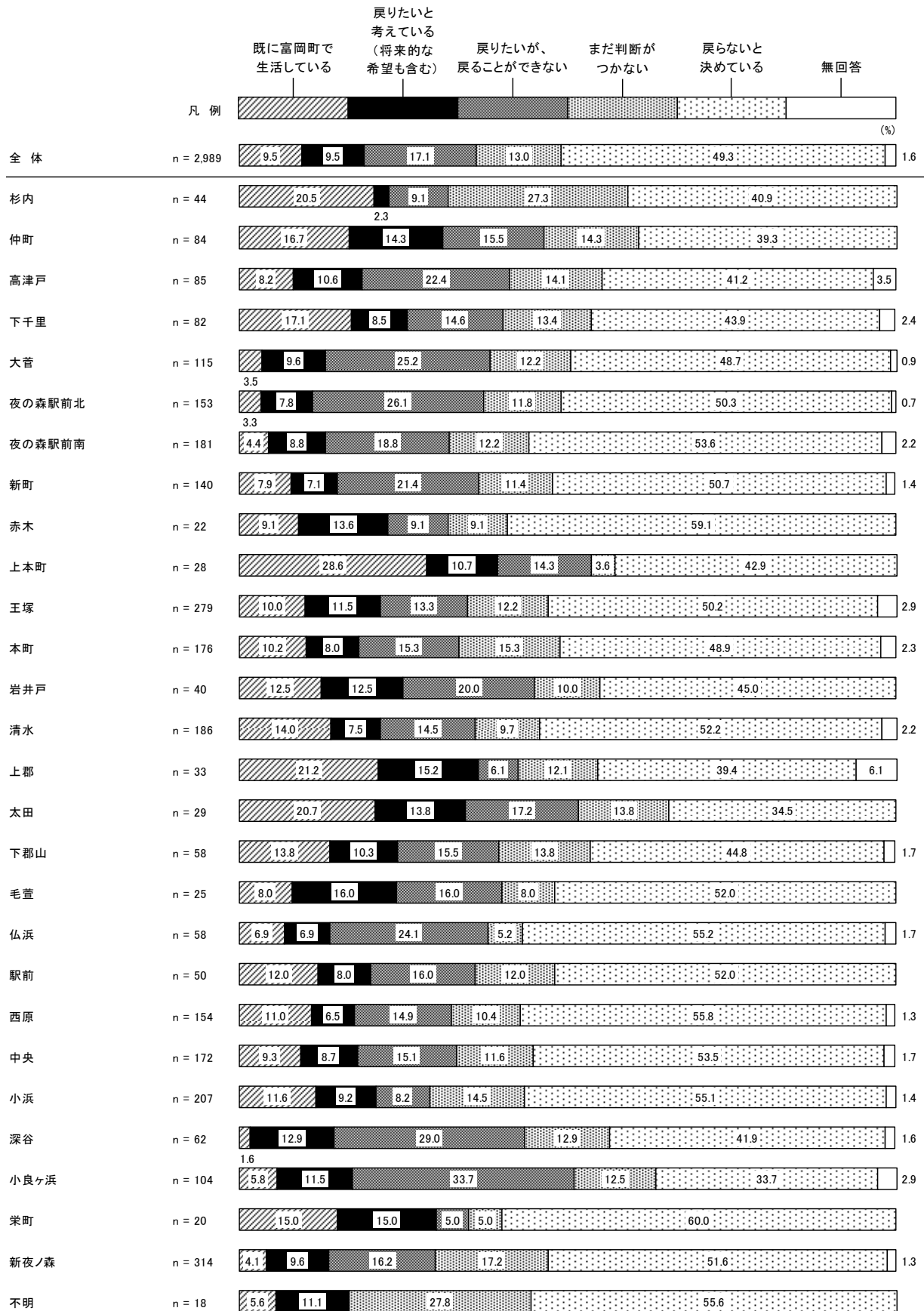
- ＊ 1. 既に富岡町で生活している
- 2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）
- 3. まだ判断がつかない
- 4. 戻りたいが、戻ることができない
- 5. 戻らないと決めている

<図表3-4-1-1 富岡町への帰還意向（年齢別）>



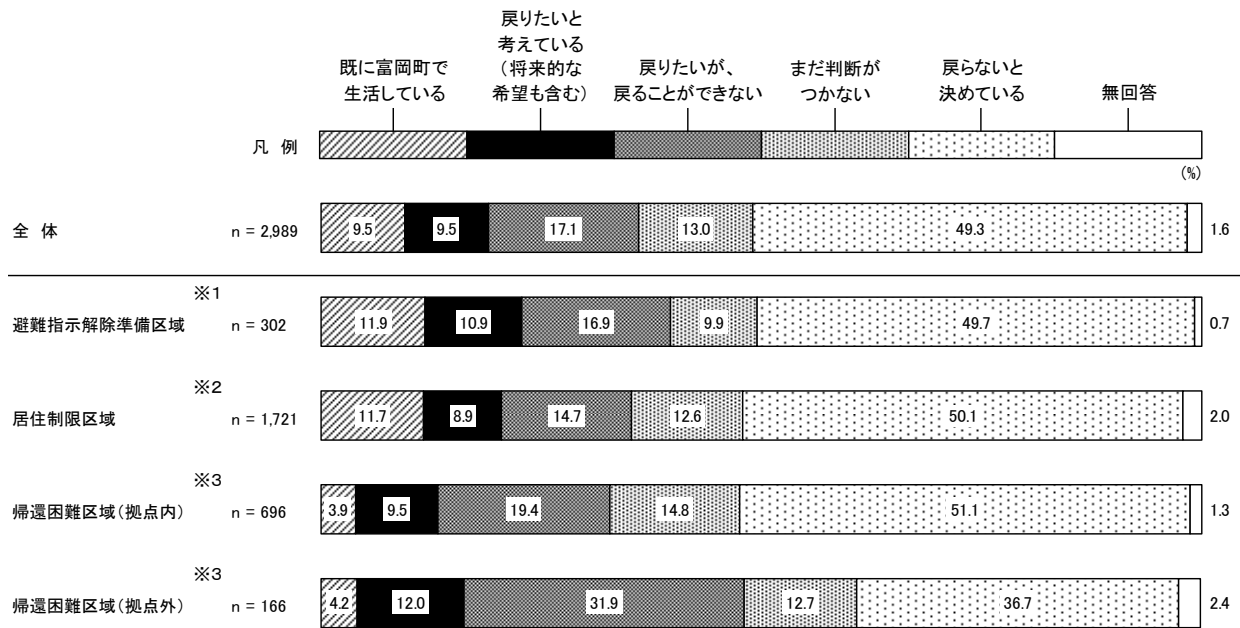
注：グラフでは、「まだ判断がつかない」「戻りたいが、戻ることができない」を入れ替えて表示している

<図表3-4-1-2 富岡町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



注：グラフでは、「まだ判断がつかない」「戻りたいが、戻ることができない」を入れ替えて表示している

<図表3-4-1-3 富岡町への帰還意向(避難指示区域別)>



注：グラフでは、「まだ判断がつかない」「戻りたいが、戻ることができない」を入れ替えて表示している

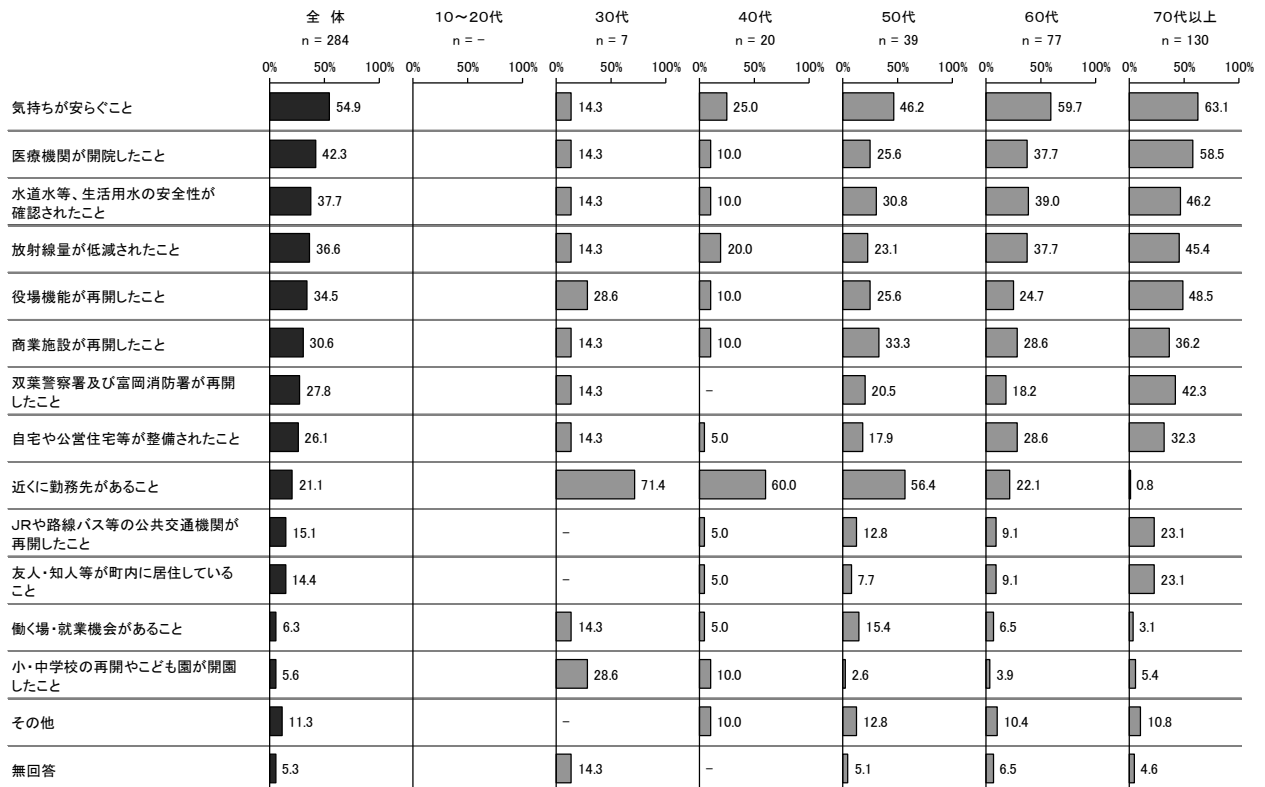
- ※1 平成 29 年 4 月 1 日に避難指示解除済み
- ※2 平成 29 年 4 月 1 日に避難指示解除済み
- ※3 「拠点」とは特定復興再生拠点のこと



### 3-4-2 富岡町への帰還を決めた理由

【問12で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方に伺います。】  
 問13 町内での生活を決めた判断材料は、どのようなことですか。（〇はいくつでも）

<図表3-4-2 富岡町への帰還を決めた理由（年齢別）>

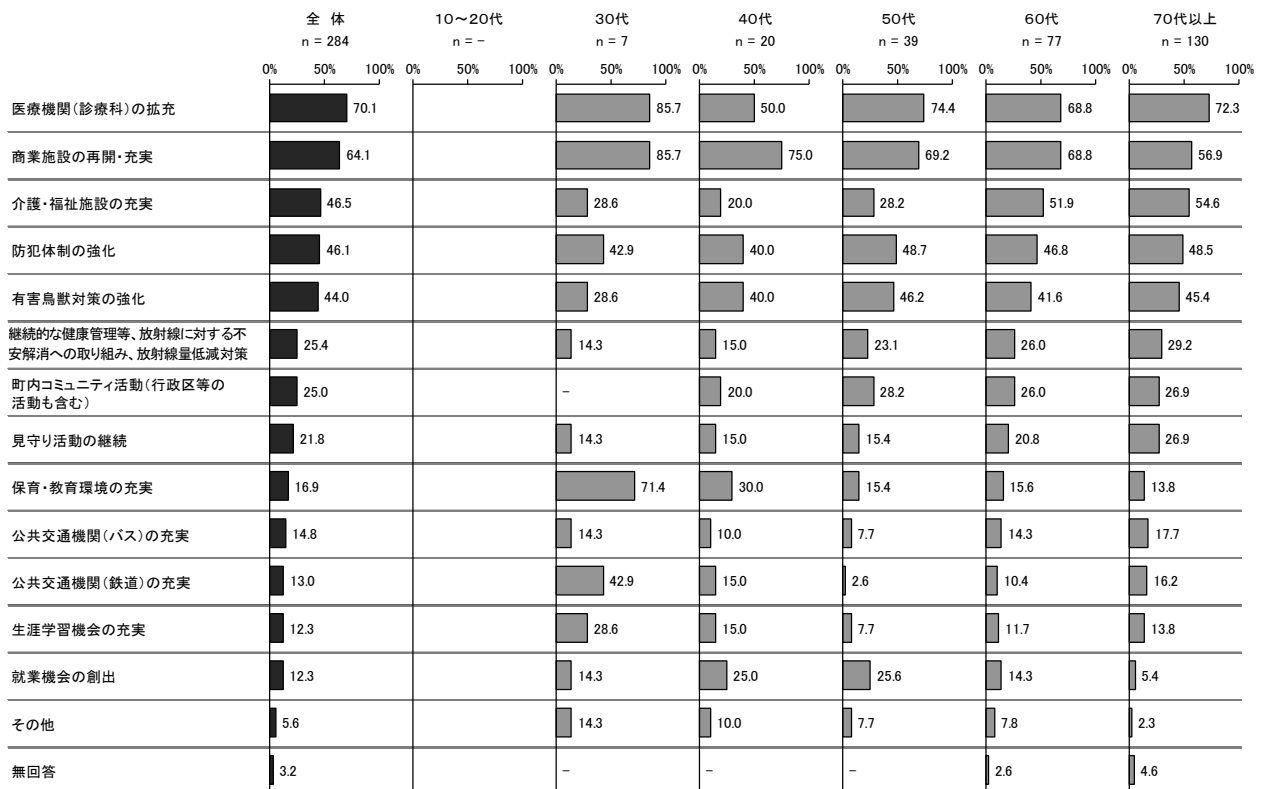


3-4-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること

【問12で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方に伺います。】

問14 町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。（〇はいくつでも）

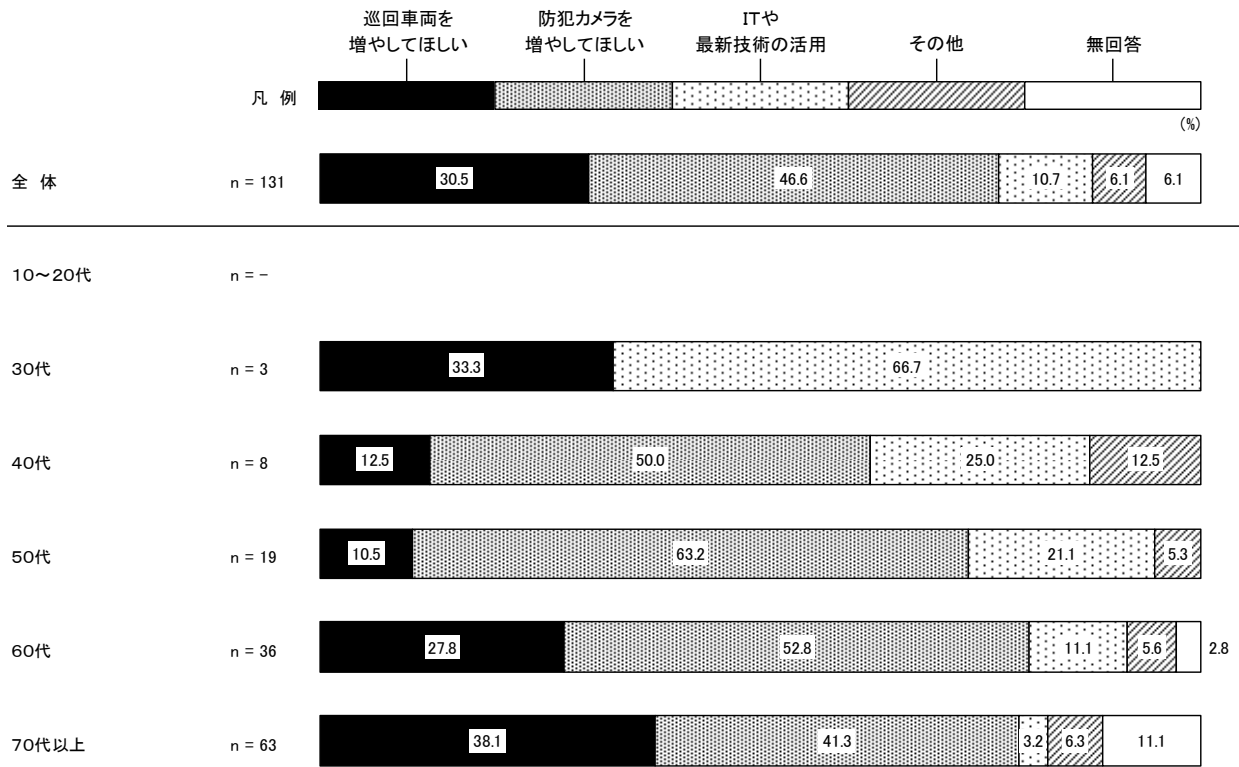
<図表3-4-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること（年齢別）>



### 3-4-4 防犯体制で強化してほしいもの

【問14で「1. 防犯体制の強化」と回答した方に伺います。】  
 問14-1 防犯体制で、強化してほしいものを教えてください。（〇は1つ）

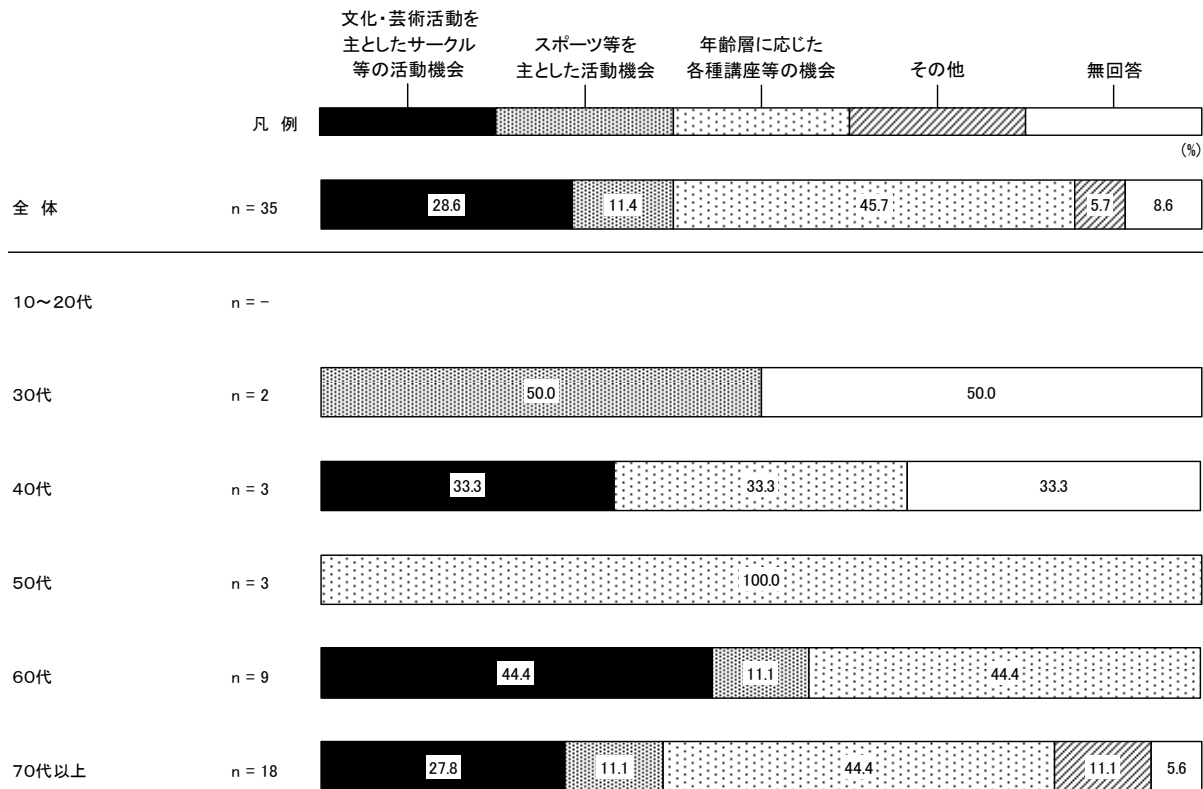
<図表3-4-4 防犯体制で強化してほしいもの（年齢別）>



3-4-5 生涯学習機会で充実させてほしいもの

【問14で「2. 生涯学習機会の充実」と回答した方に伺います。】  
 問14-2 生涯学習機会で、充実させてほしいものを教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-5 生涯学習機会で充実させてほしいもの（年齢別）>

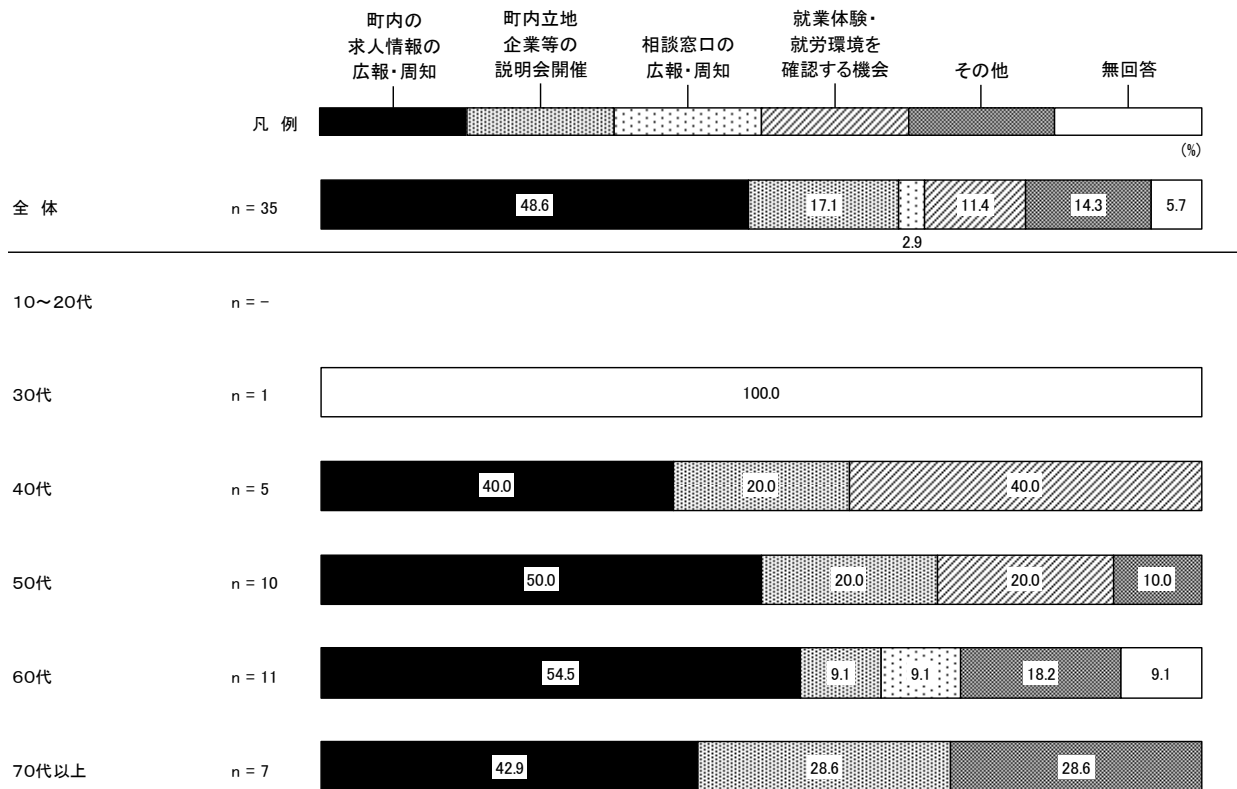


### 3-4-6 就業機会の創出として希望する支援施策

【問14で「3. 就業機会の創出」と回答した方に伺います。】

問14-3 就業機会の創出の支援として、どのような支援施策を希望されますか。（〇は1つ）

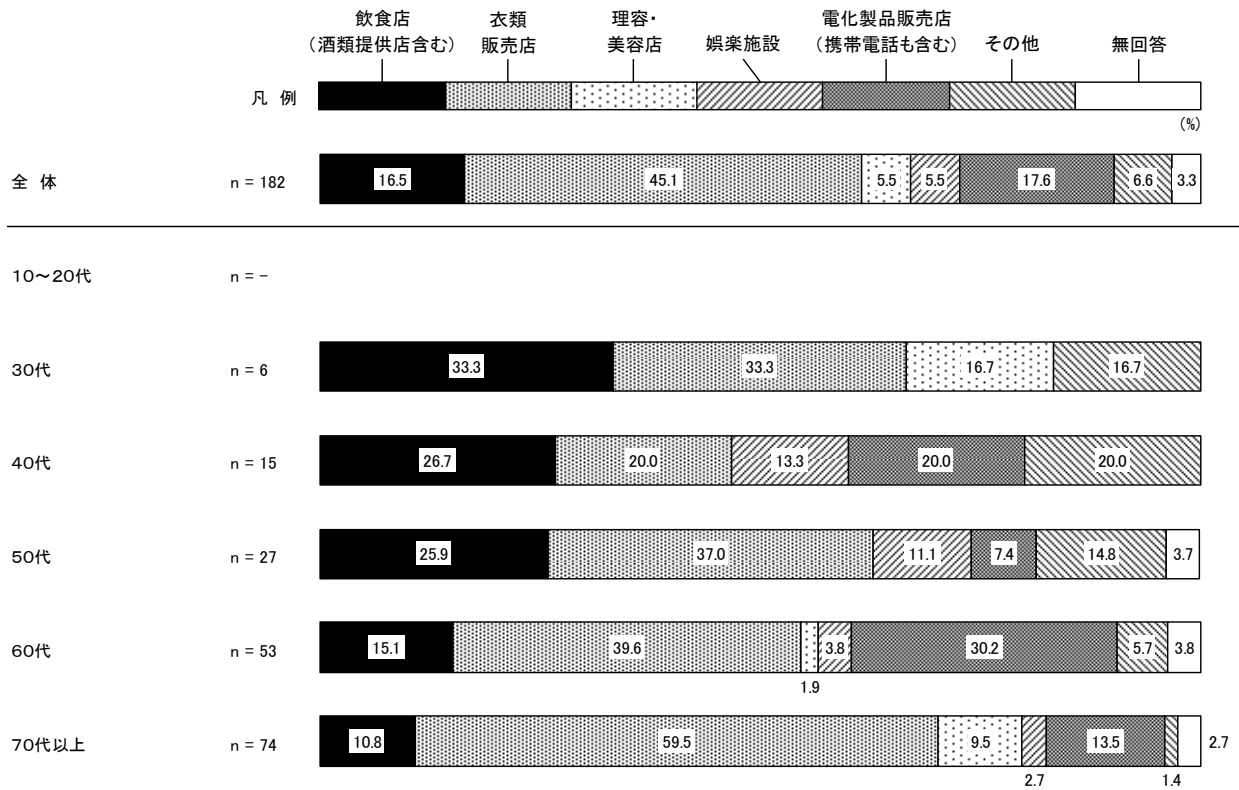
<図表3-4-6 就業機会の創出として希望する支援施策（年齢別）>



3-4-7 富岡町内の買い物環境で充実させてほしいもの

【問14で「4. 商業施設の再開・充実」と回答した方に伺います。  
 問14-4 町内に充実させてほしいものを教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-7 富岡町内の買い物環境で充実させてほしいもの（年齢別）>

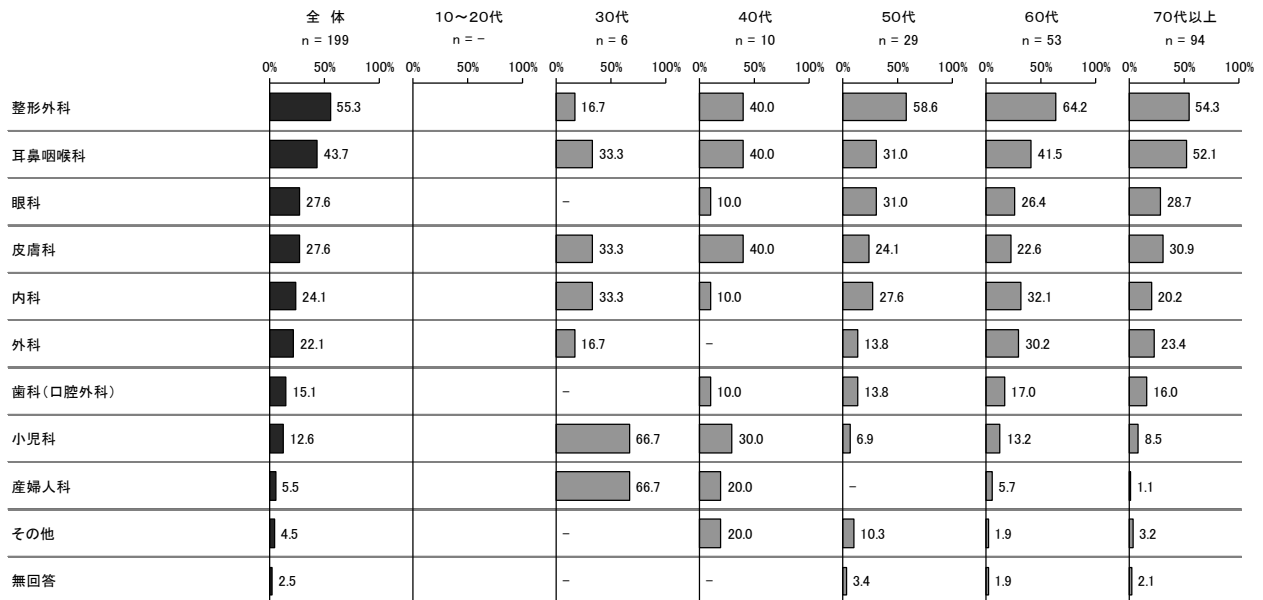


3-4-8 医療環境の拡充として開院を希望する医療機関・診療科

【問14で「5. 医療機関（診療科）の拡充」と回答した方に伺います。】

問14-5 医療機関の拡充として、どのような医療機関・診療科の開院を希望されますか。特に必要だと考える診療科に○をつけてください。（○は上位3つまで）

<図表3-4-8 医療環境の拡充として開院を希望する医療機関・診療科（年齢別）>

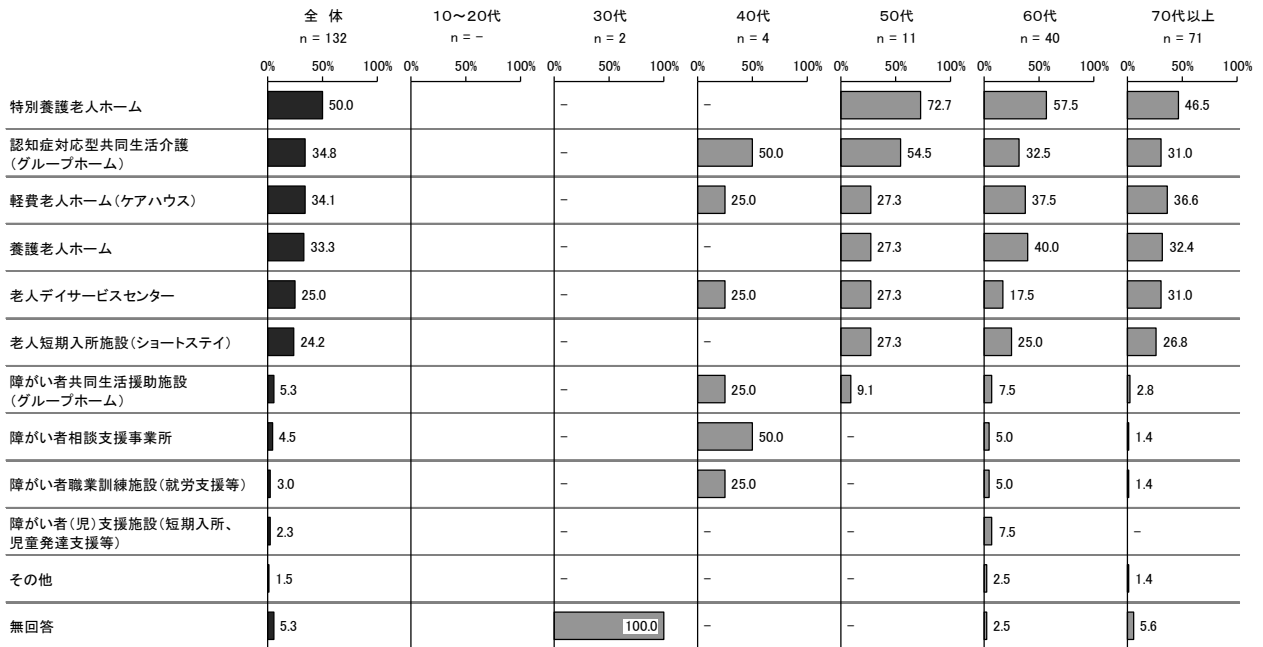


### 3-4-9 介護・福祉施設として立地・再開を希望する施設

【問14で「6. 介護・福祉施設の充実」と回答した方に伺います。】

問14-6 介護・福祉施設として、どのような施設の立地・再開を希望されますか。（〇は上位3つまで）

<図表3-4-9 介護・福祉施設として立地・再開を希望する施設（年齢別）>

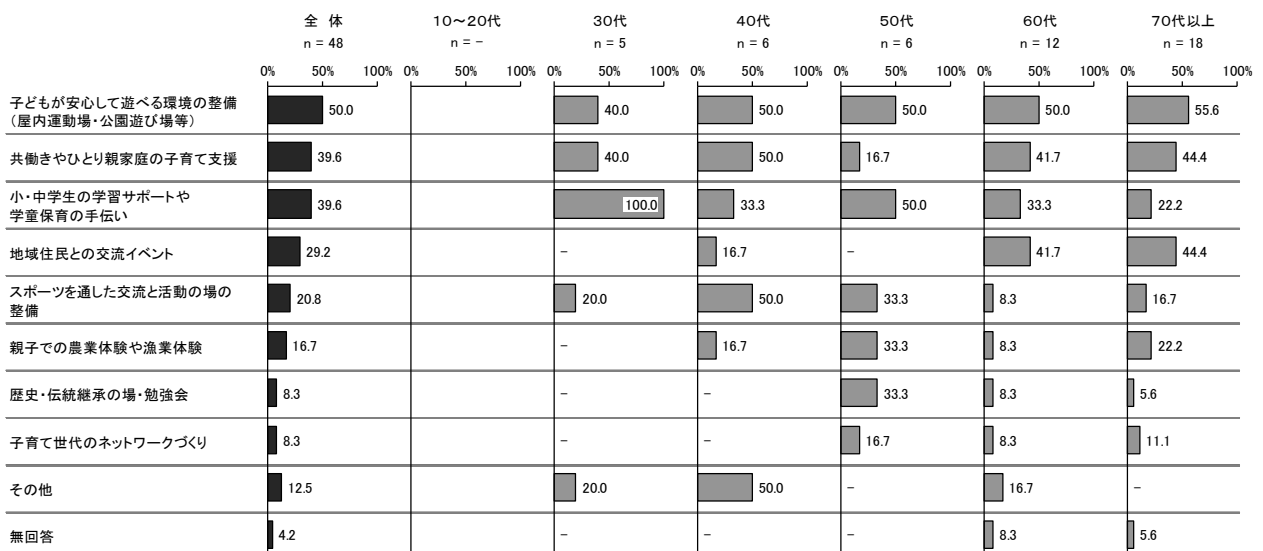


### 3-4-10 保育・教育環境として希望する支援や施設設備

【問14で「7. 保育・教育環境の充実」と回答した方に伺います。】

問14-7 保育・教育環境として、どのような支援や施設整備を希望されますか。（〇は上位3つまで）

<図表3-4-10 保育・教育環境として希望する支援や施設設備（年齢別）>

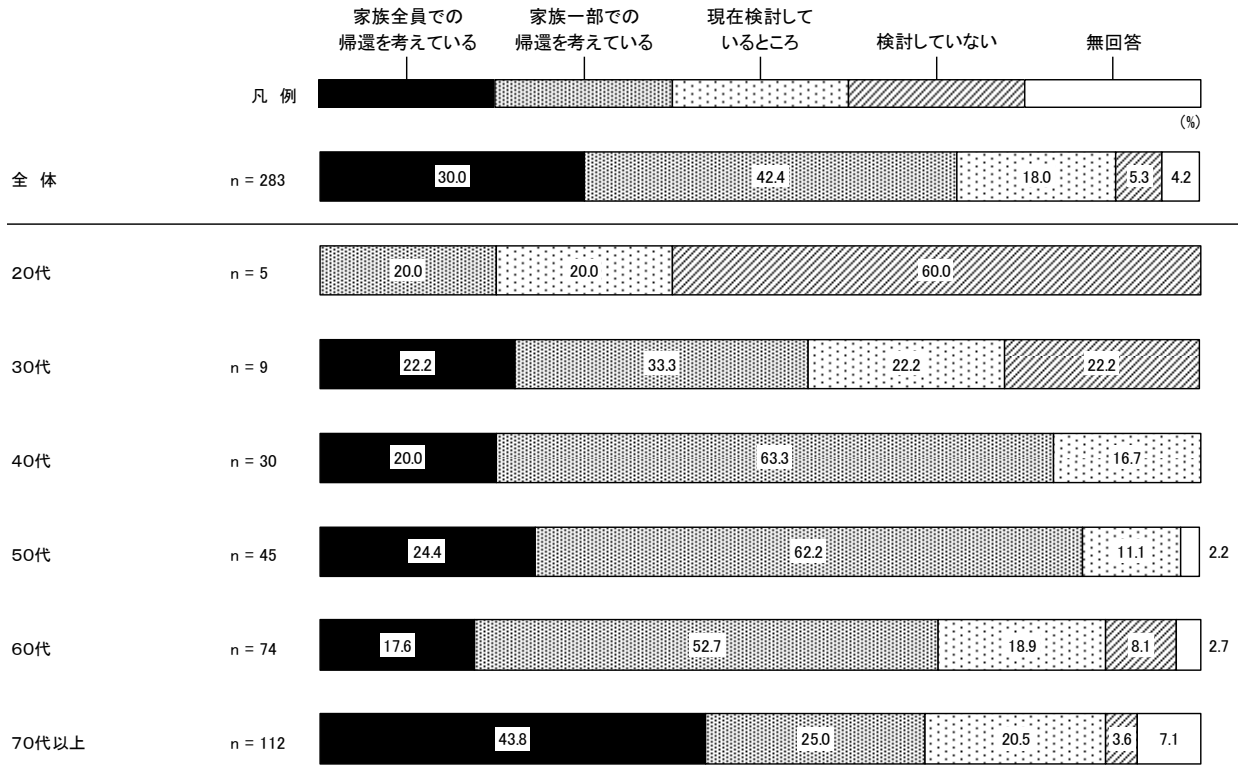




### 3-4-11 富岡町へ帰還する場合の家族

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。  
 問15 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（〇は1つ）

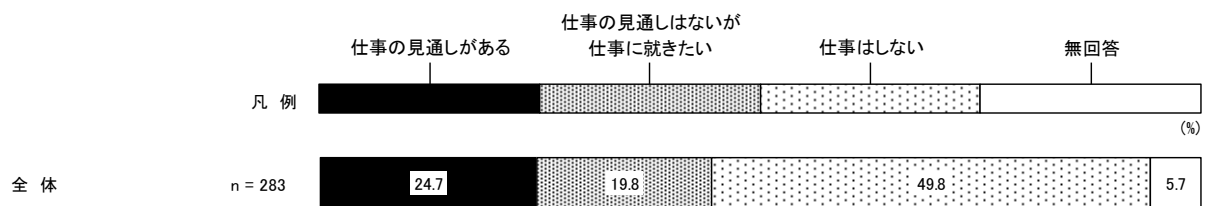
<図表3-4-11 富岡町へ帰還する場合の家族（年齢別）>



### 3-4-12 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。  
 問16 帰還した場合の仕事の見通しはありますか。（〇は1つ）

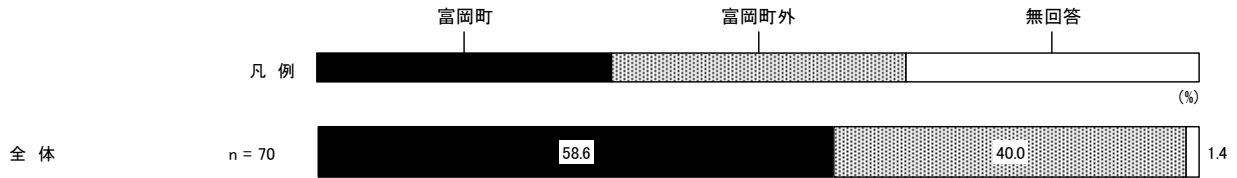
<図表3-4-12 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し>



### 3-4-13 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所

【問16で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方に伺います。】  
 問16-1 見通しがたっている仕事の場所（勤務先）はどこですか。（〇は1つ）

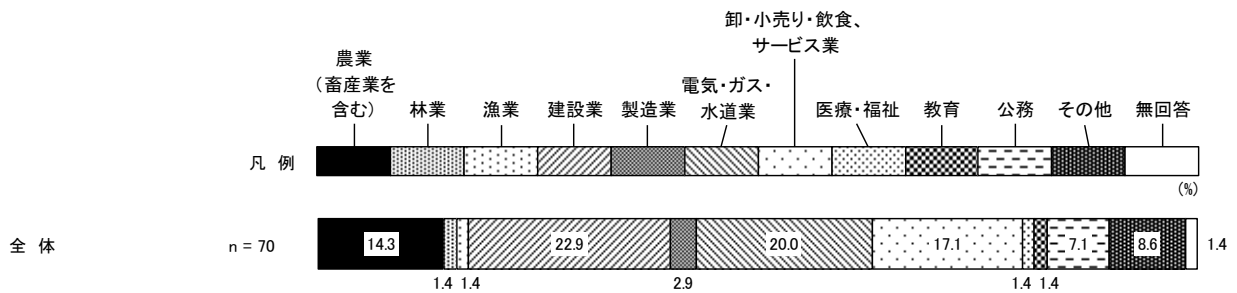
<図表3-4-13 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所>



### 3-4-14 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種

【問16で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方に伺います。】  
 問16-2 見通しがたっている仕事の業種を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-14 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種>

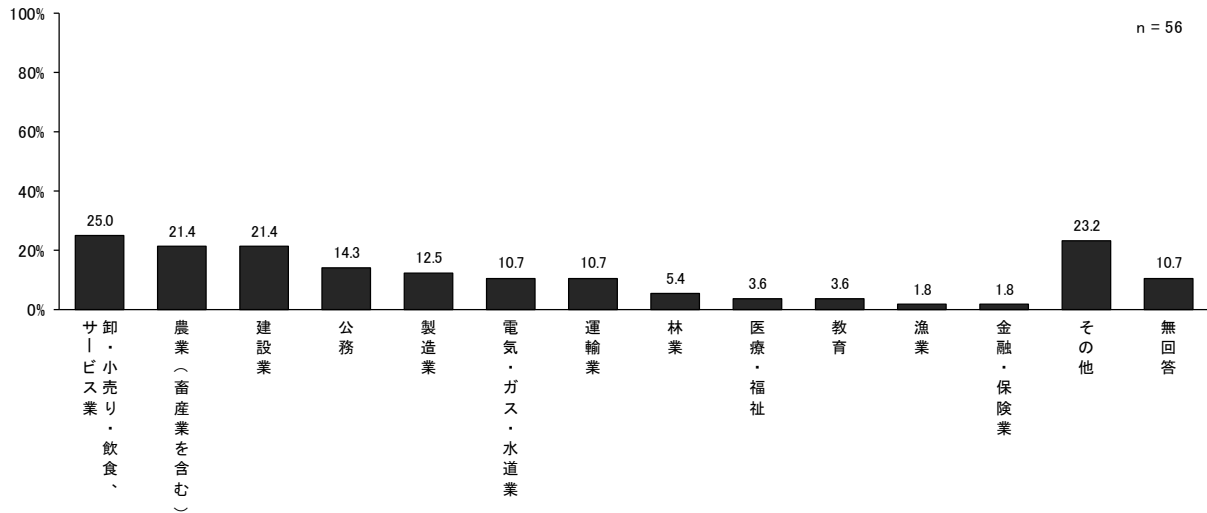


〔その他の内訳〕  
 運輸業 -  
 金融・保険業 -  
 その他 8.6%

### 3-4-15 富岡町へ帰還した場合に就業を希望する業種

【問16で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方に伺います。  
問17-1 仕事に就く場合、どのような業種を希望しますか。（〇はいくつでも）

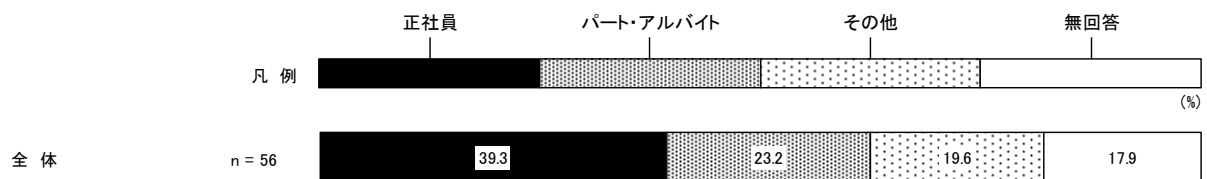
<図表3-4-15 富岡町へ帰還した場合に就業を希望する業種>



### 3-4-16 富岡町へ帰還した場合に希望する就労形態

【問16で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方に伺います。  
問17-2 どのような就労形態を希望しますか。（〇は1つ）

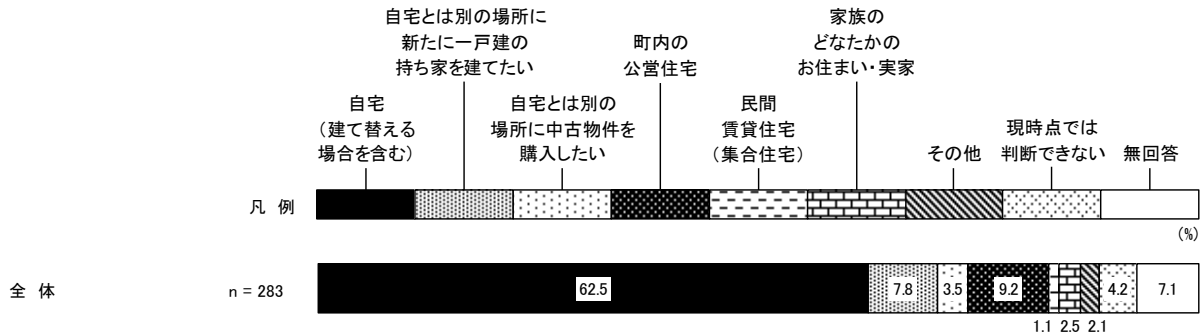
<図表3-4-16 富岡町へ帰還した場合に希望する就労形態>



### 3-4-17 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】  
 問18 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望しますか。（〇は1つ）

<図表3-4-17 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態>



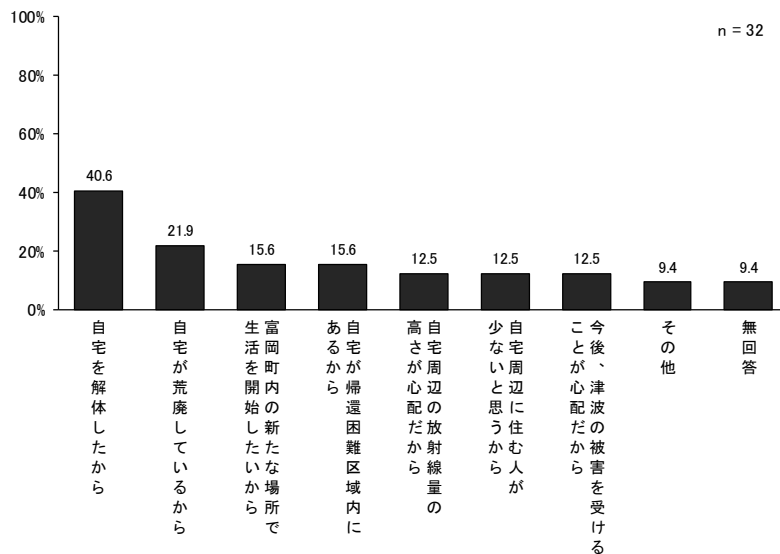
〔その他の内訳〕

自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい	-
民間賃貸住宅（一戸建）	0.4%
給与住宅（社宅など）	0.4%
親戚・知人宅	-
その他	1.4%

### 3-4-18 富岡町へ帰還した場合に元の持ち家以外を希望する理由

【問18で「2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい」「3. 自宅とは別の場所に中古物件を購入したい」「4. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい」と回答した方に伺います。】  
 問18-1 元の持ち家以外を希望される理由は何ですか。（〇はいくつでも）

<図表3-4-18 富岡町へ帰還した場合に元の持ち家以外を希望する理由>

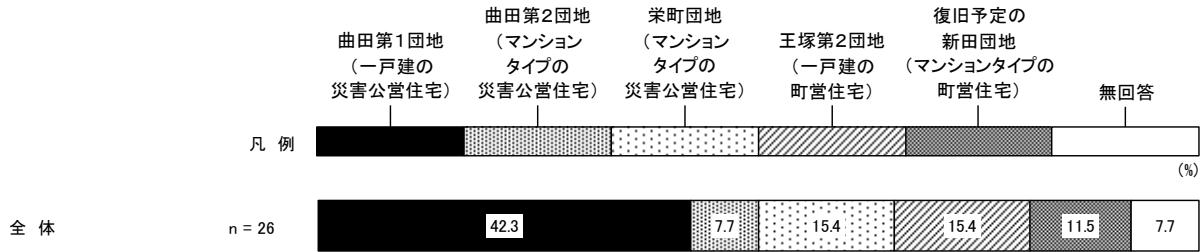


### 3-4-19 富岡町内の公営住宅のうち希望する住宅

【問18で「5. 町内の公営住宅」と回答した方に伺います。】

問18-2 町内の公営住宅のうち、最も希望する住宅はどこですか。（〇は1つ）

<図表3-4-19 富岡町内の公営住宅のうち希望する住宅>



〔内訳〕

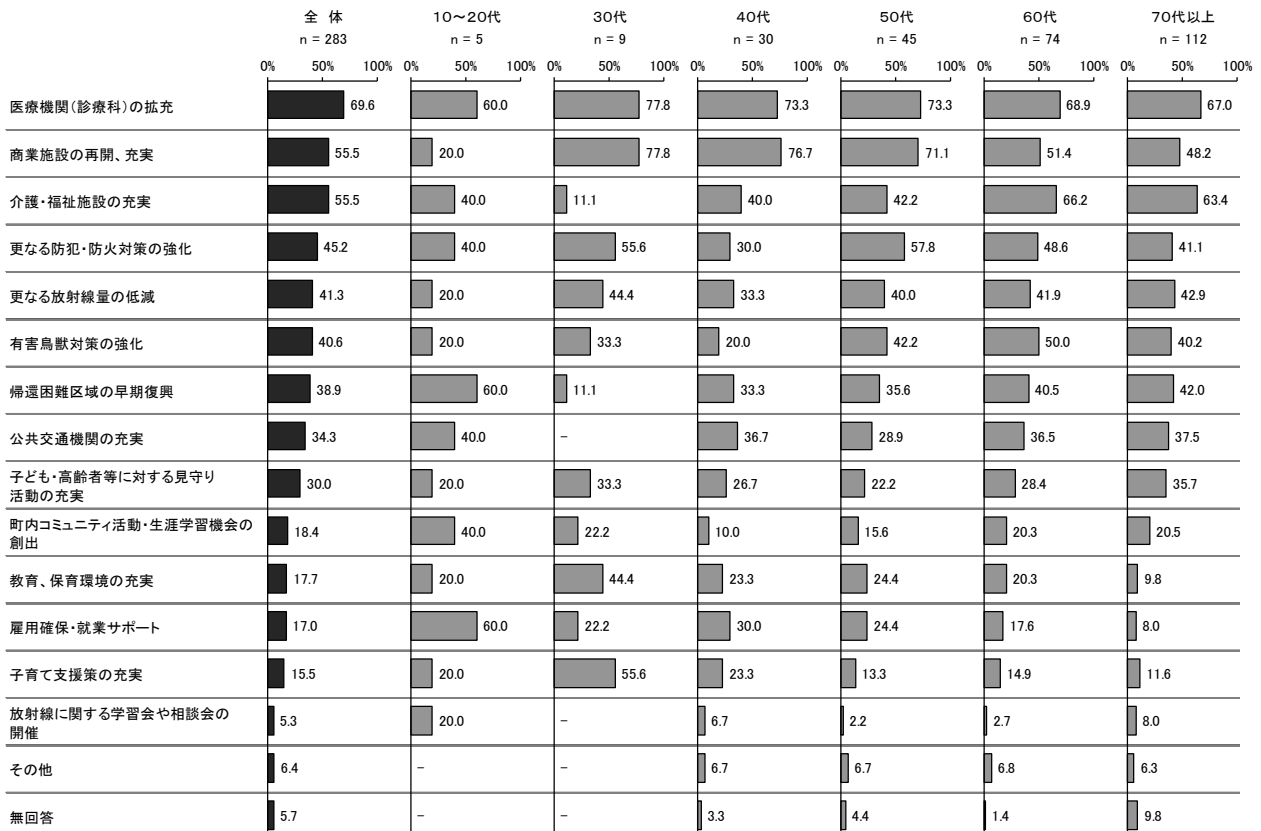
- 上の町団地（マンションタイプの借上型町営住宅） -
- 王塚第3団地（1棟2戸タイプの町営住宅） -

### 3-4-20 富岡町へ帰還する場合に必要な施策

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】

問19 富岡町に戻る場合に、どのような施策が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

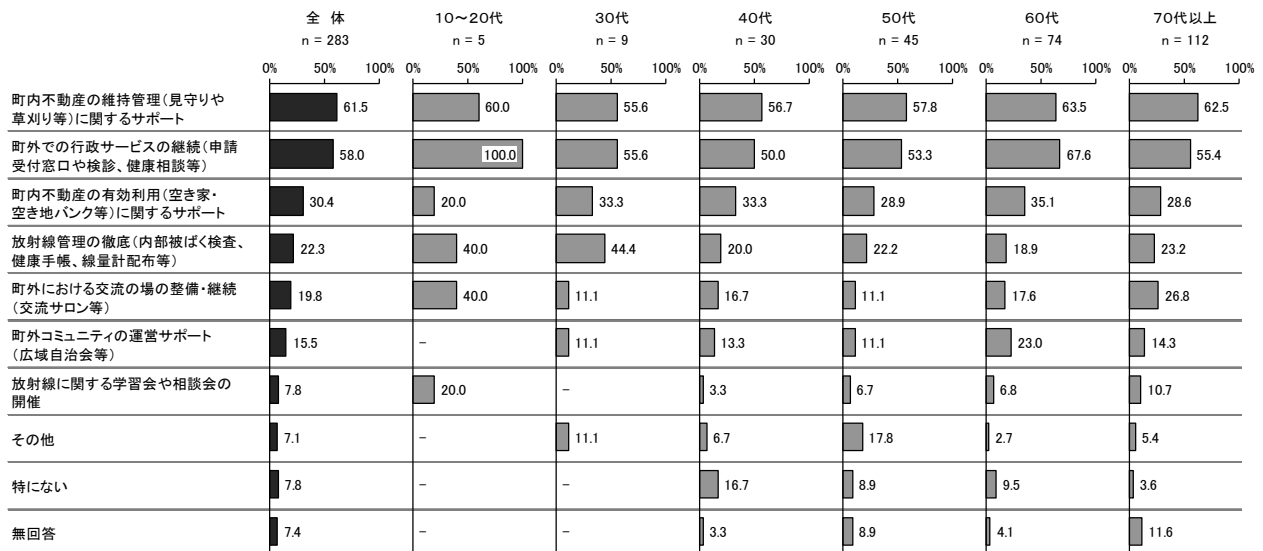
<図表3-4-20 富岡町へ帰還する場合に必要な施策（年齢別）>



3-4-21 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】  
 問20 富岡町に戻るまで（避難生活を継続している期間）に、どのような施策が必要と考えますか。  
 （〇はいくつでも）

<図表3-4-21 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策（年齢別）>

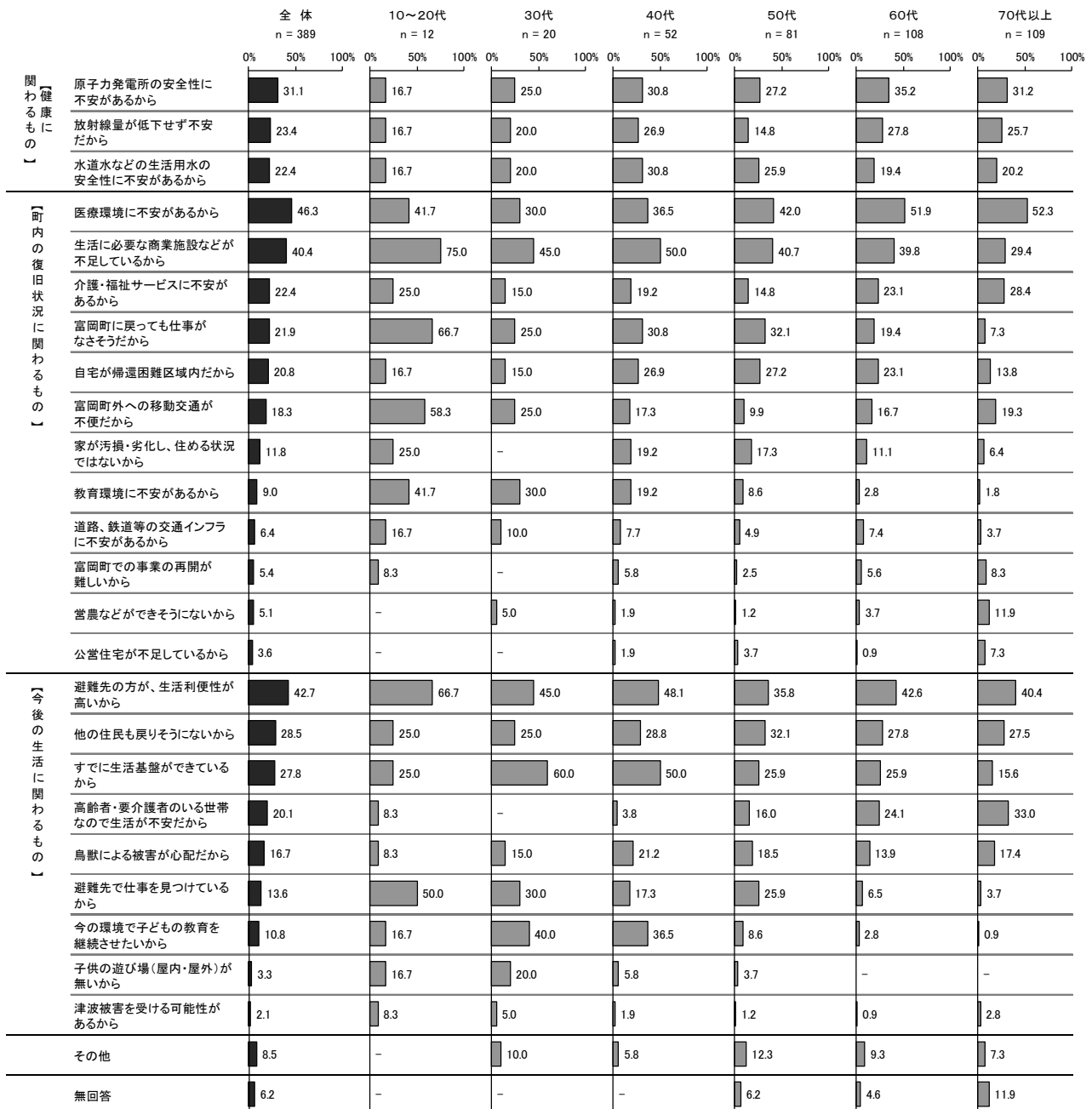


### 3-4-22 富岡町への帰還の判断がつかない理由

【問12で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問21 富岡町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。（〇はいくつでも）

＜図表3-4-22 富岡町への帰還の判断がつかない理由（年齢別）＞

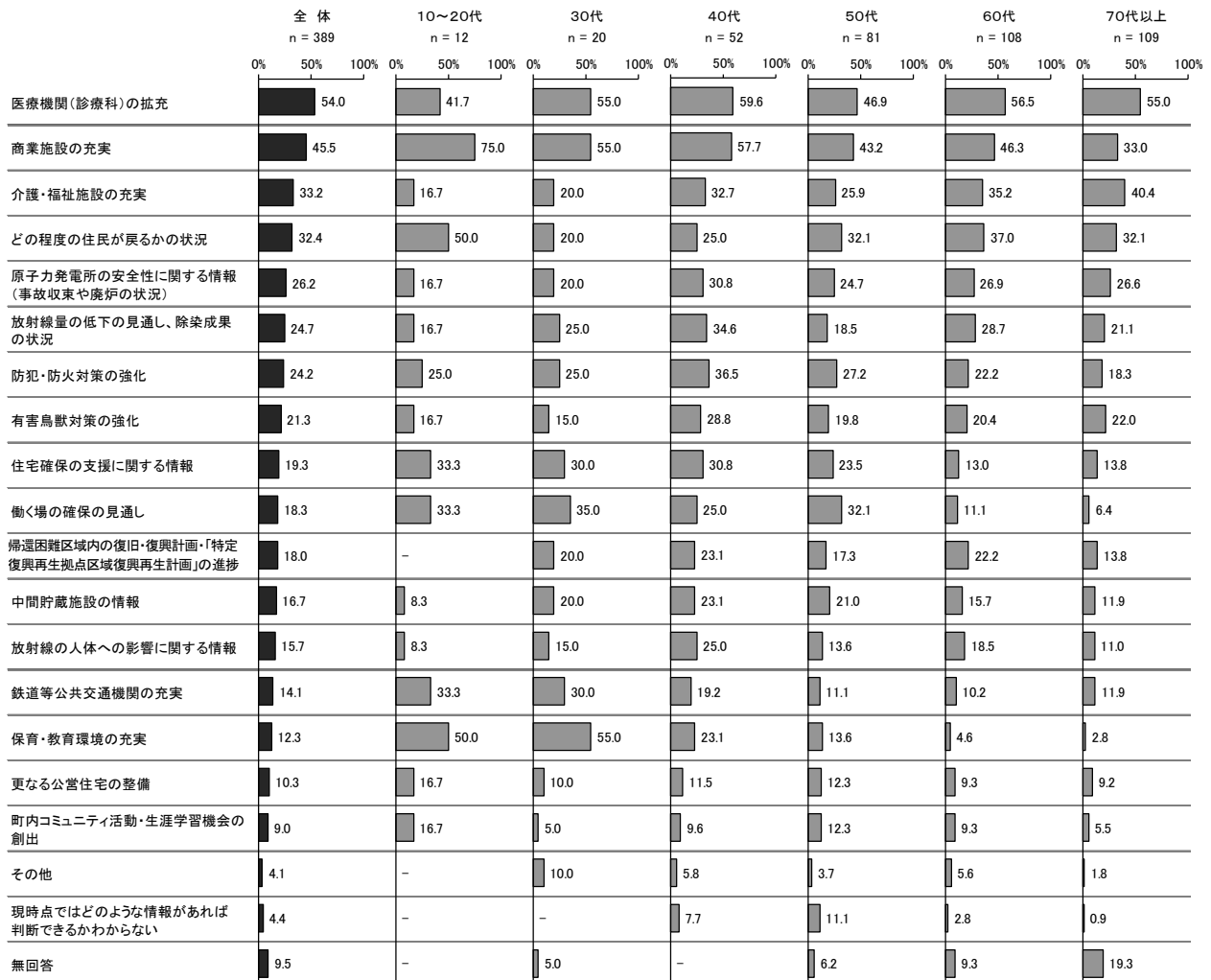


3-4-23 富岡町への帰還を判断するために必要なこと

【問12で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問22 富岡町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-4-23 富岡町への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）>

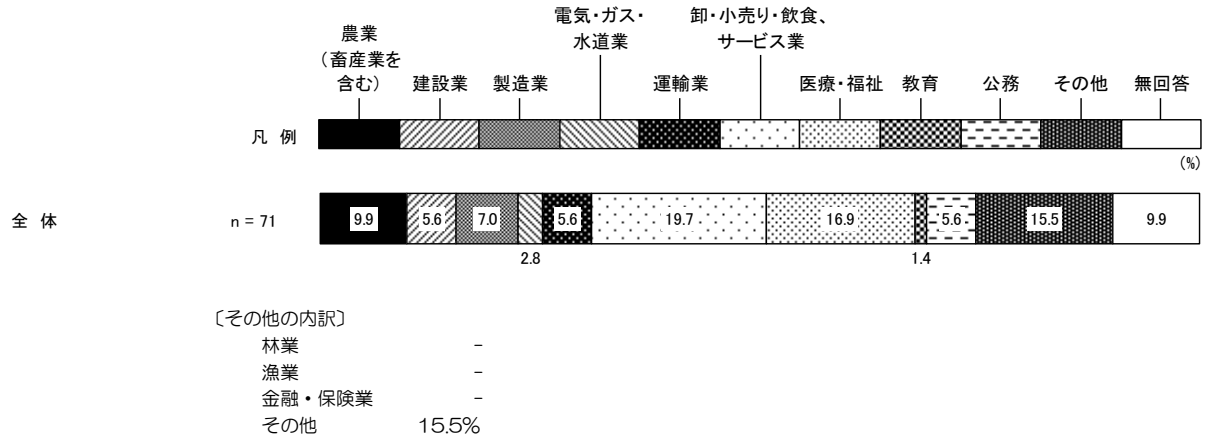




### 3-4-24 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の業種

【問22で「6. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います。】  
 問22-1 どのような業種の仕事を希望しますか。（〇は1つ）

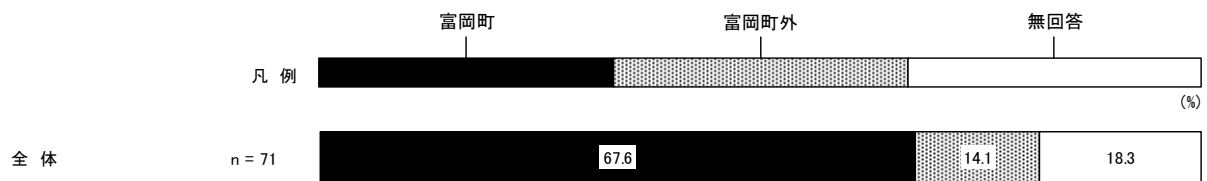
<図表3-4-24 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の業種>



### 3-4-25 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の場所

【問22で「6. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います。】  
 問22-2 仕事の場所（勤務先）はどこを希望しますか。（〇は1つ）

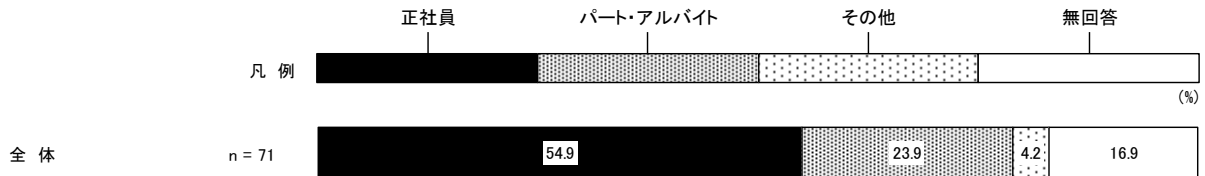
<図表3-4-25 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の場所>



### 3-4-26 富岡町へ帰還した場合に希望する就労形態

【問22で「6. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います。  
問22-3 どのような就労形態を希望しますか。（〇は1つ）

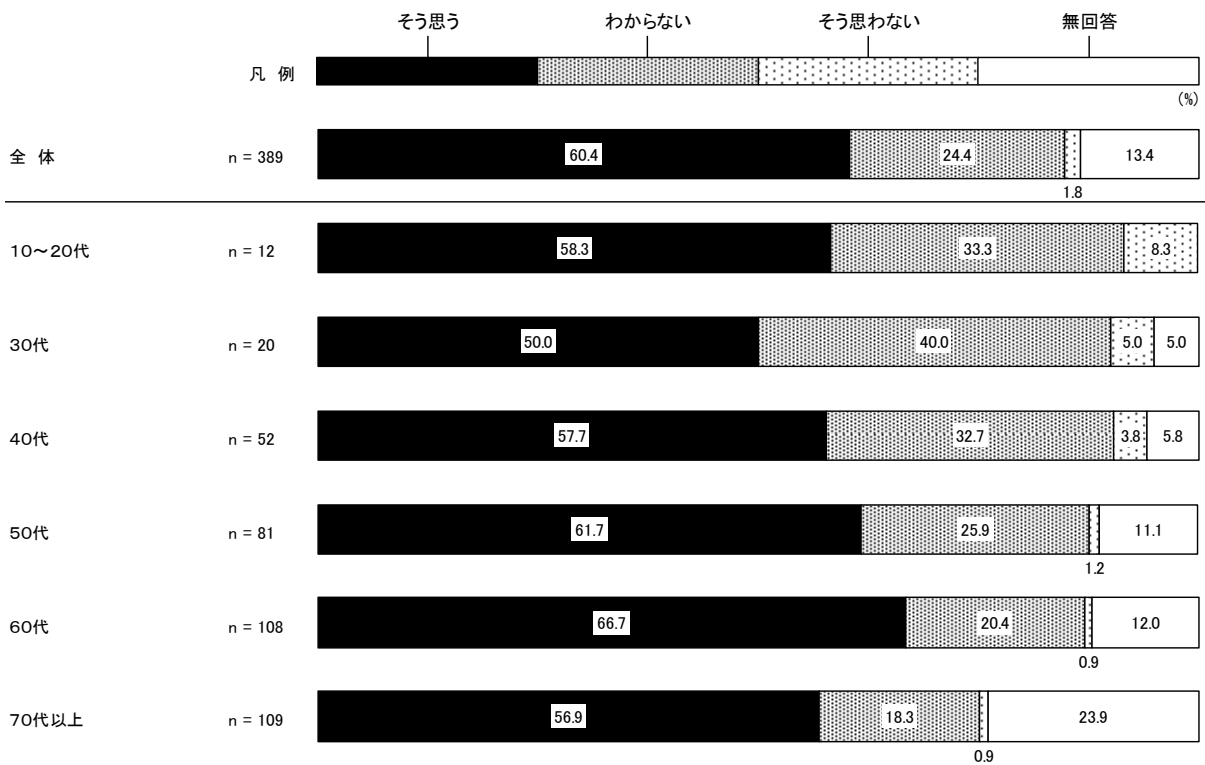
<図表3-4-26 富岡町へ帰還した場合に希望する就労形態>



### 3-4-27 富岡町との「つながり」を保ちたいか〔まだ帰還の判断がつかない方〕

【問12で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。  
問23 富岡町との「つながり」を保ちたいと思いますか。（〇は1つ）

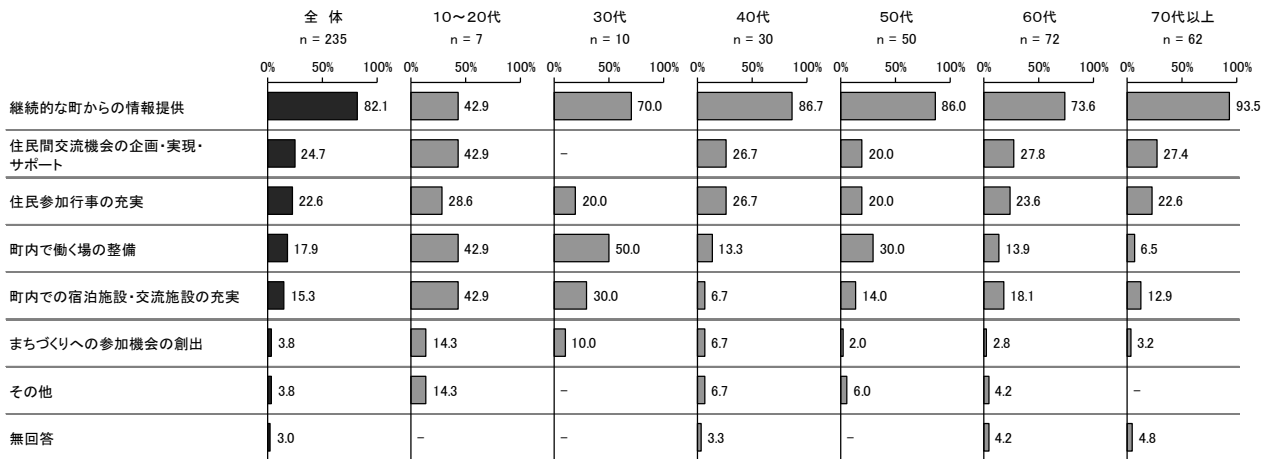
<図表3-4-27 富岡町との「つながり」を保ちたいか〔まだ帰還の判断がつかない方〕（年齢別）>



3-4-28 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策〔まだ帰還の判断がつかない方〕

【問23で「1. そう思う」と回答した方に伺います。】  
 問23-1 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

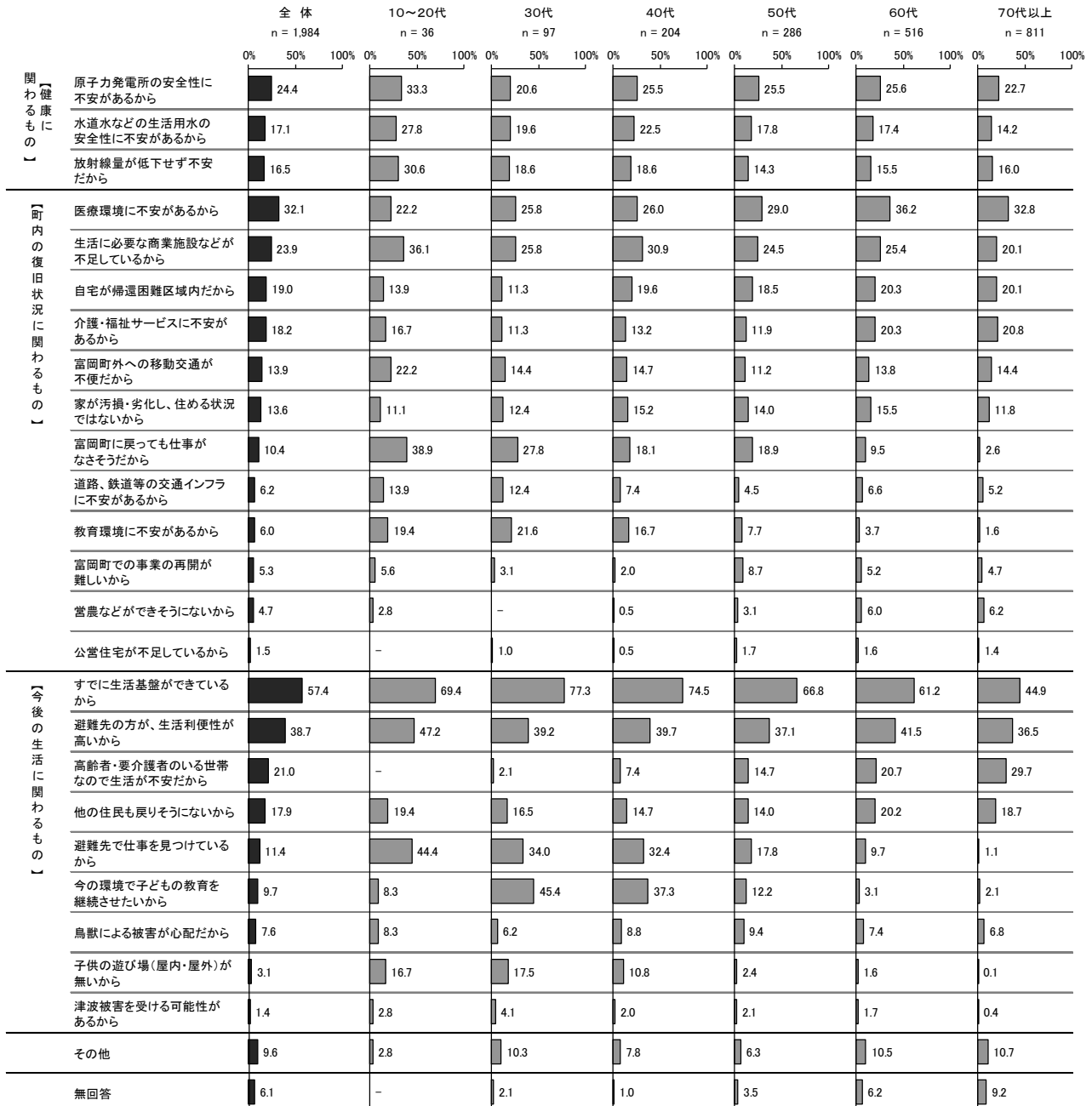
<図表3-4-28 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策〔まだ帰還の判断がつかない方〕（年齢別）>



3-4-29 富岡町に帰還できない・帰還しない理由

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】  
 問24 富岡町への帰還について「戻ることができない」、または「戻らない」理由を教えてください  
 （〇はいくつでも）

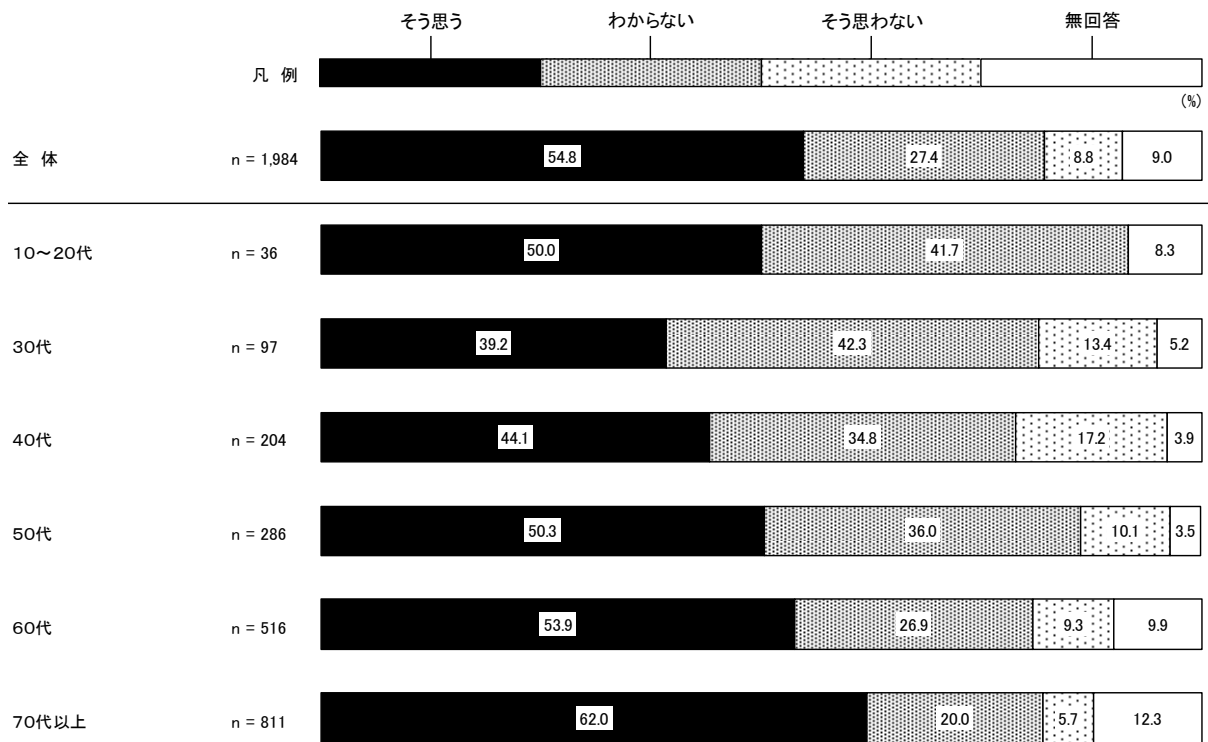
<図表3-4-29 富岡町に帰還できない・帰還しない理由（年齢別）>



3-4-30 富岡町との「つながり」を保ちたいか〔帰還できない方、帰還しない方〕

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】  
 問25 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。（〇は1つ）

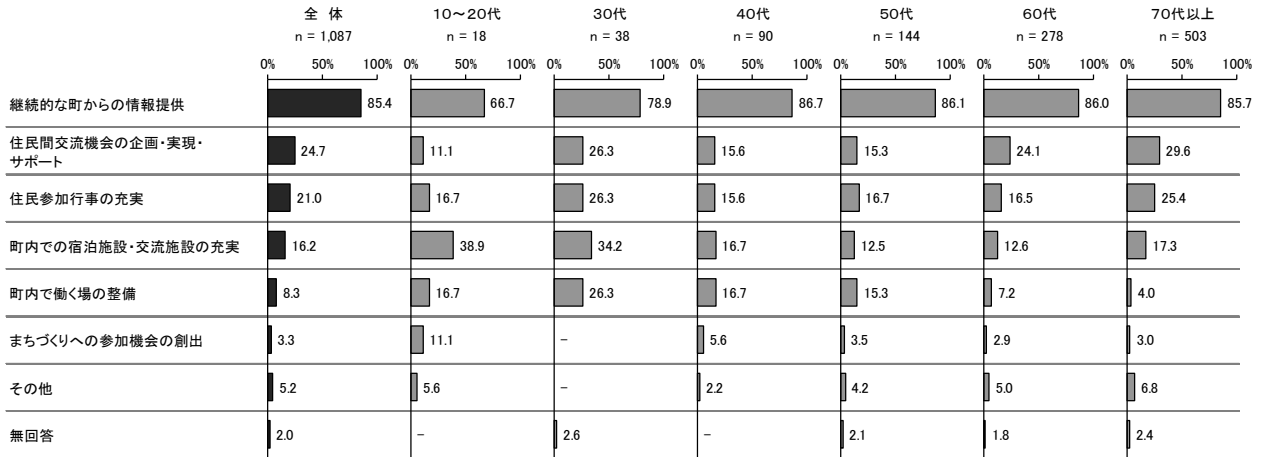
<図表3-4-30 富岡町との「つながり」を保ちたいか〔帰還できない方、帰還しない方〕（年齢別）>



### 3-4-31 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 〔帰還できない方、帰還しない方〕

【問25で「1. そう思う」と回答した方に伺います。】  
問25-1 町との「つながり」を保つためにどのような施策が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

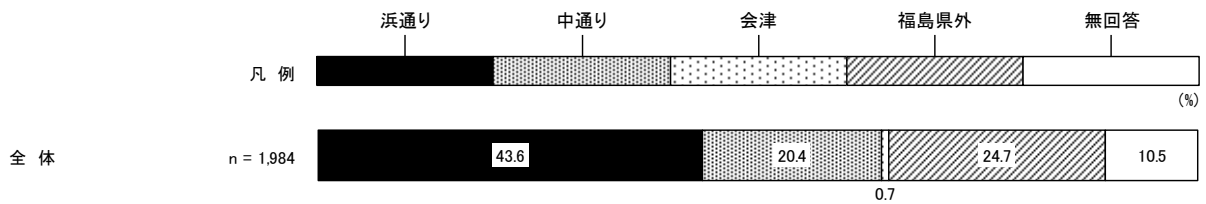
<図表3-4-31 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策〔帰還できない方、帰還しない方〕（年齢別）>



### 3-4-32 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】  
問26 帰還しない場合に、今後、居住を希望する（既に居住している場合を含む）地域はどちらですか。（〇は1つ）

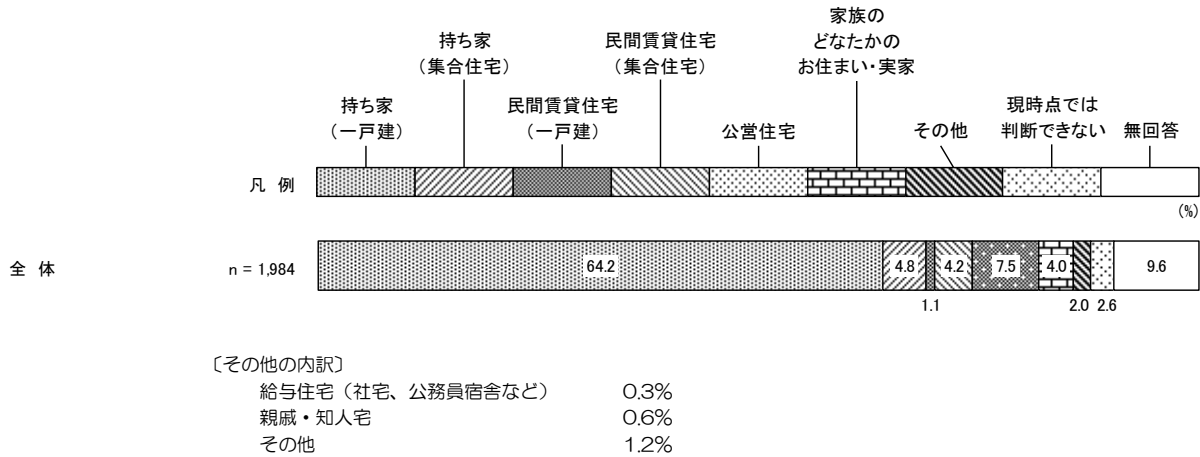
<図表3-4-32 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域>



### 3-4-33 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして検討する住居形態

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】  
 問27 今後のお住まいとして、検討する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

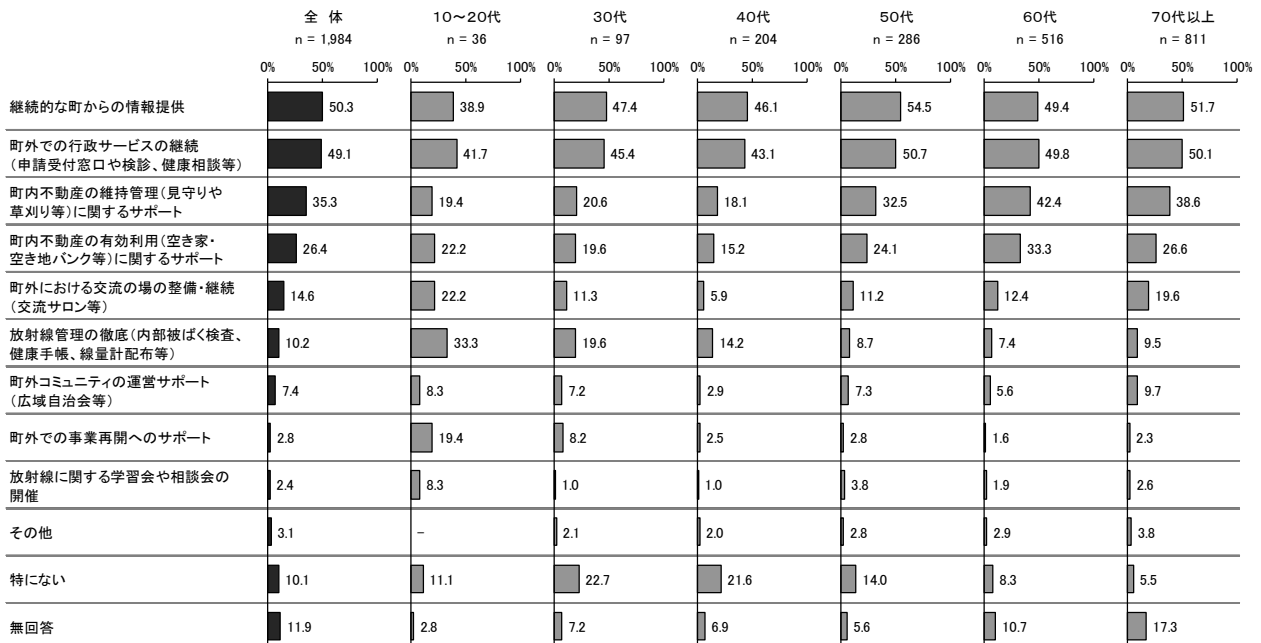
<図表3-4-33 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



### 3-4-34 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】  
 問28 町外で生活されている方に対するサポートとして、どのような施策が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

<図表3-4-34 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策（年齢別）>

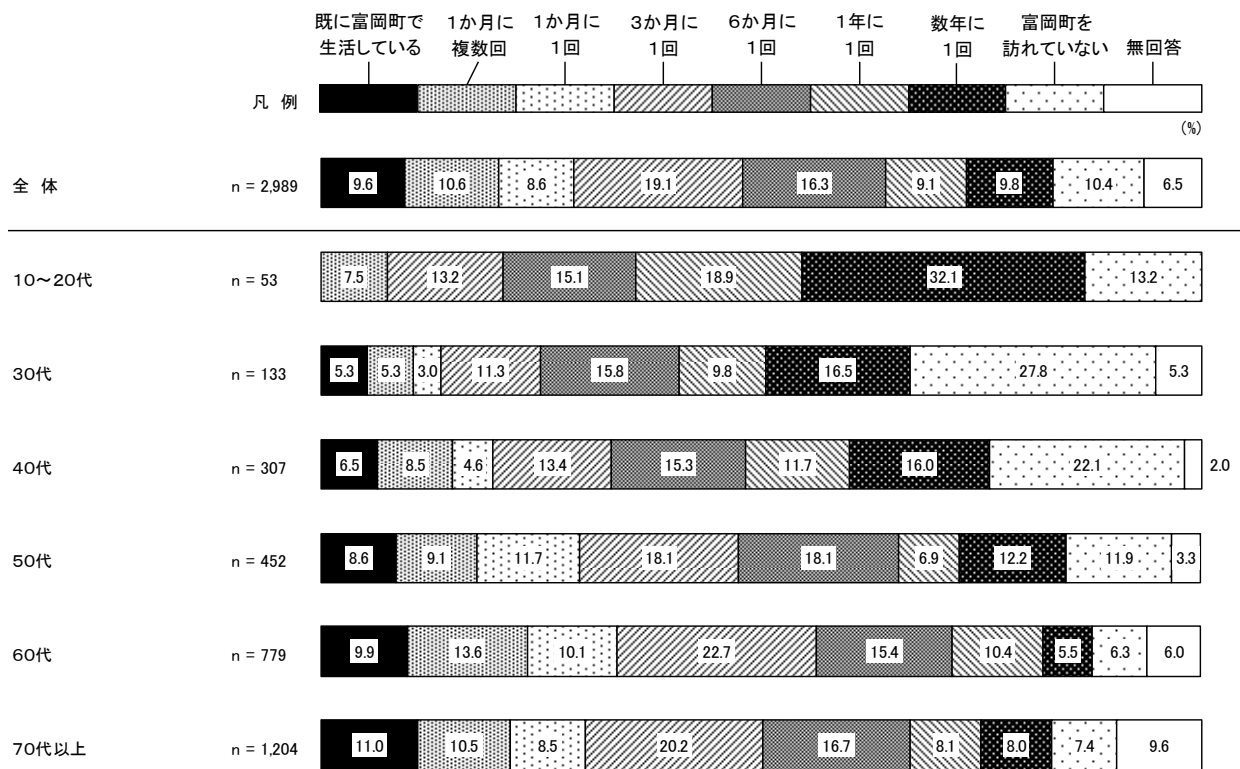


### 3-5 訪問頻度・一時立入り

#### 3-5-1 富岡町に訪れる頻度

問29 富岡町内の自宅や土地等の維持管理、お墓参り等のために、富岡町に訪れる頻度を教えてください。  
 (〇は1つ)

<図表3-5-1 富岡町に訪れる頻度（年齢別）>





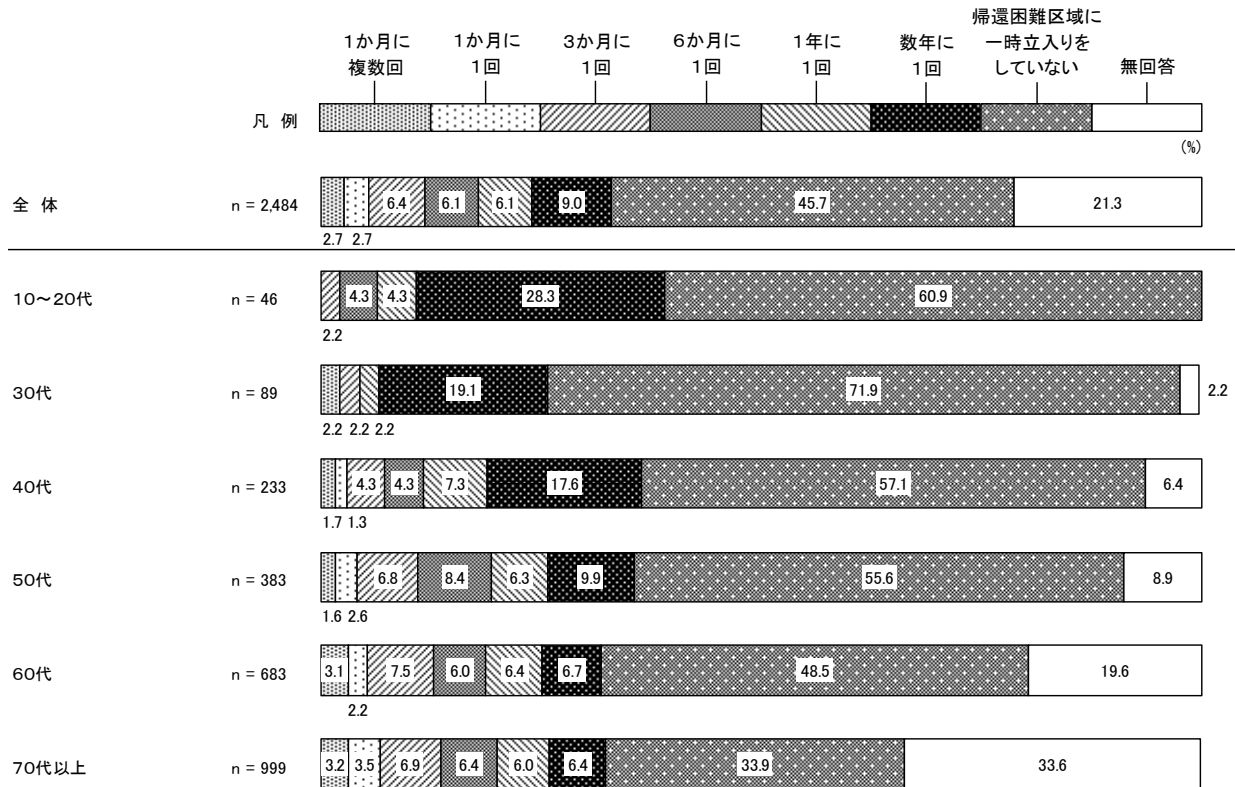
3-5-2 富岡町内の帰還困難区域への一時立入りの頻度

【\*問29で「1」から「7」と回答した方に伺います。】

問29-1 富岡町内の帰還困難区域に一時立入りをしていますか。一時立入りをしている場合はその頻度を教えてください。（〇は1つ）

- \*問29： 1. 既に富岡町で生活している      2. 1か月に複数回      3. 1か月に1回  
 4. 3か月に1回      5. 6か月に1回      6. 1年に1回  
 7. 数年に1回

<図表3-5-2 富岡町内の帰還困難区域への一時立入りの頻度（年齢別）>



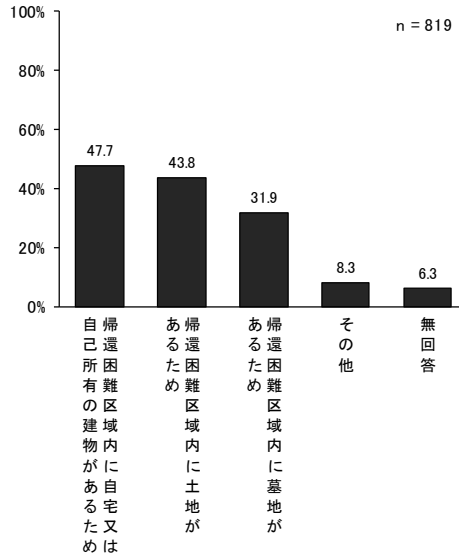
### 3-5-3 富岡町内の帰還困難区域への一時立入りの理由

【\*問29-1で「1」から「6」と回答した方に伺います。】

問29-2 帰還困難区域への一時立入りの理由を教えてください。（〇はいくつでも）

\*問29-1： 1. 1か月に複数回                      2. 1か月に1回                      3. 3か月に1回  
4. 6か月に1回                      5. 1年に1回                      6. 数年に1回

<図表3-5-3 富岡町内の帰還困難区域への一時立入りの理由>



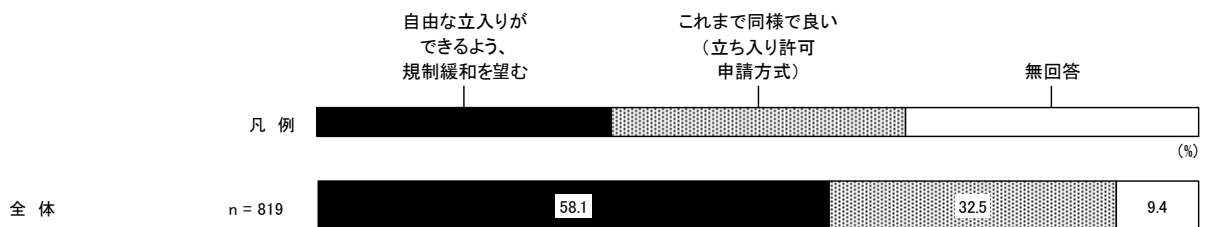
### 3-5-4 富岡町内の帰還困難区域への一時立入りの規制緩和の希望

【\*問29-1で「1」から「6」と回答した方に伺います。】

問29-3 帰還困難区域への一時立入りについて、規制緩和を希望されますか。（〇は1つ）

\*問29-1： 1. 1か月に複数回                      2. 1か月に1回                      3. 3か月に1回  
4. 6か月に1回                      5. 1年に1回                      6. 数年に1回

<図表3-5-4 富岡町内の帰還困難区域への一時立入りの規制緩和の希望>

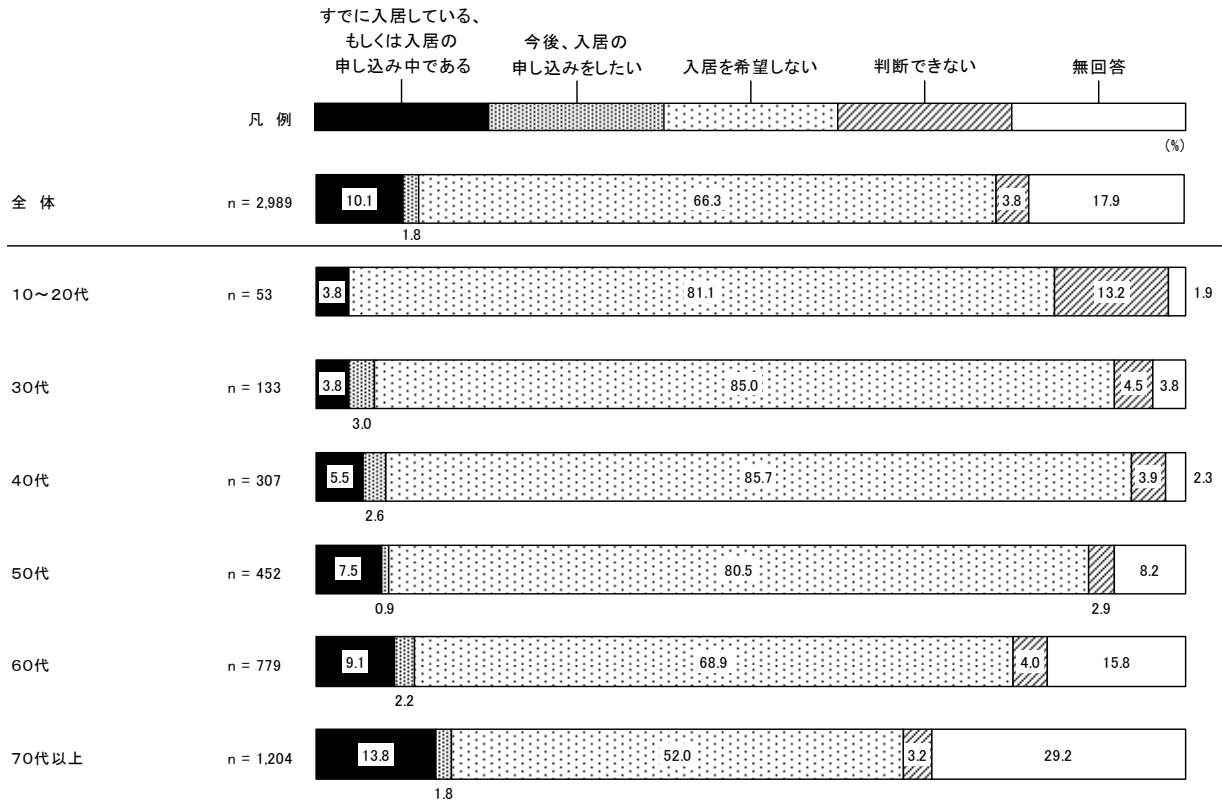


### 3-6 復興公営住宅

#### 3-6-1 福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向

問30 福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向について教えてください。（○は1つ）

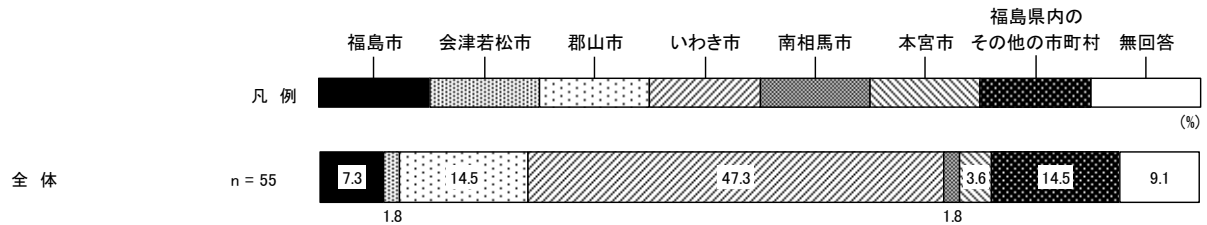
<図表3-6-1 福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向（年齢別）>



3-6-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村

【問30で「2. 今後、入居の申し込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】  
 問30-1 入居を希望する市町村について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-6-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村>



〔福島県内のその他の市町村の内訳〕

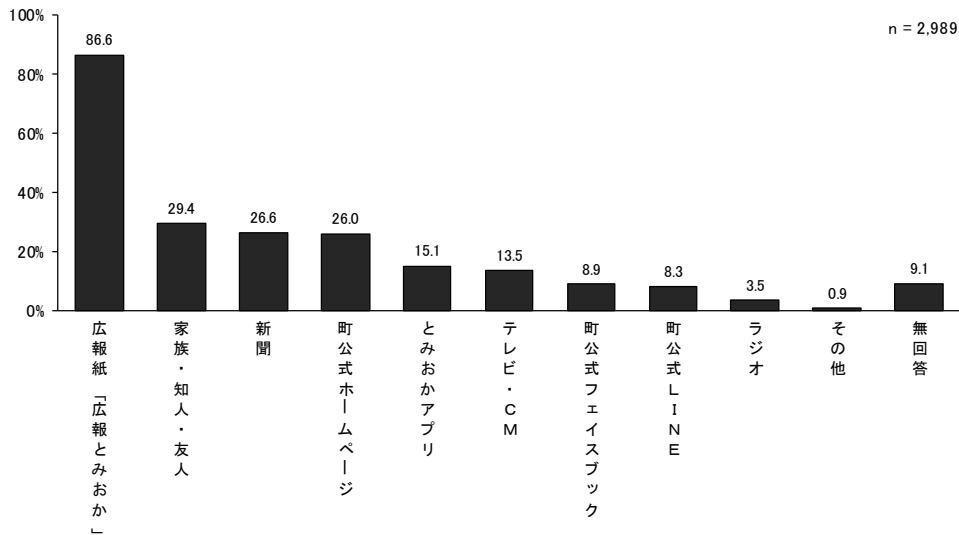
白河市	-
二本松市	-
田村市	-
福島県内のその他の市町村	14.5%

### 3-7 情報入手

#### 3-7-1 富岡町に関する情報の入手経路

問31 日ごろ、富岡町の行政情報やイベント開催情報を得るために、どのような方法を活用していますか。  
 (〇はいくつでも)

<図表3-7-1 富岡町に関する情報の入手経路>

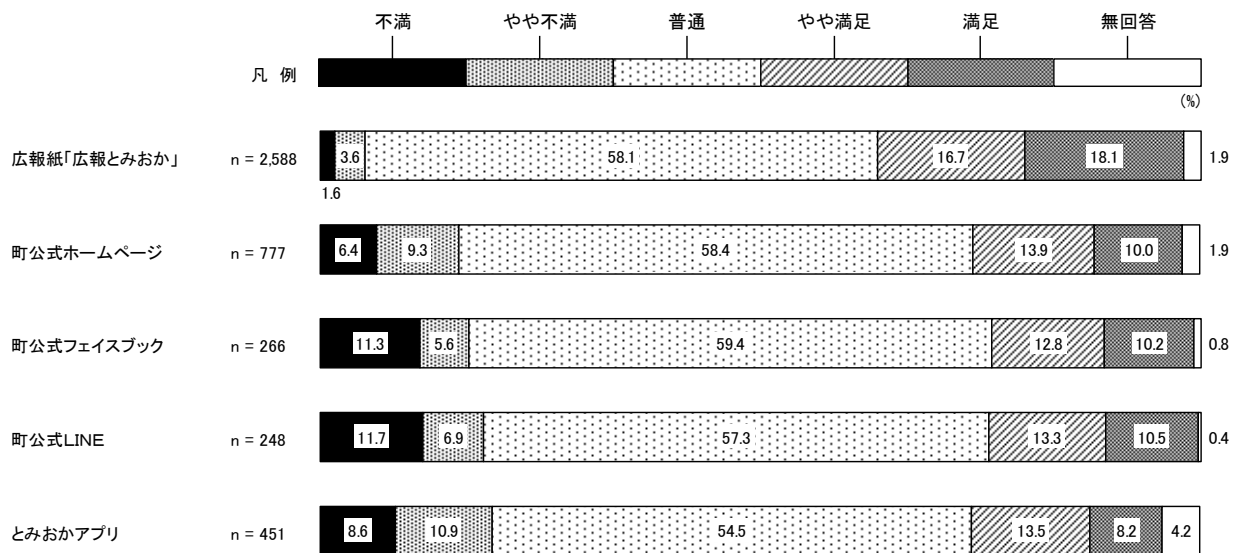


3-7-2 活用しているツールの満足度

問31 日ごろ、富岡町の行政情報やイベント開催情報を得るために、どのような方法を活用していますか。  
 また、※「1」から「5」に〇をつけた方は、それぞれの満足度についても教えてください。  
 （〇はそれぞれ1つずつ）

\*問31： 1. 広報紙「広報とみおか」      2. 町公式ホームページ      3. 町公式フェイスブック  
 4. 町公式LINE      5. とみおかアプリ

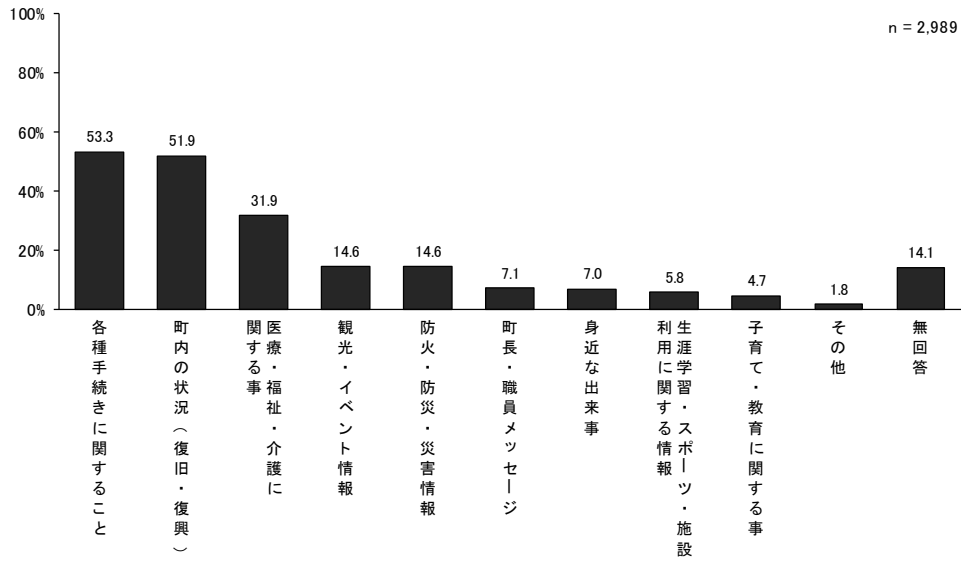
<図表3-7-2 活用しているツールの満足度（ツール別）>



### 3-7-3 行政からの情報で強い関心があるもの

問32 行政からの情報で強い関心があるものは何ですか。（〇は上位3つまで）

<図表3-7-3 行政からの情報で強い関心があるもの>



### 3-8 意見・要望

問33 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや、今後のあなたの展望、国、県、町への要望などをご自由にお書き下さい。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、732世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活の長期化への不安</li> <li>・元の生活が取り戻せるかどうかの不安</li> <li>・元の生活、安定した生活の回復</li> <li>・元の生活に戻ることにあきらめ</li> <li>・現在の生活について</li> <li>・現在の生活の人間関係・コミュニティについて</li> <li>・現在の生活の経済的な不安について</li> <li>・現在の生活の健康に関する不安について</li> <li>・現在の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・現在の生活全般の不安について</li> <li>・将来の生活に関する考えについて</li> <li>・将来の生活の経済的な不安について</li> <li>・将来の生活の健康に関する不安について</li> <li>・将来の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・将来の生活全般の不安について</li> <li>・生活（再建）支援について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除染作業の意識について</li> <li>・除染作業にかかる費用の他への活用について</li> <li>・除染作業の効果等について</li> <li>・除染作業の実施箇所等について</li> <li>・除染作業の早期・迅速・的確な実施について</li> <li>・除染作業スケジュールの明確化について</li> <li>・除染産廃物の処理について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還困難区域への立入りについて</li> <li>・帰還困難区域等の設定について</li> <li>・所有する住まい・土地の買取りについて</li> <li>・自宅の現状（被害状況）について</li> <li>・自宅の再建・改築・解体について</li> <li>・元の住居や土地等の管理・処分について</li> <li>・元の住居や土地に対する税について</li> <li>・所有する墓地の維持・管理・移転について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧・復興の遅れ、長期化について</li> <li>・復旧・復興のスケジュールについて</li> <li>・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について</li> <li>・町村合併について</li> <li>・ライフライン・インフラの整備について</li> <li>・社会福祉施設の整備について</li> <li>・医療施設の復興・充実について</li> <li>・学校の復興・充実について</li> <li>・商業の復興・充実について</li> <li>・住民の参加・自助努力について</li> <li>・早期の原状回復・復興実現について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賠償内容・方法について</li> <li>・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について</li> <li>・所有する住まい・土地に対する賠償全般について</li> </ul>	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃炉作業の迅速な実施について</li> <li>・廃炉作業全般について</li> </ul>
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還への不安</li> <li>・帰還可能時期の明確化について</li> <li>・帰還したい</li> <li>・帰還しない</li> <li>・現時点では帰還の判断ができない</li> <li>・帰還に関する施策について</li> <li>・帰還を望まない人への対応について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や東電の対応について</li> <li>・対応の長期化、遅れについて</li> <li>・情報の開示・発信について</li> </ul>
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興公営住宅の早期・迅速な建設について</li> <li>・復興公営住宅の建設地・形態等について</li> <li>・復興公営住宅に係る経済的負担について</li> <li>・復興公営住宅への入居について</li> <li>・居住場所の確保について</li> <li>・借上げ住宅について</li> <li>・住宅の購入について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のエネルギー政策について</li> <li>・行政に対する謝意、励まし</li> <li>・その他</li> </ul>

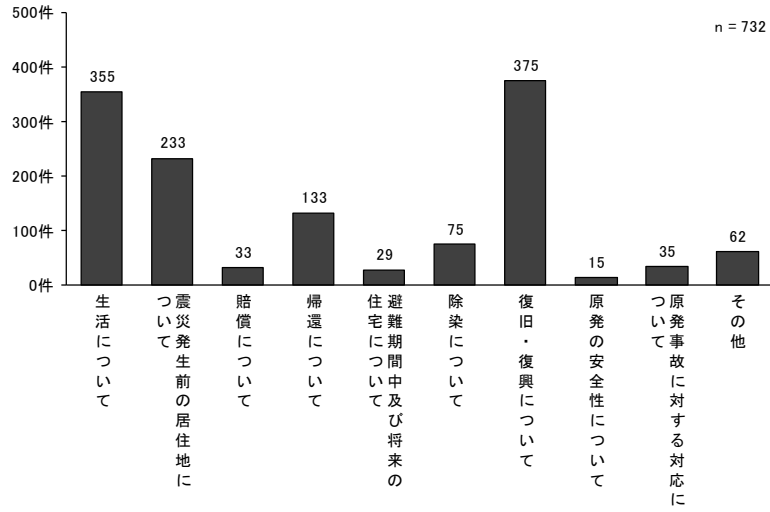
※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。



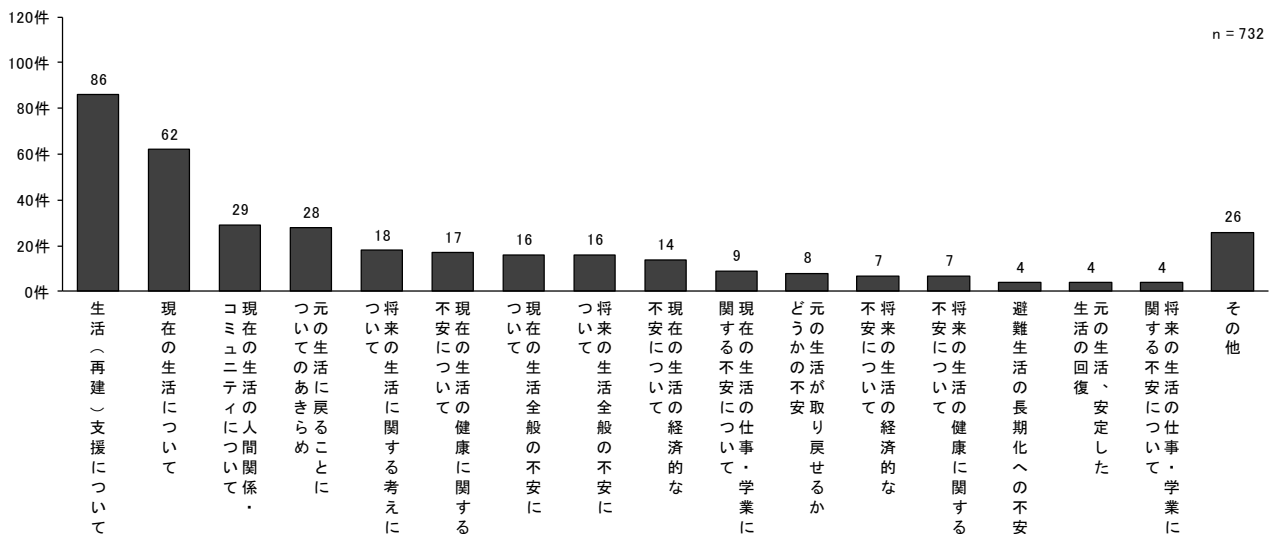
3-8-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-8-1 意見に係る記入内容の分類結果>



3-8-2 生活について

<図表3-8-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**[生活（再建）支援について]**

- 持ち家の解体工事の期限（無償サポート等）を決めず、今後も対応してほしい。解体工事無償手当の継続も希望。世帯の事情もあり、期限内に申し込みができずそのまま放置状態で建物が朽ちてしまい、安全性も確保できなくなる。（40代）
- 高速道路の無料措置が終了しても、県外から仕事のため福島県へ通行する必要がある方達への無料措置の継続をお願いしたいと思います。無料措置が無くなれば経済的負担が増加し、生活を続けていく事が出来なくなります。町へ戻ってくる方達の支援も必要だとは思いますが、双葉郡で仕事を続けるため県外から通っている方達もいると思うので、支援をお願いします。（50代）
- 自宅跡地の管理、お墓参り、いわき市内のかかり付け医院等で福島県内に戻る機会が多く、その際必ず常磐道を利用しているので、「ふるさと帰還通行カード」の利用を継続して欲しい。避難後、高齢となるにつれ病気になる事も多く、通院診療回数が増えて来ています。又、収入もほぼ年金だけとなっており、医療費一部負担金免除も続けて欲しい。（60代）

**[現在の生活について]**

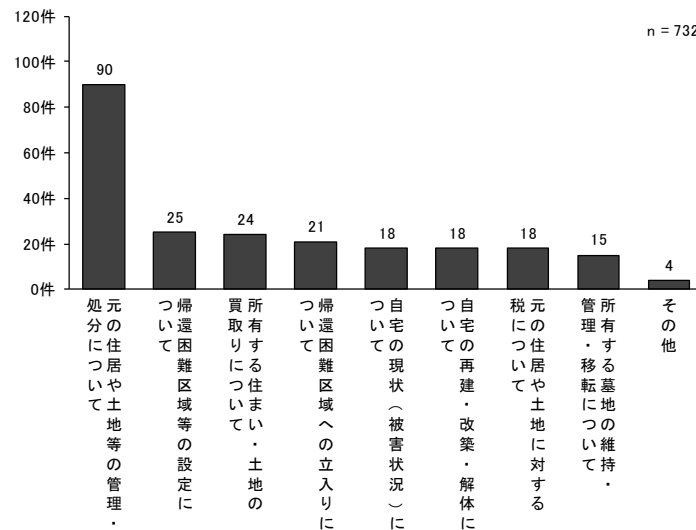
- 震災後に生まれた子供は5才、4才になりました。もう少し大きくなり、コロナも落ち着いたら、富岡を含む浜通りへ行って、次の世代に震災のこと、富岡のこと、双葉郡のことを伝えていきたいと思っています。テレビでDASH村をやっていて、とても壊かしい気持ちになりました。悲しい気持ちを持ちながらも、あのような明るい、未来につなげる形で子供たちにも伝えられたらと思います。（30代）
- 住んでいた家は解体され、以前ほど富岡に行く事は減りましたが、故郷なので富岡の復興は見守っていきたいと思っています。（50代）
- 今は富岡町災害公営住宅にお世話になっております。皆さん良い人ばかりで毎日がとても楽しいです。サクラスポーツにも行っています。とても楽しくて大笑いして帰り、心も身体もリフレッシュしてすっきりします。ありがとうございます。（70代以上）

【現在の生活の人間関係・コミュニティについて】

- 住民が少なくなり活気がなくなってしまった。戻りたいと思うが、自分が戻りたい富岡町は、昔住んでいたコミュニティや街並みのため、複雑な心境。子どもや若い世代を住まわせるなら、子育て支援や医療に力を入れる方がよい。子どもの健診なども町で実施していけばよいのではないか。（10～20代）
- 私は、富岡町が大好きです！あの頃は、日々の生活に追われ子供達を育てるのにいっぱいいっぱいでした。でも富岡町で数十年生活して、周りの人達、友達、近所の人達、すごく親切で、生活してすごくあたたかかったです。今思うと人のつながりが良かったです！今は知らない土地で生活していますが、結局よそものですから、近所の人達との交流はありません。あいさつはしますがその程度です。長年富岡町で生活していましたから、何かさびしいです。ただ生活していかないといけないから頑張っこちらで生活していますが、何か何か違うなあ～？って思う時があります。こちらは何もかも便利ですけど、ただそれだけです。富岡町で暮した日々が懐かしいです。今の生活を大事にして、頑張っていきます。（50代）
- 郡山市にはおたがいさまセンターが無くなり、富岡町民が集まる場所がないので、交流出来る場所を是非つくってほしいです。（60代）

### 3-8-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-8-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### [元の住居や土地等の管理・処分について]

- ・町内全面解除の計画。町内に残してきた、土地、家の（不動産）についての相談売却、解体、賃貸等をどうすべきか分からない。空き家にしておくのはもったいない。空き家で劣化を待つなら解体すべきか等。更地にしても、除草等の管理だけが残る。（40代）
- ・現在の避難場所と富岡の実家が遠く、実家の維持・管理が困難となってきている。又、母も高齢となってきており、対応する人も時間も無い状況となってきている。田畑山林も有り、地域の荒廃が心配である。（50代）
- ・帰りたい気持はありますが、年のため出来ない。宅地や田、畑等を町ではどのようにしてくれますか？聞きたいです。（70代以上）

#### [帰還困難区域等の設定について]

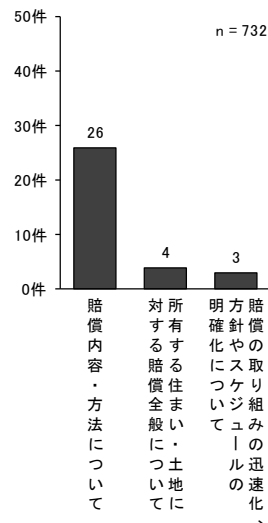
- ・自宅周辺で家のガラスが割られているのを何度か見たことがあり、警備のようなものがどうなっているのか気になる（帰還困難区域について）。ほとんど距離に差がないのに、同じ町内で自由に出入りできるところと帰還困難区域で手続きをしなければ自宅にも行けないという差があるのが現状だが、これはいつになったらなくなるのか気になる。（10～20代）
- ・帰還困難区域を早く解除して下さい。10年は長すぎます。家の片付が進みません（家財の処分など）。（40代）
- ・残された帰還困難区域の早期解除。（70代以上）

#### [所有する住まい・土地の買取りについて]

- ・県外で生活しています。家は解体してあり土地の管理が難しく、去年からコロナの影響で帰ることが出来ず、両親が高齢ということもあり頻繁に行くことが難しいです。国や県や町などで土地を買うことを要望します。（40代）
- ・除染しても放射能が下がらず、帰りたくても帰る事ができなく、住む事も出来ない土地に税金をとる事はおかしい。線量が完全に下がり、山の除染も済んで帰宅出来れば、富岡町の自宅に家を建て帰りたい。又、無理であれば土地を国で買い取ってもらいたい。町は未だに復興されていない。曲田地区にしてもアパートだらけで、夜の森駅地区もまだ進んでいない。（50代）
- ・帰還困難区域の復興については、10年経っても未だに除染も進まない状況下において、住民の帰還は尚更のこと何年先になるのか見通しがつきません。高齢者にとっては、残された時間内での帰還は到底望めそうにありません。ただ、心残りでも心配の種は、管理できない土地等を、古里から遠く離れて暮らす子供達に残して、負担をかけたまま逝くことです。突然に古里を追われて、夢や希望を奪われた喪失感、そして人生を狂わされた絶望感と怒りは、経験した者でなければ理解できないでしょう。原発事故を起こした罪の償いとして、最後の責任を果して欲しいと切に願います。古里の復興が、進展することを遠くから祈念して、帰還困難区域の土地は買い上げにより、工業団地等として有効活用されるよう要望します。（70代以上）

### 3-8-4 賠償について

<図表3-8-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### [賠償内容・方法について]

- 同じ帰還困難区域にもかかわらず、令和5年春に帰町できる人（自宅に）とそうではない人がいること。又、賠償が同じであることがおかしいと思わないのか不思議。拠点外の人に寄り添っているとは思えない（国も町も）。拠点外の解除を求めることは大事だが、そこに「差」があることをしっかり認識し、「差」を埋める策が必要。（40代）
- 住民登録の有無や勤務先などの条件によって、対応が異なることの無い様に対応願いたい。（50代）
- 補償やサポートは、これから子の世代まで継続しなくてはならない。まだ10年。（70代以上）

#### [所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

- 現在、災害復興住宅に住んでいるが、富岡町にある自宅は帰還困難区域にあり、今もなお立ち入りが制限されており、解除されていない状況にあります。このような状況であるにもかかわらず、借上げ制度をとりやめ、自己負担（家賃）をしなければならないのは、どうしても納得がいかない。解除（帰還困難）されて、戻らないという判断であれば、それはそれでいいと思うが、解除もしないあるいはできないのであれば、解除されるまで住居にかかわる費用は国、あるいは地方公共団体が負担すべてであると強く訴えるものである。また、大熊町、双葉町の帰還困難の方々はどうして差別するのか、それもどうしても理解できないのである。不公平としか言いようがない。（60代）
- 帰還困難区域で家の賠償はもらったが、長年の間戻れず、劣化がひどい。既に自宅に住める人と賠償が同じなのはおかしい。追加の賠償を強く求む。（70代以上）
- 家を直すのには、私が10年間は住まないと補助金は出ないと言われました。いわきでは車を何台も置けないから昔のように集まれないと言ったら、弟が直して住むと言ってくれました。姉弟が住むのに土地は私なのになんで？東電に直してと言ったけど出来ないと言われたので、まだ補償金ももらっていません。（70代以上）

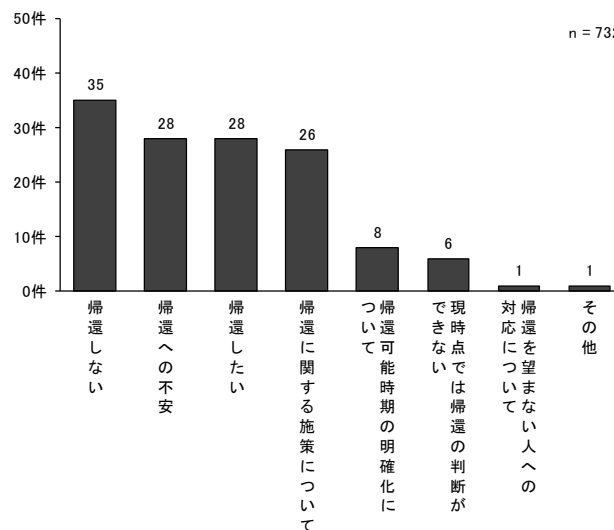
### III 調査結果（全項目）

#### 〔賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について〕

- 東電への賠償には時効を設けないでほしい。古里で過ごした日々は、忘れることができない。誠意の謝罪がメディアを通して感じられない。町の復興は東電への反骨精神を持って進めて頂きたい。（５０代）
- 東日本大震災から１０年が過ぎました。それなのに帰還困難区域では家の解体ができず、解体証明が出せず、解体証明を出せばいただける補償金と、後に家を購入した場合の補償金をいただく為の書類を提出する事ができません。帰還困難区域が解除になるのが、これから何年かかるかわかりません。もう１０年も過ぎたので、解除した区域と平等になるように補償金が出るようにお願いしたいです。（６０代）
- 東京電力の放射線被害に対する賠償（３０万円以上の家財道具・事業で使用していた機械・道具・資材・資料・その他）は、請求書類、証拠写真を多数提出したが（説明時間３時間ぐらい）、全く賠償が進んでいない。東京電力が社会に公表している内容とは全く違っている。東京電力が私に言っている理由は、「「生業を返せ、地域を返せ」の福島原発訴訟に参加しているから被害賠償の請求書類は検討しない」と言われた。「生業を返せ」の訴訟は精神的な訴訟であって、物の被害を私は請求していない。納得出来ない。国・県・町は東京電力がやっている実態を調査してほしい。個人が東京電力と交渉して解決出来る内容ではない。（７０代以上）

### 3-8-5 帰還について

＜図表3-8-5 帰還についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【帰還しない】

- 若い世代は現在の住まいで基盤ができており、あまり帰還したいと思わないのでは？広報などを見ても高齢者のための町づくりのように感じてしまい、余計戻りたくないと思ってしまう（帰還予定はないが）。（30代）
- 自分たちが戻って生活をする事はもうありませんが、戻りたい人が安心して戻れ、また、新たに住みたい希望者が安心して生活が出来るよう、除染が進んで、復興が進んでいくことを見続けていきたいと思います。いずれ中・高校生の子供達と元の自宅（アパート）を片付けに行かねばなりません。（40代）
- 富岡に戻る事はないが、富岡の土地をこのままにしておく事が心配。子供達は遠方に住み、自分もあと数年ぐらいしか行くことができないと思うし、除草など土地の管理ができない。どうすればいいか。（60代）

#### 【帰還への不安】

- 復興に近づいていると共に、やはり富岡は若い人が住みづらい状況が続いていると思います。私自身、子供が生まれいずれ大きくなった時に、ふるさとが安心して帰れるか分かりません。富岡が安心して「ここがママの育った所だよ」って言えるようもっと復興に力を出してください。（30代）
- 避難後長い間帰れないと思い、別の場所に持ち家を取得したが、富岡の自宅に戻りたい気持ちは変わらない。しかし一時立入りに行くたびに古くなっていき、リフォームの費用が心配である。私達も年をとり、体力も気力も減っていく中で、富岡へ戻り前と同じ生活ができるのか心配である。（40代）
- 富岡町で生まれて育った自分は戻りたいと思っているが、家族の若い世代は仕事がなければ生活ができず、戻れない。自分の資格を活かして仕事をしたいが、資格を活かした仕事がない様に思う。帰還困難地域のため、土地は更地になり住む所もないので、早く規制を緩和をしなければ何も始まらない。時間がたてばたつ程帰りたい気持ちが薄れる。自分達の気力もなくなってしまい、遠い町富岡になってしまう。不安だらけで判断がつかない。（60代）

### Ⅲ 調査結果（全項目）

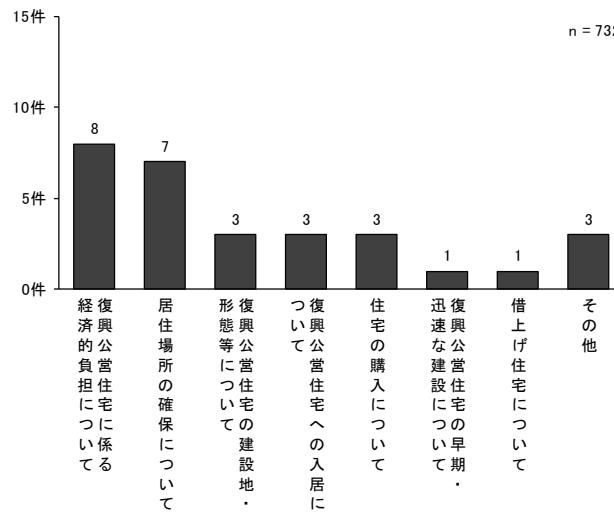
#### 【帰還したい】

- 私は東京の大学に通っている大学生ですが、将来的には富岡町に住みたいと考えています。震災から10年以上が経過し、世間の関心からはだんだんと外れつつあります。それでも震災以前と同じ姿ではなくても新たな姿を取り戻し、活気づいてきていると私は感じています。私もそうでしたが、震災前の印象が強ければ強いほど現在の富岡町の姿に驚き、人によっては受け入れられないという人もいるのではないかと思います。そのような人たちに寄り添えるような地域であってほしいと私は思います。見た目の復興ももちろん大事だと思いますが、住民の心の復興も私は忘れてほしくないと考えています。復興庁や福島県、富岡町などのご尽力してくださっている皆様、私たち住民のために日々動いてくださり本当にありがとうございます。一日でも早くいい町だと笑って言えるようになる日を待ち望んでおります。（10～20代）
- 時が経つにつれて、富岡に帰りたいという気持ちが増してきました。仕事の関係もあり、もう帰れないだろうという気持ちもあって避難先に自宅を建てましたが、正直後悔しております。建ててしまった自宅を売却するためのサポートなどあるといいなと思います。（40代）
- 妻の思いで家を作り生活をしています。65才を過ぎ、故郷の思いはつのり、月何日でもいいから静かな自然の景色の中で仕事、生活したいと思う。二重生活は難しいですが、いつか実現したいと思う。（60代）



### 3-8-6 避難期間中及び将来の住宅について

＜図表3-8-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【復興公営住宅に係る経済的負担について】

- ・復興公営住宅に住んでいますが、家賃が高すぎます。こんなに高い家賃で誰が富岡町に帰って来たいと思いますか？国や県には、家賃の大幅な減額・支援を強く要望します。本当に高すぎる。（40代）
- ・帰還困難区域なので、公営住宅は避難解除までは無償なのがあたり前だと思うし、大熊町・双葉町は今年も延長なので、右ならえだと思います。賠償も延長するべきではないでしょうか？（50代）
- ・現在復興公営住宅に住んでいますが、入居者が減少し共益費が毎年のように値上がりして、家計を圧迫しそうで困惑しています。（60代）

#### 【居住場所の確保について】

- ・戻りたいと思う高齢者が多い事は理解しているが、震災時訳が分からず知らない土地へ転校し、辛い思いをした子供達が、大人になったら戻りたいと考えている者も少なくない。今でもその環境に慣れない者も多い。故郷に戻って力になりたいと、進学した子もいる話も聞く。私も子供達も帰る気持ちでいるが、住む場所がない。県営の復興団地のような大型の集合住宅も増えてほしい。現在故郷は、单身や夫婦向けの賃貸しかない（少ない）。住居を決めてからその地で職を探すつもりなので、まずは住居を。そして若者が住みやすい工夫を。高齢者施設ばかりで、若者からすれば戻りにくい。正直、学校跡地に老人ホームは残念だった（若者の帰還を期待しないように思えた）。もう少し若者を呼び込む努力を希望したい。若者が戻らなければ未来はない。まずは住居。現在復興団地に住んでいる者は、同じ待遇でないと故郷に戻らないと思う（家賃等）。医療も耳鼻咽喉科は郡内に必要だと思う（いわき、原町では遠い）。人が増えれば企業も少しずつ増え、雇用も増えると思う。（40代）
- ・町内にファミリーで住みたいと思っても、民間賃貸住宅は大都市並みに高いです。単身用も高いようですが、もう少し手頃な金額で田舎の良さを活かし、伸び伸び子育てができる住まいがあると良いと感じます。震災前は梅や紅葉やツツジが咲く、庭つき5DK一軒屋で4万5千円でした。（40代）
- ・富岡町内に戻りたいが家が無い為、住宅の確保を希望しますが、場所や金額が高いなど中々手に入れることが出来ません。被害者への支援をもっと考えて下さい。（60代）

### Ⅲ 調査結果（全項目）

#### 〔復興公営住宅の建設地・形態等について〕

- 新潟県にも復興住宅を作ってほしい。（30代）
- 現在の帰還困難区域である夜の森地域に復興公営住宅ができれば、早々に帰りたいと考えています。そんな予定は無いのでしょうか。2023年春に解除された後の動きを具体的に知りたいです。（70代以上）

#### 〔復興公営住宅への入居について〕

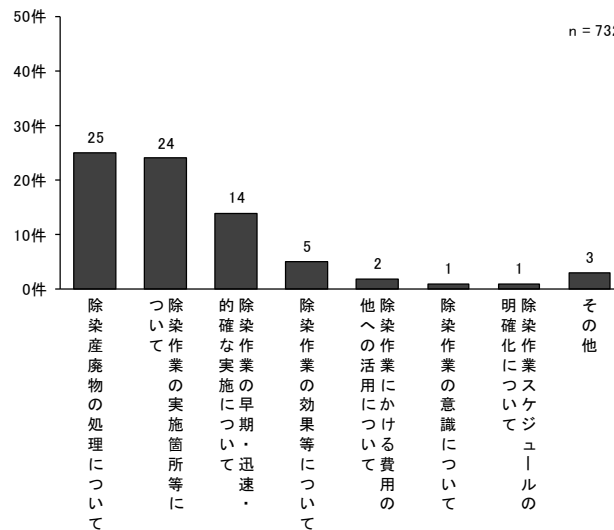
- 住所（住民票）は富岡町ですが、避難先に転居するか迷っています（子供の学校の都合上）。避難先に住所変更しても、復興住宅にはそのまま住めるのでしょうか？（40代）
- 富岡町や福島県内の公営住宅に入居するには、富岡町から転出してしまったらもう入居はできないですか？（50代）

#### 〔住宅の購入について〕

- 住民の帰還、定住者の増加など、人口を増やす対策を考えて欲しい。例えば震災前の土地価格で住民から買い取り、安い価格で土地の購入希望者に売り、差額を東電に請求するなど出来ないか検討して欲しい。（60代）
- 個人で宅地を探すのが大変なので、安価に分譲宅地を提供して貰えたら有り難いと思います。復興住宅のように、一つの行政区を作られたら良いと思います。（70代以上）

### 3-8-7 除染について

＜図表3-8-7 除染についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【除染産廃物の処理について】

- 線量は大分下がっているとはいえ目に見えないもので、今までのように山菜を採って食べるのも、まだまだ不安。10年以上たっても、魚類のいわき市、相馬市のものはまだ手にとれない。食べられないと思う気持ちが強い。そのうち汚染水を数キロ先の方で薄めて流す等、断固反対。ますます魚貝類は食べれそうないです。浜通りは住みやすい場所で好きだったのですが、本当に安心できる環境にならない限りは戻ることはないと思っています。（60代）
- 町は色々な物件を築っていますが、本当にそれで良いか不安です。第一原発事故で出た廃棄物の処理で、今中間貯蔵として大熊町で保管しています。でも数十年後は、廃棄物を全て県外に移動すると言いますが、本当に可能なのでしょうか？もっと現実を見て、未来の事を考えてほしいと思います（例えば、国が第一原発周辺を買取り、最終処理場にして、半永久的に立入禁止にし国が管理する、等）。（60代）
- 原発事故処理総合引受地域化の道を、将来も含めて進めていく姿が顕になってきています。“苦汁の選択”という語が、恒常的に使われていくことになるのだろうか。汚染水の海洋投棄は、どこで、いつ、原発沖にすると決まったのか謎でしかない。大阪の海で引受けるとの話もあった。この分で行くと、全国の汚染物がこの地区に集められることに。（60代）

#### 【除染作業の実施箇所等について】

- 帰還困難区域全域の早期除染。（40代）
- 住民の意向に関わらず、放射線量の高かった帰還困難区域を全て除染し、荒れた家屋を解体してほしい。行政区の高齢者は古里を思い次々と亡くなり、あるいは介護状態になり、戻る人も少ないのかもしれませんが、残された人の心は古里を離れていないと思います。町の明るい未来を考えるのであれば、どうか全体を見てほしい。この帰還困難区域を見捨てないでほしい。町の復興には時間とお金と人間の力が必要ですが、先を見据え、魅力ある町を願う。（60代）
- 里山除染をお願い致します。（70代以上）

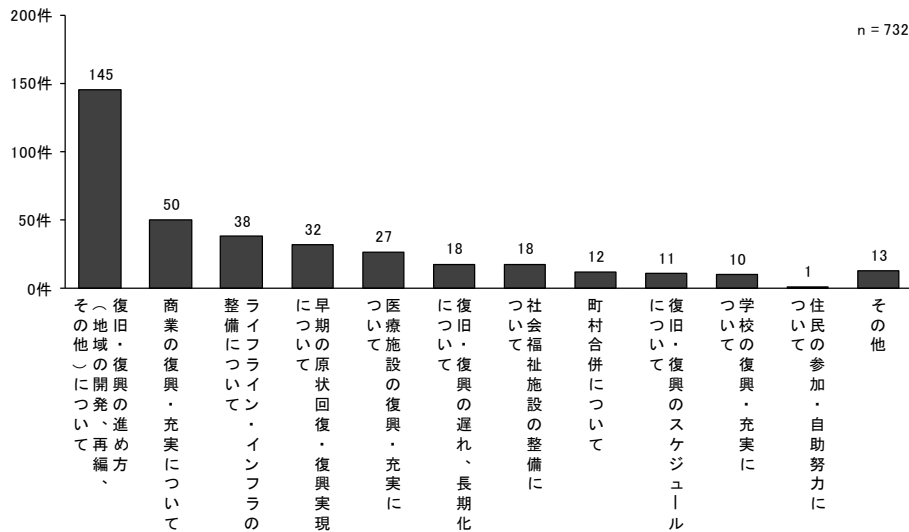
### Ⅲ 調査結果（全項目）

#### 〔除染作業の早期・迅速・的確な実施について〕

- 早く除染して戻れるようにしてほしい。連絡が取れない家でも、国権限で除染や草刈り等を早くやってほしいです。（60代）
- 国が帰還困難区域は帰る意志のある世帯のみ除染する方針と発表されましたので、宅地と周辺の除染と建物の解体は、国の責任で実施してほしいとの思いから、にわかに「戻りたい」の検討を始めました。帰還困難区域全ての除染を、是非進めていただきたい！（60代）
- 住宅は除染区域で、令和5年4月頃に解除になるが、線引を道路で区切ったため、近くの農地が何年も後回しになってしまう。息子は牛を飼うと言っているが、土地が利用できなければ後回しになってしまう。農業は土地が重要なので早い除染を望む。（70代以上）

### 3-8-8 復旧・復興について

＜図表3-8-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】

- ・復興と地域活性化の両立は難しいと思いますが、可能性は大いにあります。富岡周辺のアクセスと利便性、海洋資源、農林の活用、文化と伝統のバランス。多難は続くと思いますが、いつか安定・安心できることを願います。（30代）
- ・人と人が自然に出会える場所、町づくりが必要。富岡町を出た人々も困ることがない、買い物便利、食事に困ることがない、娯楽がある、何より仕事にも困ることがない町。早急に進めてほしい。（50代）
- ・復興の為なのか箱物ばかり目につき、人口増につながらなかった場合に、維持出来るのか心配です。（70代以上）

#### 【商業の復興・充実について】

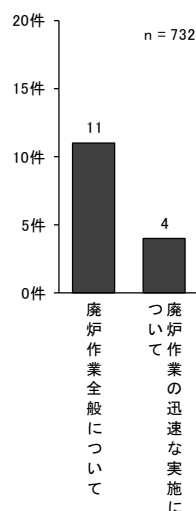
- ・観光資源（震災の記録などでも）が充実していれば、知人と観光に訪れたいです。（10～20代）
- ・富岡町に限らず双葉郡内で生活するには、日頃の買い物や医療機関を受診することなどについて、まだまだいわき市や南相馬市に行かなければ、用事を達成できないことが多いです。確かに震災から5年以内の時期と比べれば、格段に復旧したと感じます。しかし、帰還困難区域にある住居の手入れをしても、刈った草などは敷地内から出せないなど、不便な点が多いです。段々嫌気が出てきて、一時立入りの間隔がどんどん開いています。震災前とは言いませんが、富岡町内の買い物で多くが賄え、多くの診療科のある病院があれば、安心して住むことができるのではないかと思います。（50代）
- ・富岡町に帰還して4年が経過しましたが、生活が不便です。商業施設の開店時間が遅い。ガソリンスタンドはハイオクガソリンが置いていないし、閉店時間が早い。駅前があまりにも人通りが少なく活気が全々ありませんし淋しいです。（70代以上）

#### 【ライフライン・インフラの整備について】

- ・先日の選挙で富岡に行った時、国道6号線が10年前と変わらない状態だったので、さすがにどうかして欲しい。（30代）
- ・国道・県道・町道沿いの草刈り等の整備がかなり不足していると思う。色々な施設等の建設・整備等にかなりお金が使われている様だが、先は身近な環境整備が大切と思う。富岡町内に所有の土地（宅地）が不要になっている。買い取ってもらえないものか。（60代）
- ・地域の道路整備を進めて下さい。又、町内の草刈りをして下さい。（70代以上）

### 3-8-9 原発の安全性について

<図表3-8-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【廃炉作業全般について】

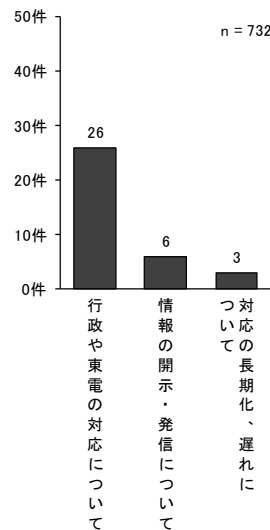
- 先日ニュースで、原発の汚染水を薄めて海へ流すということを国が決定したと見ましたが、住民にまず聞いてから決めるのではないのでしょうか？こちらに何も言わず、故郷の海が汚されるのは我慢なりません。他にも何かと国や原発に関しては、事後報告になっている事が多いので、何事もまず国民、住民に聞いてから物事を進めるということが筋というものではないのでしょうか。よろしくお願いします。（10～20代）
- 1階のメルトダウンした燃料の回収状況や、1階周辺の放射線による汚染状況などが気になります。（30代）
- 震災から10年が経過し、今なお「福島第一原子力発電所の廃炉作業進捗」は明確ではなく、不透明な部分が多く見られる。汚染水の海洋放出も、陸上汚染水タンクが設置されている当初より話題とされていた。デブリ状況の取り出し工程も不安定で、もしかして震災時同等の津波がくり返し起こる可能性があるのではと考えるととても不安です。この「もしも」が起きたら、今の防災対策でと考えると、家族の中で意見が分かれています。引き続き安全・安心が「見える化」される様願います。（60代）

#### 【廃炉作業の迅速な実施について】

- 福島原発の収束なしには何も始まらない。各種作業には感謝するが、見通しが見つからない状況は否めない。革新的な作業方法が整備され、早期収束を望む。汚水の早期処理方法の解決妥協策を切に望む。（60代）
- 廃炉作業に時間がかかりすぎる。このままでは、40年どころか100年かかるのではないかと。そのうちギブアップしてチェルノブイリのようなことになることはないのでしょうか。疑問です。（70代以上）
- 東電第一、第二の廃炉工程の歯車がかみあって進んでいくように祈っております。願ってやみません！！（70代以上）

### 3-8-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-8-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【行政や東電の対応について】

- 国策で行った原発誘致なのだから、東電のせいにするのではなく国が責任をもって賠償して欲しい。東電も「もう賠償は皆にした」と思っているようだが、全然足りない。（40代）
- 国、県、町、それぞれのやろうとしている事がよくわからない。（40代）
- 原子力発電所の事故により避難した我々に対し、最近では、国、東電は悲常につめたくくなって来ていると思う。町の復興の為に、原発の汚染水処理の海洋放出には絶対反対です。どうしても海洋放出するなら、東京湾にタンカーで運んで放出して下さい。我々、福島県民をこれ以上苦しめないで下さい。本当に辛いです。海がかわいそうです。（70代以上）

#### 【情報の開示・発信について】

- 町のホームページは見にくい。情報が古い。わかりにくい。富岡町では仕事を探すのが難しい。原発事故によって、当時子どもだった人々にどのような影響があったのかを知りたい（いじめ、不登校など）。これらに対して、どのような対策を行ってきたのかを知りたい。（40代）
- 研究所等の国の機関の誘致による雇用創出を今後も推進・拡大して、町の復興を世界に向けて発信を継続して欲しいです。（50代）
- 放射線の人体への影響に関する情報を詳しく知りたいです。具体的な情報がほしいです。どうしても放射線の事が気になります。（60代）

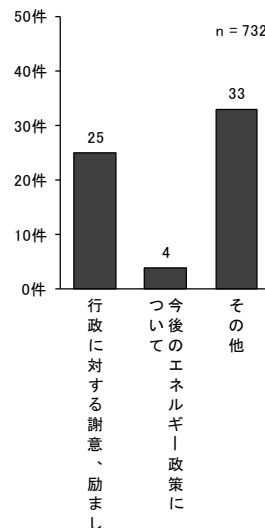
#### 【対応の長期化、遅れについて】

- 最終処分場はいつ決定するつもりか。廃炉作業の遅れは、民間の仕事ではあり得ない。国のやる仕事は時間にルーズすぎる。約束は守って欲しい。県外最終処分、汚染水処理は、地域住民の理解を得る。（５０代）
- 花見で夜の森に行く事が年１回の楽しみです。目の前に以前住んでいたアパートが見えるのに、行く事ができない現実に淋しさ悲しみを感ずります。復興は誰の為にあるのか、復興の形は皆違うと思いますが、全ての人の希望をかなえる事が復興なのではないでしょうか。国はできる事を発信することが大切なのは、思わせぶりばかりで、青写真が見えてこない。国ができる復興の町が納得できる人は帰るだろうし、そうでない人は帰らない。判断をする明確な内容を出してほしい。全員の希望などかなえられないのだから。いつまでも思わせぶりはしないでほしい。故郷を失った人の気持ちなど、わかったつもりで話されるのは不愉快。原発を作る時に言った「言葉」の、その言葉に「責任」を持ってほしい。（６０代）
- 第２原発の廃炉が決定しましたが、４０年も廃炉作業に要するとのこと。使用済核燃料の移転先も決定していない。使用済核燃料計９５３２本、また使用済核燃料から生じる「核のごみ」放射性廃棄物が発生すると言われているが、その間の保管先は未定で、最終的な処分場所も現時点では存在していない。東京電力は「今後検討していく」と話しているが、廃炉作業が何らかの理由で遅れた場合、あるいは東電は色々な理由を付けて廃炉作業を遅らせ、核燃料や「核のごみ」を、第２原発構内に長期間保管するかもしれません。４０年以上も保管させない為にも、核燃料に税をかけ、長期間になればなる程、税を高くすることが必要である。施設内に「核燃料」や「核のごみ」が存在していると、住民は安心して生活できません。原発事故から１０年が経過しましたが、東京電力の体質は事故前と変わっていないと感じます。（７０代以上）



### 3-8-11 その他

＜図表3-8-11 その他についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【行政に対する謝意、励まし】

- すでに生活基盤が避難先でできてしまっているため、富岡町には当分戻らないと決めています。それでも時々富岡町の懐かしい風景を思い出し、切ない気持ちになります。行政の方々には色々サポートしていただいて、とても感謝しています。（30代）
- 郡山市の復興公営住宅について知りたいが、でも他のアパートに住むかもしれません。家族がそれぞれ落ち着いたら、自分の老後を考えなくては。一人でもやっていけるか心配もありつつ、富岡町も住みやすくなっていそう。話し合いには時間が必要なので、この先も被災者に優しい対応をよろしくお願い致します。10年たっても心の傷は残ります。消えてくれないし、トラウマにもなります。こうして気にかけていただき本当に感謝しています。ありがとうございます。お仕事頑張ってください。（50代）
- 業務に対しての真摯な取り組み、受け付け、その他での誠心誠意的な対応等敬意を表します。御健勝にご留意の上、尚一層のご活躍の程、御祈念申し上げます。（70代以上）

#### 【今後のエネルギー政策について】

- 原発処理水の海洋放出には反対です。原発の廃炉を速やかに進めるとともに、正確な情報発信をお願いします。国は、脱原発に向けた方針を示すべきです。再生可能エネルギーの利用をさらに加速させてください。（50代）
- 新技術（エネルギー関連やロボット、ITなど）の面から、新たに注目される、魅力的な富岡町になって欲しいです。（50代）
- 土地があると言っても、農業をやっていた人からすればほんの少々で、騒ぐのは恥ずかしいぐらいですが、後々子どもたちに残して、手入れをしてくれと言うのも考えものと思っています。国が町で利用して、太陽光とかに使ってもらえるとありがたいです。（60代）



## IV 參考資料



## 4-1 使用調査票

# 令和3年度

## 富岡町 住民意向調査

## 記入上の注意

## ● 調査をお願いする方

- 震災発生時、富岡町に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。
- ご回答は、世帯の代表者の方にお願いします。
- 現在、世帯が何か所かに分かれてお住まいになられている場合には、それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まいの代表者の方に、ご回答をお願いします。

## ● ご回答方法

- ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をされた場合は、（ ）内に具体的な内容もご記入ください。
- の中に記入をお願いしている質問には、具体的な地名や数値などをご記入ください。  
※調査票は無記名でお願いしております。

## ● 情報の取り扱いについて

- 回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

## ● ご提出方法

- ご記入済みの調査票は、9月13日（月）までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

**※主に、住環境や雇用状況についてお伺いします。**

**【お問い合わせ先】** ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

復興庁  
「住民意向調査」  
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-912-936

[設置期間：8月31日（火）～ 9月13日（月） 平日10時～17時]

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号  
避難地域復興局 生活拠点課  
Tel 024-521-8306

富岡町

〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622番地の1  
富岡町役場 企画課  
Tel 0240-22-2111



【すべての方に伺います。】

**問5** 震災発生当時にお住まいだった住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建)         | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅)        | 8. 親戚・知人宅          |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建)      | 9. その他             |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅)     | { 具体的に             |
| 5. 公営住宅             | }                  |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) |                    |

【すべての方に伺います。】

**問6** 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。

(1) 震災発生当時のあなたの職業(就業形態)(○は1つ)

- |                           |                 |                          |
|---------------------------|-----------------|--------------------------|
| 1. 自営業・会社経営者              | 7. 学生           | } ⇒ <u>問7</u><br>(3ページ)へ |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 8. 無職(職を探していない) |                          |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していた)  |                          |
| 4. 団体職員                   | 10. その他         | { 具体的に                   |
| 5. 公務員                    |                 | }                        |
| 6. パート・アルバイト              |                 |                          |

【就業していた方(問6(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)に伺います。】

(2) 震災発生当時のあなたの業種(○は1つ)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 |
| 2. 林業         | 9. 金融・保険業         |
| 3. 漁業         | 10. 医療・福祉         |
| 4. 建設業        | 11. 教育            |
| 5. 製造業        | 12. 公務            |
| 6. 電気・ガス・水道業  | 13. その他           |
| 7. 運輸業        | { 具体的に            |
|               | }                 |

【就業していた方(問6(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)に伺います。】

(3) 震災発生当時の勤務先の場所(○は1つ)

- |           |         |         |          |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 杉内     | 8. 新町   | 15. 上郡  | 22. 中央   |
| 2. 仲町     | 9. 赤木   | 16. 太田  | 23. 小浜   |
| 3. 高津戸    | 10. 上本町 | 17. 下郡山 | 24. 深谷   |
| 4. 下千里    | 11. 王塚  | 18. 毛萱  | 25. 小良ヶ浜 |
| 5. 大菅     | 12. 本町  | 19. 仏浜  | 26. 栄町   |
| 6. 夜の森駅前北 | 13. 岩井戸 | 20. 駅前  | 27. 新夜ノ森 |
| 7. 夜の森駅前南 | 14. 清水  | 21. 西原  | 28. 富岡町外 |

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問7 あなたが現在お住まいの地域を教えてください。(○は1つ)

1. 富岡町	5. 福島県外 →具体的にご記入ください。
2. 浜通り(富岡町を除く)	<input type="text"/> (都・道・府・県)
3. 中通り	<input type="text"/> (市・町・村)
4. 会津	

【すべての方に伺います。】

問8 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)高校生	人
イ)小学生	人	オ)15歳以上65歳未満 (中学生・高校生を除く)	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方に伺います。】

問9 現在お住まいになっている住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

1. 富岡町営の災害公営住宅(有償)	6. 家族のどなたかのお住まい・実家
2. 福島県営(本宮市・桑折町・大玉村・川内村営を含む)の復興公営住宅(有償)	7. 親戚・知人宅
3. その他の公営住宅(「1」と「2」は除く。有償)	8. 持ち家(ご本人またはご家族所有)
4. 民間賃貸住宅(有償)	9. その他(具体的に
5. 給与住宅(社宅など)	)



【すべての方に伺います。】

**問 10** 震災発生当時ご一緒にお住まいだったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。  
(○は1つ)

- |  |               |
|--|---------------|
| 1. 世帯でまとまって居住(一人暮らし含む) ⇒ <u>問 11</u> へ | 3. 合計3か所に分散   |
| 2. 合計2か所に分散                            | 4. 合計4か所以上に分散 |

【分散してお住まいになられている方(問10で「2」から「4」と回答した方)に伺います。】

**問 10-1** 分散してお住まいにならざるを得なかった理由は何ですか。(○は上位3つまで)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 仕事(勤務先)の関係 | 7. 親戚・知人・友人関係  |
| 2. 育児・学校教育の関係 | 8. 住居確保の関係     |
| 3. 医療環境の関係    | 9. 放射線に対する不安   |
| 4. 介護環境の関係    | 10. その他 { 具体的に |
| 5. 福祉環境の関係    | }              |
| 6. 生活の利便性との関係 |                |

【すべての方に伺います。】

**問 11** 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。

(1) 現在のあなたの職業(就業形態)(○は1つ)

- |                           |                 |                              |
|---------------------------|-----------------|------------------------------|
| 1. 自営業・会社経営者              | 8. 学生           | } ⇒ <u>問 12</u><br>(5 ページ) へ |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中)         | 9. 無職(職を探していない) |                              |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) | }                            |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 11. その他 { 具体的に  |                              |
| 5. 団体職員                   | }               |                              |
| 6. 公務員                    |                 |                              |
| 7. パート・アルバイト              |                 |                              |

【就業している方(問11(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)に伺います。】

(2) 現在のあなたの業種(○は1つ)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 |
| 2. 林業         | 9. 金融・保険業         |
| 3. 漁業         | 10. 医療・福祉         |
| 4. 建設業        | 11. 教育            |
| 5. 製造業        | 12. 公務            |
| 6. 電気・ガス・水道業  | 13. その他 { 具体的に    |
| 7. 運輸業        | }                 |

将来に関するご意向についてお聞かせください。

【すべての方に伺います。】

**問 12** 富岡町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。「1」から「5」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

- |                          |   |                         |
|--------------------------|---|-------------------------|
| 1. 既に富岡町で生活している          | ⇒ | <u>問 13 へ</u>           |
| 2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) | ⇒ | <u>問 15(7 ページ) へ</u>    |
| 3. まだ判断がつかない             | ⇒ | <u>問 21(10 ページ) へ</u>   |
| 4. 戻りたいが、戻ることができない       | } | ⇒ <u>問 24(12 ページ) へ</u> |
| 5. 戻らないと決めている            |   |                         |

**問 13～問 14 (5～6 ページ)** は、**問 12 の富岡町への帰還について、「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方がお答えください。**

【問 12 で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方に伺います。】

**問 13** 町内での生活を決めた判断材料は、どのようなことですか。(○はいくつでも)

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 放射線量が低減されたこと           | 8. 医療機関が開院したこと           |
| 2. 水道水等、生活用水の安全性が確認されたこと  | 9. 役場機能が再開したこと           |
| 3. 友人・知人等が町内に居住していること     | 10. 双葉警察署及び富岡消防署が再開したこと  |
| 4. 気持ち安らぐこと               | 11. 小・中学校の再開やこども園が開園したこと |
| 5. 自宅や公営住宅等が整備されたこと       | 12. 近くに勤務先があること          |
| 6. 商業施設が再開したこと            | 13. 働く場・就業機会があること        |
| 7. JRや路線バス等の公共交通機関が再開したこと | 14. その他 (具体的に)           |

【問 12 で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方に伺います。】

**問 14** 町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。(○はいくつでも)

- |                 |   |                 |  |
|-----------------|---|-----------------|--|
| 1. 防犯体制の強化      | ⇒ | <u>問 14-1 へ</u> | 8. 見守り活動の継続                              |
| 2. 生涯学習機会の充実    | ⇒ | <u>問 14-2 へ</u> | 9. 公共交通機関(鉄道)の充実                         |
| 3. 就業機会の創出      | ⇒ | <u>問 14-3 へ</u> | 10. 公共交通機関(バス)の充実                        |
| 4. 商業施設の再開・充実   | ⇒ | <u>問 14-4 へ</u> | 11. 町内コミュニティ活動(行政区等の活動も含む)               |
| 5. 医療機関(診療科)の拡充 | ⇒ | <u>問 14-5 へ</u> | 12. 継続的な健康管理等、放射線に対する不安解消への取り組み、放射線量低減対策 |
| 6. 介護・福祉施設の充実   | ⇒ | <u>問 14-6 へ</u> | 13. 有害鳥獣対策の強化                            |
| 7. 保育・教育環境の充実   | ⇒ | <u>問 14-7 へ</u> | 14. その他 (具体的に)                           |

問 14 で「1」から「7」に○をつけなかった方は問 29(14 ページ)へ

【問 14 で「1. 防犯体制の強化」と回答した方に伺います。】

**問 14-1** 防犯体制で、強化してほしいものを教えてください。(○は1つ)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 巡回車両を増やしてほしい  | 3. ITや最新技術の活用 |
| 2. 防犯カメラを増やしてほしい | 4. その他(具体的に)  |

【問 14 で「2. 生涯学習機会の充実」と回答した方に伺います。】

**問 14-2** 生涯学習機会を、充実させてほしいものを教えてください。(○は1つ)

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 文化・芸術活動を主としたサークル等の活動機会 | 3. 年齢層に応じた各種講座等の機会 |
| 2. スポーツ等を主とした活動機会         | 4. その他 { 具体的に }    |

【問 14 で「3. 就業機会の創出」と回答した方に伺います。】

**問 14-3** 就業機会の創出の支援として、どのような支援施策を希望されますか。(○は1つ)

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 町内の求人情報の広報・周知 | 4. 就業体験・就労環境を確認する機会 |
| 2. 町内立地企業等の説明会開催 | 5. その他 { 具体的に }     |
| 3. 相談窓口の広報・周知    |                     |

【問 14 で「4. 商業施設の再開・充実」と回答した方に伺います。】

**問 14-4** 町内に充実させてほしいものを教えてください。(○は1つ)

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 飲食店(酒類提供店含む) | 4. 娯楽施設             |
| 2. 衣類販売店        | 5. 電化製品販売店(携帯電話も含む) |
| 3. 理容・美容店       | 6. その他(具体的に)        |

【問 14 で「5. 医療機関(診療科)の拡充」と回答した方に伺います。】

**問 14-5** 医療機関の拡充として、どのような医療機関・診療科の開院を希望されますか。特に必要だと考える診療科に○をつけてください。(○は上位3つまで)

- |         |             |                  |
|---------|-------------|------------------|
| 1. 内科   | 5. 眼科       | 9. 整形外科          |
| 2. 外科   | 6. 耳鼻咽喉科    | 10. その他 { 具体的に } |
| 3. 小児科  | 7. 皮膚科      |                  |
| 4. 産婦人科 | 8. 歯科(口腔外科) |                  |

【問 14 で「6. 介護・福祉施設の充実」と回答した方に伺います。】

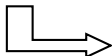
**問 14-6** 介護・福祉施設として、どのような施設の立地・再開を希望されますか。(○は上位3つまで)

- |                          |                              |
|--------------------------|------------------------------|
| 1. 特別養護老人ホーム             | 7. 障がい者(児)支援施設(短期入所、児童発達支援等) |
| 2. 養護老人ホーム               | 8. 障がい者職業訓練施設(就労支援等)         |
| 3. 軽費老人ホーム(ケアハウス)        | 9. 障がい者共同生活援助施設(グループホーム)     |
| 4. 老人デイサービスセンター          | 10. 障がい者相談支援事業所              |
| 5. 老人短期入所施設(ショートステイ)     | 11. その他 { 具体的に }             |
| 6. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) |                              |

【問 14 で「7. 保育・教育環境の充実」と回答した方に伺います。】

**問 14-7** 保育・教育環境として、どのような支援や施設整備を希望されますか。(○は上位3つまで)

- |                                   |                        |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 地域住民との交流イベント                   | 5. 共働きやひとり親家庭の子育て支援    |
| 2. 親子での農業体験や漁業体験                  | 6. 小・中学生の学習サポートや学童保育の場 |
| 3. 子どもが安心して遊べる環境の整備(屋内運動場・公園遊び場等) | 7. 子育て世代のネットワークづくり     |
| 4. 歴史・伝統継承の場・勉強会                  | 8. スポーツを通じた交流と活動の場の整備  |
|                                   | 9. その他(具体的に)           |


 問 29(14 ページ)へ

#### IV 参考資料

問 15～問 20 (7～9 ページ) は、問 12 の富岡町への帰還について、  
「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方がお答えください。

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

**問 15** 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 家族全員での帰還を考えている | 3. 現在検討しているところ |
| 2. 家族一部での帰還を考えている | 4. 検討していない     |

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

**問 16** 帰還した場合の仕事の見通しはありますか。(○は1つ)

- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 仕事の見通しがある         | ⇒ <a href="#">問 16-1 へ</a>      |
| 2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい | ⇒ <a href="#">問 17-1 へ</a>      |
| 3. 仕事はしない            | ⇒ <a href="#">問 18(8 ページ) へ</a> |

【問 16 で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方に伺います。】

**問 16-1** 見通しがたっている仕事の場所(勤務先)はどこですか。(○は1つ)

- |        |                   |   |
|--------|-------------------|---|
| 1. 富岡町 | 2. 富岡町外(具体的な市町村名) | ) |
|--------|-------------------|---|

【問 16 で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方に伺います。】

**問 16-2** 見通しがたっている仕事の業種を教えてください。(○は1つ)

- |               |                   |               |
|---------------|-------------------|---------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 6. 電気・ガス・水道業      | 11. 教育        |
| 2. 林業         | 7. 運輸業            | 12. 公務        |
| 3. 漁業         | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 | 13. その他(具体的に) |
| 4. 建設業        | 9. 金融・保険業         | )             |
| 5. 製造業        | 10. 医療・福祉         |               |

➡ [問 18\(8 ページ\) へ](#)

【問 16 で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方に伺います。】

**問 17-1** 仕事に就く場合、どのような業種を希望しますか。(○はいくつでも)

- |               |                   |               |
|---------------|-------------------|---------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 6. 電気・ガス・水道業      | 11. 教育        |
| 2. 林業         | 7. 運輸業            | 12. 公務        |
| 3. 漁業         | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 | 13. その他(具体的に) |
| 4. 建設業        | 9. 金融・保険業         | )             |
| 5. 製造業        | 10. 医療・福祉         |               |

【問 16 で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方に伺います。】

**問 17-2** どのような就労形態を希望しますか。(○は1つ)

- |              |  |
|--------------|--|
| 1. 正社員       |  |
| 2. パート・アルバイト | ⇒ ( 就業を希望する時間帯をご記入ください <記入例 10:00～14:00> ) |
| 3. その他(具体的に) |  |

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】

**問18** 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望しますか。（○は1つ）

1. 自宅(建て替える場合を含む) ⇒ <u>問19(9ページ)へ</u>	} ⇒ <u>問18-1へ</u>
2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい	
3. 自宅とは別の場所に中古物件を購入したい	
4. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい	
5. 町内の公営住宅 ⇒ <u>問18-2へ</u>	} ⇒ <u>問19(9ページ)へ</u>
6. 民間賃貸住宅(一戸建)	
7. 民間賃貸住宅(集合住宅)	
8. 給与住宅(社宅など)	
9. 家族のどなたかのお住まい・実家	
10. 親戚・知人宅	
11. その他〔具体的に	
12. 現時点では判断できない	

【問18で「2」「3」「4」と回答した方に伺います。】

**問18-1** 元の持ち家以外を希望される理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 自宅周辺の放射線量の高さが心配だから	6. 自宅が荒廃しているから
2. 自宅周辺に住む人が少ないと思うから	7. 自宅を解体したから
3. 富岡町内の新たな場所で生活を開始したいから	8. その他〔具体的に
4. 今後、津波の被害を受けることが心配だから	〕
5. 自宅が帰還困難区域内にあるから	

⇩ 問19(9ページ)へ

【問18で「5」と回答した方に伺います。】

**問18-2** 町内の公営住宅のうち、最も希望する住宅はどこですか。（○は1つ）

※この質問への回答により、入居申し込み等に影響があるものではありません

1. 曲田第1団地(一戸建の災害公営住宅)	5. 王塚第2団地(一戸建の町営住宅)
2. 曲田第2団地(マンションタイプの災害公営住宅)	6. 王塚第3団地
3. 栄町団地(マンションタイプの災害公営住宅)	(1棟2戸タイプの町営住宅)
4. 上の町団地(マンションタイプの借上型町営住宅)	7. 復旧予定の新田団地
	(マンションタイプの町営住宅)

#### IV 参考資料

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】


**問 19** 富岡町に戻る場合に、どのような施策が必要と考えますか。（○はいくつでも）

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 更なる放射線量の低減           | 10. 公共交通機関の充実            |
| 2. 更なる防犯・防火対策の強化        | 11. 雇用確保・就業サポート          |
| 3. 子ども・高齢者等に対する見守り活動の充実 | 12. 放射線に関する学習会や相談会の開催    |
| 4. 帰還困難区域の早期復興          | 13. 町内コミュニティ活動・生涯学習機会の創出 |
| 5. 商業施設の再開、充実           | 14. 有害鳥獣対策の強化            |
| 6. 医療機関（診療科）の拡充         | 15. その他（具体的に             |
| 7. 介護・福祉施設の充実           | ）                        |
| 8. 教育、保育環境の充実           |                          |
| 9. 子育て支援策の充実            |                          |

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】

**問 20** 富岡町に戻るまで（避難生活を継続している期間）に、どのような施策が必要と考えますか。（○はいくつでも）

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 1. 町外での行政サービスの継続（申請受付窓口や検診、健康相談等）  |   |
| 2. 町外コミュニティの運営サポート（広域自治会等）         |   |
| 3. 町外における交流の場の整備・継続（交流サロン等）        |   |
| 4. 放射線管理の徹底（内部被ばく検査、健康手帳、線量計配布等）   |   |
| 5. 放射線に関する学習会や相談会の開催               |   |
| 6. 町内不動産の維持管理（見守りや草刈り等）に関するサポート    |   |
| 7. 町内不動産の有効利用（空き家・空き地バンク等）に関するサポート |   |
| 8. その他（具体的に                        | ） |
| 9. 特になし                            |   |

 問 29(14 ページ)へ

問 21～問 23-1 (10～11 ページ) は、  
問 12 の富岡町への帰還について「3. まだ判断がつかない」と回答した方がお答えください。

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 21 富岡町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 自宅が帰還困難区域内だから
5. 富岡町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 富岡町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 公営住宅が不足しているから
10. 富岡町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが不足しているから

【今後の生活に関わるもの】

16. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
17. 子供の遊び場(屋内・屋外)が無いから
18. 他の住民も戻りそうにないから
19. 津波被害を受ける可能性があるから
20. 鳥獣による被害が心配だから
21. 避難先で仕事を見つけているから
22. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
23. 避難先の方が、生活利便性が高いから
24. すでに生活基盤ができているから
25. その他

（具体的に）

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 22 富岡町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(〇はいくつでも)

1. 鉄道等公共交通機関の充実
2. 商業施設の充実
3. 医療機関(診療科)の拡充
4. 介護・福祉施設の充実
5. 保育・教育環境の充実
6. 働く場の確保の見通し ⇒ 問 22-1(11 ページ)へ
7. 放射線量の低下の見通し、除染成果の状況
8. どの程度の住民が戻るかの状況
9. 中間貯蔵施設の情報
10. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
11. 放射線の人体への影響に関する情報
12. 帰還困難区域内の復旧・復興計画・「特定復興再生拠点区域復興再生計画」の進捗
13. 更なる公営住宅の整備
14. 住宅確保の支援に関する情報
15. 防犯・防火対策の強化
16. 有害鳥獣対策の強化
17. 町内コミュニティ活動・生涯学習機会の創出
18. その他(具体的に)
19. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない

→ 問 22 で「6」に〇をつけなかった方は問 23(11 ページ)へ

#### IV 参考資料

【問 22 で「6. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います】

問 22-1 どのような業種の仕事を希望しますか。(○は1つ)

- |              |                   |               |
|--------------|-------------------|---------------|
| 1. 農業(畜産を含む) | 6. 電気・ガス・水道業      | 11. 教育        |
| 2. 林業        | 7. 運輸業            | 12. 公務        |
| 3. 漁業        | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 | 13. その他 (具体的に |
| 4. 建設業       | 9. 金融・保険業         | )             |
| 5. 製造業       | 10. 医療・福祉         |               |

【問 22 で「6. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います】

問 22-2 仕事の場所(勤務先)はどこを希望しますか。(○は1つ)

- |        |                   |   |
|--------|-------------------|---|
| 1. 富岡町 | 2. 富岡町外(具体的な市町村名) | ) |
|--------|-------------------|---|

【問 22 で「6. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います】

問 22-3 どのような就労形態を希望しますか。(○は1つ)

- |              |  |
|--------------|--|
| 1. 正社員       | ⇒ ( 就業を希望する時間帯をご記入ください <記入例 10:00~14:00> ) |
| 2. パート・アルバイト |  |
| 3. その他(具体的に  | )  |

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 23 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- |                    |          |           |
|--------------------|----------|-----------|
| 1. そう思う ⇒ 問 23-1 へ | 2. わからない | 3. そう思わない |
|--------------------|----------|-----------|

└─┬─> 問 23 で「2」「3」を選んだ方は問 29(14 ページ)へ

【問 23 で「1. そう思う」と回答した方に伺います。】

問 23-1 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。(○はいくつでも)

- |                             |   |                       |   |
|-----------------------------|---|-----------------------|---|
| 1. まちづくりへの参加機会の創出<br>( 具体的に | ) | 4. 町内での宿泊施設・交流施設の充実   |   |
| 2. 住民参加行事の充実                |   | 5. 継続的な町からの情報提供       |   |
| 3. 町内で働く場の整備                |   | 6. 住民間交流機会の企画・実現・サポート |   |
|                             |   | 7. その他 (具体的に          | ) |

└─┬─> 問 29(14 ページ)へ



問 24～問 28 (12～13 ページ) は、  
問 12 の富岡町への帰還について「4. 戻りたいが、戻ることができない」、  
「5. 戻らないと決めている」と回答した方がお答えください。

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】

**問 24** 富岡町への帰還について「戻ることができない」、または「戻らない」理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 自宅が帰還困難区域内だから
5. 富岡町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 富岡町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 公営住宅が不足しているから
10. 富岡町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが不足しているから

【今後の生活に関わるもの】

16. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
17. 子供の遊び場(屋内・屋外)が無いから
18. 他の住民も戻りそうにないから
19. 津波被害を受ける可能性があるから
20. 鳥獣による被害が心配だから
21. 避難先で仕事を見つけているから
22. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
23. 避難先の方が、生活利便性が高いから
24. すでに生活基盤ができているから
25. その他

【具体的に

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】

**問 25** 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う ⇒ 問 25-1 へ
2. わからない
3. そう思わない

↳ 問 25 で「2」「3」を選んだ方は問 26(13 ページ)へ

【問 25 で「1. そう思う」と回答した方に伺います。】

**問 25-1** 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。(○はいくつでも)

1. まちづくりへの参加機会の創出  
【具体的に
2. 住民参加行事の充実
3. 町内で働く場の整備
4. 町内での宿泊施設・交流施設の充実
5. 継続的な町からの情報提供
6. 住民間交流機会の企画・実現・サポート
7. その他 【具体的に

**IV 参考資料**

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】

**問 26** 帰還しない場合に、今後、居住を希望する(既に居住している場合を含む)地域はどちらですか。(〇は1つ)

1. 浜通り 2. 中通り 3. 会津	4. 福島県外 →具体的にご記入ください。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> (都・道・府・県) <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> (市・町・村)
---------------------------	---

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】

**問 27** 今後のお住まいとして、検討する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(〇は1つ)

1. 持ち家(一戸建) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 民間賃貸住宅(一戸建) 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) 5. 公営住宅 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)	7. 家族のどなたかのお住まい・実家 8. 親戚・知人宅 9. その他 { 具体的に <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; margin: 5px 0;"></div> } 10. 現時点では判断できない
--	---

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】

**問 28** 町外で生活されている方に対するサポートとして、どのような施策が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

1. 町外での行政サービスの継続 (申請受付窓口や検診、健康相談等) 2. 町外での事業再開へのサポート 3. 町外コミュニティの運営サポート(広域自治会等) 4. 町外における交流の場の整備・継続 (交流サロン等) 5. 放射線管理の徹底(内部被ばく検査、 健康手帳、線量計配布等) 6. 放射線に関する学習会や相談会の開催	7. 町内不動産の維持管理(見守りや草刈り等) に関するサポート 8. 町内不動産の有効利用(空き家・空き地 バンク等)に関するサポート 9. 継続的な町からの情報提供 10. その他 { 具体的に <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; margin: 5px 0;"></div> } 11. 特にない
---	--

富岡町への訪問頻度や帰還困難区域への一時立入りについてお聞かせください。

【すべての方に伺います。】

**問 29** 富岡町内の自宅や土地等の維持管理、お墓参り等のために、富岡町に訪れる頻度を教えてください。(○は1つ)

- |                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 既に富岡町で生活している | 5. 6か月に1回                                     |
| 2. 1か月に複数回      | 6. 1年に1回                                      |
| 3. 1か月に1回       | 7. 数年に1回                                      |
| 4. 3か月に1回       | 8. 富岡町を訪れていない ⇒ <a href="#">問 30(15 ページ)へ</a> |

【問 29 で「1」から「7」と回答した方に伺います。】

**問 29-1** 富岡町内の帰還困難区域に一時立入りをしていますか。一時立入りをしている場合はその頻度を教えてください。(○は1つ)

- |            |   |
|------------|---|
| 1. 1か月に複数回 | 5. 1年に1回  |
| 2. 1か月に1回  | 6. 数年に1回  |
| 3. 3か月に1回  | 7. 帰還困難区域に<br>一時立入りをしていない ⇒ <a href="#">問 30(15 ページ)へ</a> |
| 4. 6か月に1回  |   |

【問 29-1 で「1」から「6」と回答した方に伺います。】

**問 29-2** 帰還困難区域への一時立入りの理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 帰還困難区域内に自宅又は自己所有の建物があるため
2. 帰還困難区域内に土地があるため
3. 帰還困難区域内に墓地があるため
4. その他( )のため

【問 29-1 で「1」から「6」と回答した方に伺います。】

**問 29-3** 帰還困難区域への一時立入りについて、規制緩和を希望されますか。(○は1つ)

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 自由な立入りができるよう、規制緩和を望む | 2. これまで同様で良い(立入り許可申請方式) |
|-------------------------|-------------------------|

復興公営住宅についてお伺いします。

◆復興公営住宅とは◆

将来の帰還に向け、仮設住宅などから安定的な居住・生活環境に移っていただくためなど、原子力災害により避難の継続を余儀なくされている方々の居住の安定を確保するために、福島県が主体となり整備している公営住宅。

※富岡町が整備した町内の災害公営住宅とは異なりますのでご注意ください。

【すべての方に伺います。】

**問 30** 福島県営の復興公営住宅(富岡町外)への入居意向について教えてください。(○は1つ)

- |  |                      |
|--|----------------------|
| 1. すでに入居している、もしくは入居の申し込み中である           | 3. 入居を希望しない          |
| 2. 今後、入居の申し込みをしたい<br>⇒ <u>問 30-1</u> へ | 4. 判断できない (判断できない理由) |

└─┬─> 問 30 で「1」「3」「4」を選んだ方は問 31 へ(16 ページ)へ

【問 30 で「2. 今後、入居の申し込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

**問 30-1** 入居を希望する市町村について教えてください。(○は1つ)

- |          |         |                                  |
|----------|---------|----------------------------------|
| 1. 福島市   | 6. 二本松市 | 10. 福島県内のその他の市町村<br>→具体的にご記入ください |
| 2. 会津若松市 | 7. 田村市  |                                  |
| 3. 郡山市   | 8. 南相馬市 | <input type="text"/> (市・町・村)     |
| 4. いわき市  | 9. 本宮市  |                                  |
| 5. 白河市   |         |                                  |

※この質問への回答により、入居申し込み等に影響があるものではありません

◆ 福島県の整備する復興公営住宅に関するお問い合わせはこちらへ ◆

福島県 生活拠点課 TEL : 024-521-8306

【すべての方に伺います。】

**問 31** 日ごろ、富岡町の行政情報やイベント開催情報を得るために、どのような方法を活用していますか。(○はいくつでも)  
また、「1」から「5」に○をつけた方は、それぞれの満足度についても教えてください。  
(○はそれぞれ1つずつ)。

	活用している (○はいくつでも) ↓	満足度				
		不満	やや不満	普通	やや満足	満足
広報紙「広報とみおか」	1 →	1	2	3	4	5
町公式ホームページ	2 →	1	2	3	4	5
町公式フェイスブック	3 →	1	2	3	4	5
町公式LINE	4 →	1	2	3	4	5
とみおかアプリ	5 →	1	2	3	4	5
テレビ・CM	6					
新聞	7					
ラジオ	8					
家族・知人・友人	9					
その他 (具体的に )	10					

【すべての方に伺います。】

**問 32** 行政からの情報で強い関心があるものは何ですか。(○は上位3つまで)

1. 身近な出来事 〔具体的に〕	6. 防火・防災・災害情報
2. 各種手続きに関する事	7. 医療・福祉・介護に関する事
3. 町内の状況(復旧・復興)	8. 子育て・教育に関する事
4. 観光・イベント情報	9. 生涯学習・スポーツ・施設利用に関する情報
5. 町長・職員メッセージ	10. その他〔具体的に〕

#### IV 参考資料

【すべての方に伺います。】

**問 33** 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや、今後のあなたの展望、国、県、町への要望などをご自由にお書き下さい。

以上でご回答いただく内容は終わりです。  
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、  
9月13日（月）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

**富岡町 住民意向調査  
報告書**

**令和4年3月**

**復興庁 福島県 富岡町**

**調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター**

